

消 防 年 報

令和7年版

消
防
年
報

令
和
七
年
版



ドローンで撮影した新旧はしご車と富士山（西消防署北分署）

富士宮市消防本部

令和8年発行

富
士
宮
市
消
防
本
部



富士宮市民憲章

(昭和42年11月1日制定)

わたくしたちは、富士宮市民であることに誇りをもちお互いのしあわせをねがい、よい市民となるために、この憲章を定めます。

- 1 わたくしたちは、富士山を仰ぎ文化を高め、ゆたかな教養を身につけましょう。
- 1 わたくしたちは明るい家庭をつくり、健康な青少年を育てましょう。
- 1 わたくしたちは、恵まれた自然を愛し、清潔な美しいまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたちは、社会のきまりを守り、人に迷惑をかけないようにつとめましょう。
- 1 わたくしたちは、心身をきたえ仕事にはげみ、郷土の発展につくしましょう。

市長あいさつ



市民の皆様におかれましては、平素より本市の消防行政の推進に深い御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

令和7年版消防年報の発刊にあたり、一言、御挨拶を申し上げます。

近年、気候変動に起因する風水害の激甚化・頻発化や「南海トラフ地震」をはじめとした大規模地震への備え、さらには高齢化に伴う救急需要の増大など、私たちの暮らしを取り巻く安全・安心への課題は、ますます複雑・多様化しており、市民の生命、身体及び財産を守るという消防が果たす役割は、より一層重要なものとなっております。

これらの災害に対し、迅速かつ的確な対応をしていくため、さらには将来的な人口減少や高齢化の進展などの社会の情勢を捉えながら、消防・救急需要に的確に対応するため、引き続き、消防力の基礎となる消防施設・消防車両等の整備を図り、消防体制の充実強化に全力で取り組んでまいります。

結びに、本年は第6次富士宮市総合計画のスタートの年となります。消防分野の目指すまちの姿である災害や事故に対して、迅速に対応できる体制の確保を目指し、行政と消防が一体となり、連携を深めながら、市民の安全・安心を確保するべく、地域防災力の向上に努めてまいります。

富士宮市長

須藤秀忠

目 次

概 要

富士宮市の案内（位置）	1
富士宮市の面積・人口・世帯数	2
消防本部・署（分署）の配置	3
富士宮消防の沿革	4
主な災害歴	9

総務関係

組織機構図	1 0
消防本部事務分掌	1 1
消防署事務分掌	1 2
住民と常備消防力	1 3
歴代消防長	1 3
消防職員の階級別構成	1 4
階級別年齢	1 5
階級別勤続年数	1 6
消防吏員各種免許取得状況	1 7
職員研修状況	1 8
年度別消防予算	1 9
人口と当初予算の推移	2 0

火災関係

火災の概況	2 1
火災の概要	2 2
過去 1 0 年間の火災発生状況	2 3
月別火災の概要	2 4
建物火災の状況	2 5
出火原因別火災件数	2 6
出火原因別の推移	2 6

予防関係

予防行政の概要	2 7
---------------	-----

建築確認消防同意等件数	27
防火対象物に関する調べ（延面積150㎡以上）	28
防火対象物査察及び防火管理者選任届出状況	29
消防用設備着工・設置届出及び完成検査数	30
防火・防災管理届出・消防計画届出・各点検結果報告数	30
煙火消費許可件数	30
各種届出件数	31
防火管理新規講習実施状況及び再講習	32
火災予防広報	32
住民指導実施状況	33
製造所等の許可、完成検査及び廃止届等の数	34
危険物施設立入検査等件数	34
数量別危険物施設数	35
類別危険物施設数	36

警防関係

各種出動状況及び教育・訓練状況	37
消防車両配置状況	38
消火薬剤備蓄状況	39
消防水利の現況及び新設基数	40

通信・気象関係

119番の受信状況	41
富士市・富士宮市消防指令センター 応援指令状況	41
映像通報システム（Live119）使用件数	41
通信施設の状況	42
富士市・富士宮市消防指令センター系統図	43
無線配置状況	44
富士宮市気象観測結果	46

救助関係

発生場所別事故件数及び月別・事故別出動件数	47
事故別出動車両、出動・活動・救出人員	48
救助資機材の配置状況（省令指定物品等）	49

救急関係

月別事故活動状況	5 2
出動件数の推移と事故種別による出動割合	5 3
出動から現場到着までの所要時間と出動件数	5 4
出動から医療機関収容までの所要時間と搬送人数	5 4
救急講習件数・受講人員	5 4
応急処置別 事故種別実施数	5 5
覚知時間別 事故種別出動回数	5 6
曜日別救急出動件数	5 7
月別救急出動件数	5 7
救急関係資器材の配置状況	5 8

応援協定関係

消防相互応援協定及び覚書	5 9
その他の協定、静岡県内の消防の現況	6 0

消防団関係

消防団組織図	6 1
消防団の定員及び実員	6 1
歴代消防団長	6 2
消防団員配置状況（実員数）	6 3
年度別消防団員入団及び退団の推移	6 4
消防団員階級別年齢及び在職年数	6 5
消防団消防車両配置状況	6 6
消防団詰所一覧表	7 0
水防倉庫・資機材倉庫配置図	7 2
消防団車両配置図	7 3
消防団協力事業所表示証交付団体	7 4

防火協力団体関係

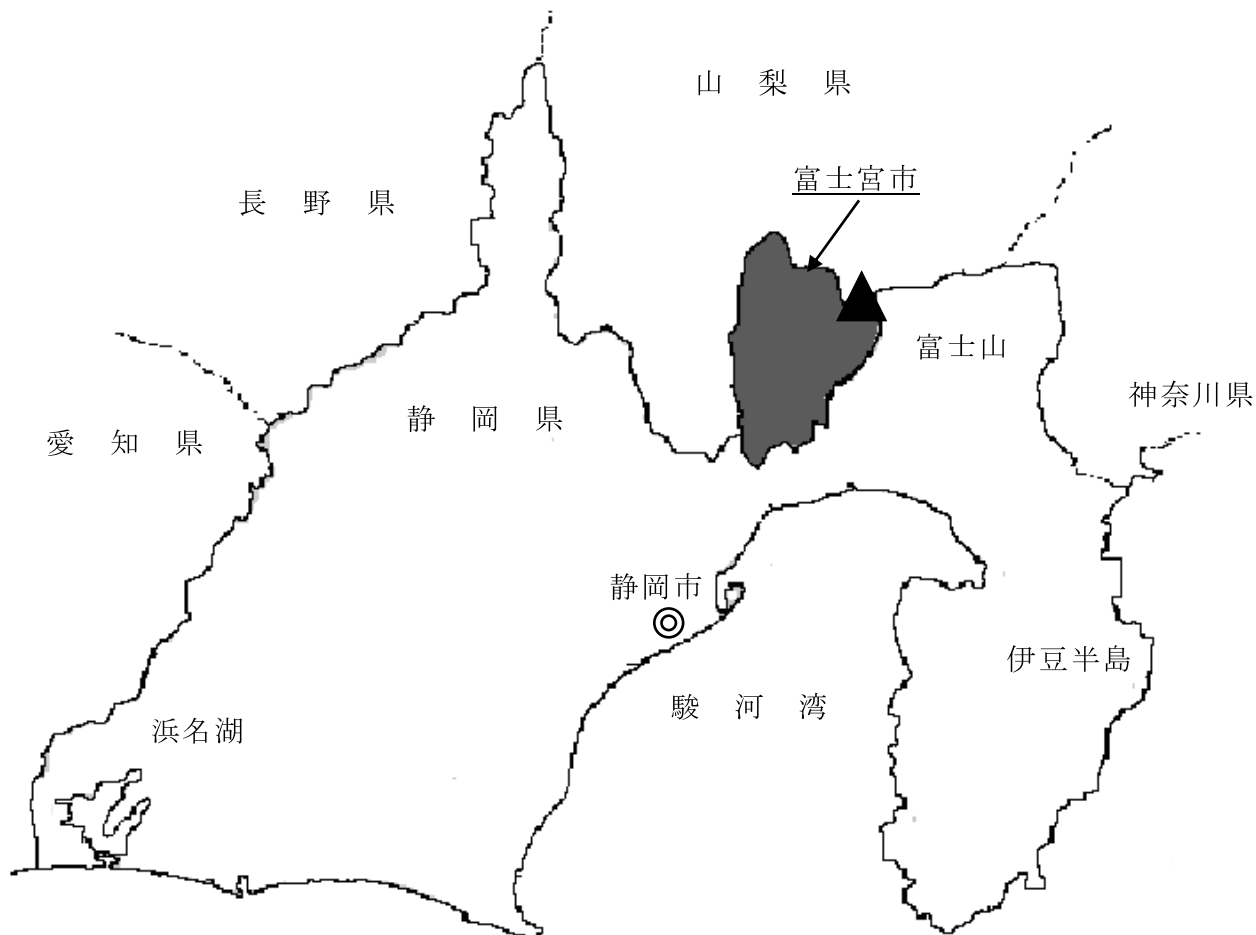
富士宮市防火安全協会	7 5
婦人防火クラブ	7 6
少年消防クラブ	7 7
幼年消防クラブ	7 8

概 要



富士宮市と富士山

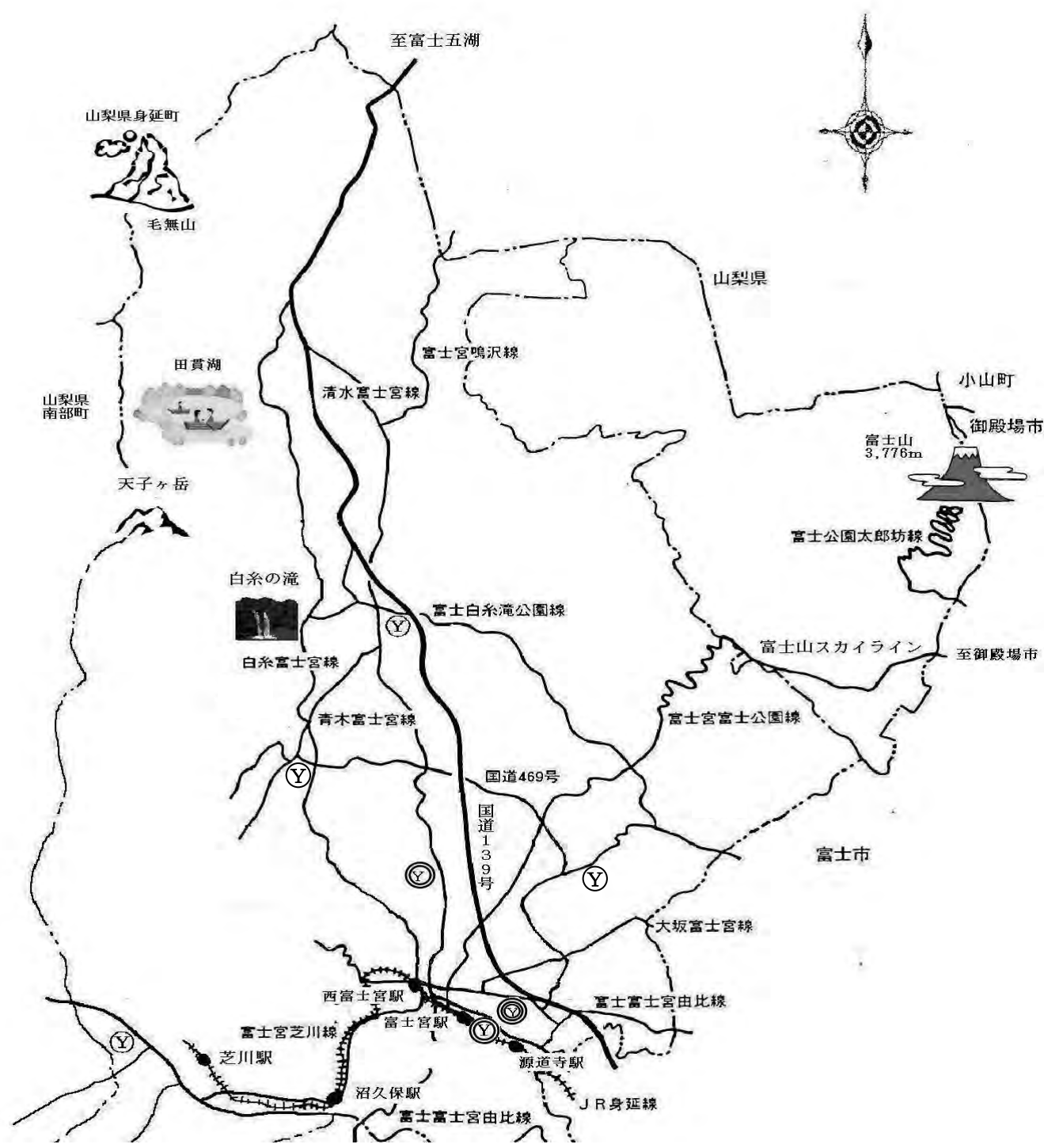
富士宮市の案内（位置）



富士宮市は、富士山の西南麓に位置し、広大な森林や豊富な清流、湧水等の自然の中で文化と歴史が育まれ、市域の46パーセントが富士箱根伊豆国立公園に指定されています。市域は、東から南は富士市に接し、北から西は富士山頂から毛無山系を隔て山梨県に接し、北方に世界文化遺産である富士山を有している。また、その構成資産（富士山信仰の対象と芸術の源泉）である富士山本宮浅間大社・山宮浅間神社・村山浅間神社・人穴富士講遺跡・白糸ノ滝といった文化的資産を有するまちである。

本市は、世界遺産のまちづくりとして、浅間大社を中心とした信仰の地にふさわしい文化的空間の創出、「清流の美」「空間の美」「庭園の美」をコンセプトにした豊かな自然を生かした癒しの創出、門前町としてののにぎわいの創出を基本方針にまちづくりを進めている。

富士宮市の面積・人口・世帯数



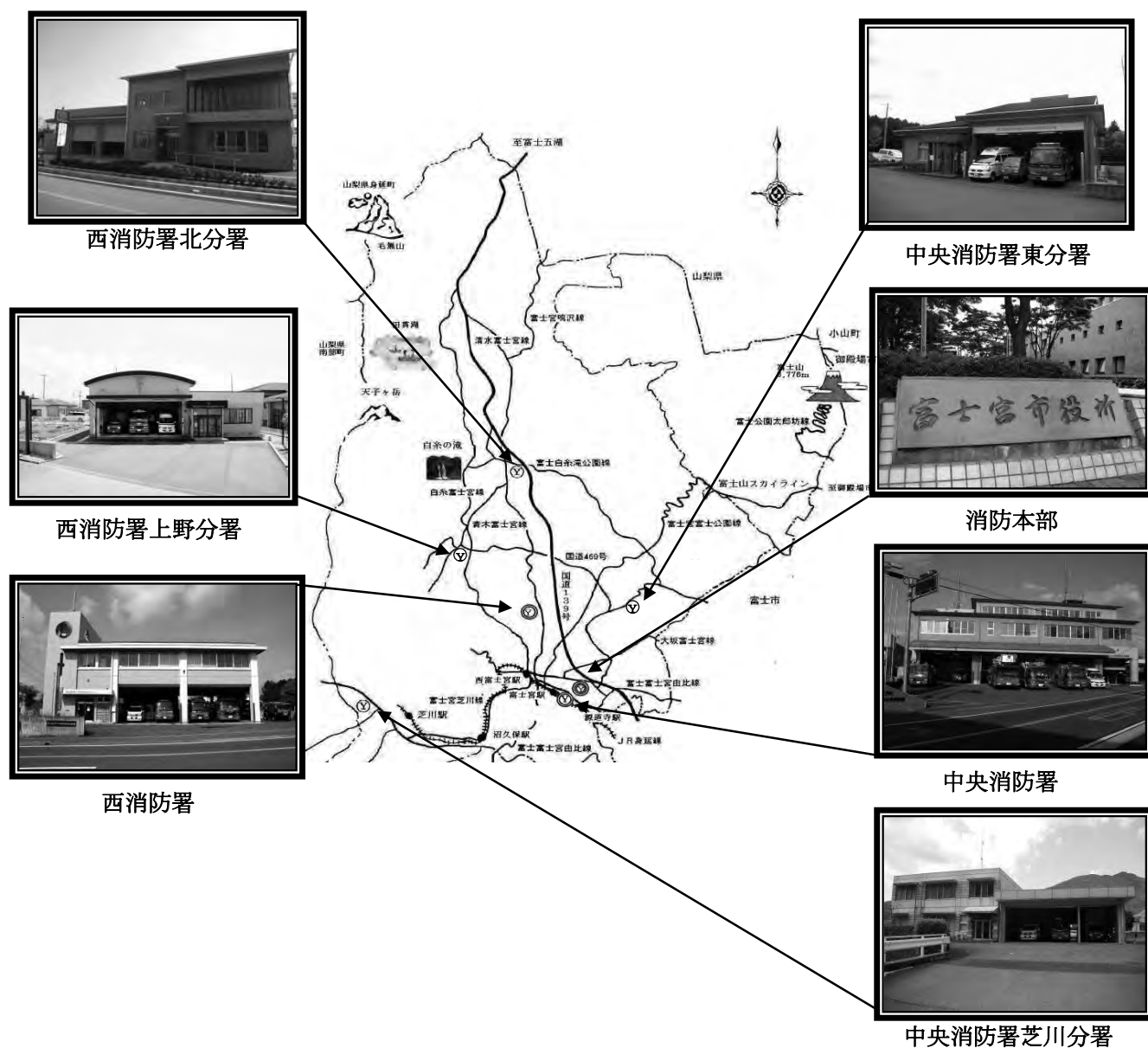
富士宮市				
形状	東西	20.92km	南北	32.63km
海拔	最高	3,776m	最低	35m

面積・人口・世帯数

令和8年4月1日現在

面 積	人 口			世帯数
389. 08km ²	125, 124人	男	62, 314人	59, 917世帯
		女	62, 810人	

消防本部・署（分署）の配置



名称 種別	富士宮市役所 (消防本部)	中央消防署	西消防署	芝川分署	北分署	東分署	上野分署
所在地	弓沢町150	源道寺町5-1	宮原1-22	長貫756-1	上井出2256	栗倉334-1	下条140-3
敷地面積	18,836.03 m ²	1,541.65 m ²	1,840.25 m ²	3,046.73 m ²	5,996.08 m ²	2,322.43 m ²	1,511.99 m ²
建築面積	4,937.71 m ²	729.63 m ²	439.85 m ²	349.02 m ²	495.24 m ²	293.81 m ²	321.99 m ²
延べ面積	21,014.11 m ² (内 459.58 m ²)	1,606.78 m ²	724.22 m ²	503.27 m ²	650.47 m ²	293.37 m ²	340.27 m ²
建築年月日	H 3.11.1	H12. 5.20	H 7. 2.27	H 3. 3.28	H28.3.11	H 9. 2.28	H16. 3.31
電話	0544-22-1198	0544-26-5119	0544-27-0019	0544-65-1219	0544-54-1771	0544-22-8880	0544-59-1119

富 士 宮 消 防 の 沿 革

富士宮市の消防の発祥は、明治8年8月に初音町（元城町）から出火し、神田町（大宮町）・仲宿（中央町）・連尺（東町）・青柳（東町）・伝馬町（東町）の330戸を焼失する大火があり、つづいて同年9月にも新立町（西町）から出火、西町の250戸を焼失し大きな損害を出しました。このことにより住民自ら無防備の非を深く反省し、防火消防団体の必要性を痛感し、当時の神田川東の魚屋業者が「酔狂連同盟社」という消防組を結成して活動を開始しました。これが富士宮市消防のはじまりとされております。

明治 9 年 9 月	神田川東の魚屋業者が消防組「酔狂連同盟社」を結成する。
明治13年	西町の魚屋業者が「魚屋連中非常隊」を結成する。
明治15年 3 月	阿幸地・源道寺の住民が合同して「阿源組」を結成する。
明治15年 4 月	西町「魚屋連中非常隊」が「神立組」に改称、組員31名。
明治15年10月	ドイツ製腕用ポンプを2台購入。
明治18年	東町「酔狂連同盟社」が「巴組」と改称。
明治27年 2 月 9 日	勅令第15号消防組規則をもって当時の消防組制度を変更する。「巴組」を「大宮町消防組第1部」「神立組」を同じく「第2部」に改称。
明治38年 3 月	「阿源組」を「第3部」として編入、総員150名。
大正 3 年	富士郡北部6ヶ町村が士気高揚と防火心の普及のため大演習を実施する。
大正 5 年 1 月13日	大宮町消防組に当時第一の名誉とされていた「金馬廉」一条を授与される。
大正 9 年10月	大阪森田ポンプ会社から4千円を投じて、20馬力手挽ガソリンポンプ3台を購入し、大宮町消防組第1部・第2部・第3部に配置。
大正14年 6 月25日	大宮町消防組を6部制とし、組頭以下246名。
大正15年 5 月 1 日	再度、金馬廉授与の栄誉を受ける。
昭和 3 年 5 月 5 日	自動車ポンプ「チャンドラ号」100馬力を購入、第1部に配置。
昭和 7 年 4 月21日	大宮町が大火になり、常備消防の必要性を痛感し、夜間常備班を仲宿（中央町）に設置、編成は2部制とし、各部21名が交互に勤務する。
昭和 7 年 6 月20日	自動車ポンプ、フォード24馬力を購入、第2部に設置。
昭和11年 8 月20日	本町第2部消防組詰所に常備消防員10名をおき、5名ずつ昼夜24時間交代の隔日勤務制となる。
昭和12年 4 月 5 日	防護団令が公布され、全国の市町村に防護団が新設される。
昭和14年 1 月24日	勅令第20号をもって警防団令が發布される。
昭和14年 4 月 1 日	大宮町消防組を解散し、「大宮町警防団」を設置。その組織は本部及び11個分団、定員495名、翌15年505名に増員。
昭和15年11月	自動車ポンプ、シボレー100馬力を購入。
昭和17年 6 月 1 日	大宮町と富丘村が合併して市制を施行し「富士宮市警防団」となる。
昭和18年10月	富士急行（当時富士山麓バス会社）から乗用車フォード80馬力を購入、市原ポンプで、消防ポンプに艤装して運用開始。
昭和22年11月 1 日	「富士宮市消防団」と改称。
昭和22年12月23日	消防組織法の公布により、自治体消防発足。
昭和25年11月 1 日	富士宮市消防本部（署）の発足、署長以下23名。 水槽付消防車いすゞ80馬力を購入。
昭和30年 4 月 1 日	富士宮市と富士根村が合併。
昭和32年12月26日	可搬ポンプ積載消防車いすゞ130馬力を購入。
昭和33年 4 月 1 日	北山・上野・上井出・白糸の4ヶ村が富士宮市と合併、分団数36。
昭和34年 3 月30日	災害現場連絡用として、消防用短波無線（基地局・移動局各1）を購入。
昭和34年 5 月22日	日本損害保険協会から、普通消防車、ニッサン105馬力が寄贈され、のち水槽車に改造。
昭和35年 6 月	消防団の分団を一部統合させ、22個分団、定員675名。
昭和37年 3 月10日	大宮45の10に鉄筋コンクリート3階建て、総面積518㎡の消防庁舎を建設する。
昭和39年 8 月	危険物火災に対処するため、化学消火装置2基、薬液200ℓ、その他小型

昭和39年 9月	消火器10基を購入。
昭和39年12月	普通消防車ニッサン130馬力、中型車を購入。
昭和42年 3月20日	消防本部に、庶務・消防・予防の3係の日勤5名をおく。
昭和42年11月 1日	富士宮市危険物安全協会から、ホンダ125ccの赤バイが寄贈された。
昭和43年 2月 8日	救急業務を開始する。
昭和43年 3月20日	救急第1号車、トヨタ125馬力を購入。
昭和44年11月 7日	光町16番5号に鉄筋コンクリート2階建て、総面積400㎡の消防庁舎、消防署西出張所を建設する。
昭和44年11月24日	可搬動力ポンプ、ラビット30馬力を購入、第7号車に積載。
昭和45年 6月	化学消防車（消火薬液300ℓ、水1,000ℓ積載）いすゞ145馬力を購入。
昭和45年 6月17日	消防団22個分団、定数655名。
昭和45年 7月 6日	指揮連絡車、ジープJ30型車を購入。
昭和45年 7月 6日	富士宮市・富士市・御殿場市・裾野町の3市1町が「表富士周遊道路における消防相互応援に関する協定」を締結。
昭和45年 7月 6日	上野地区から救急車寄贈。救急第2号車として西出張所に配置。
昭和46年 7月29日	自動車ポンプいすゞ140馬力を購入、消防署西出張所に配置。
昭和46年 9月 1日	富士宮市・富士市、「消防相互応援協定」を締結。
昭和48年 2月14日	水槽付消防ポンプいすゞ140馬力を購入、消防署西出張所に配置。
昭和48年 4月 1日	富士宮市芝川町消防組合設立。条例定数を92名とした。
昭和49年 2月12日	芝川出張所開設に伴いトヨタ1,900cc2B型救急車購入。
昭和49年 2月27日	芝川出張所開設に伴い消防ポンプ自動車ニッサン3,950ccを購入。
昭和49年 3月20日	署指令室増築、建面積 67.74㎡ 延面積 135.48㎡ 消防・救急指令装置完成、一斉指令庁内電話及び専用電話（119番）の集中管理開始。
昭和49年 4月30日	連絡車トヨタランドクルーザー3,870cc購入。
昭和49年 5月 1日	富士宮市芝川町消防組合消防署芝川出張所開設。
昭和49年 7月 1日	富士宮市芝川町消防組合消防本部に管理課・予防課を設置。
昭和50年 3月31日	救急車トヨタ1,990cc2B型購入、西出張所に配置。
昭和51年 3月 8日	署・車庫（梯子車用）増築97.5㎡ 梯子車35メートル級本署に配置。
昭和52年 3月 1日	救助訓練塔建設。
昭和52年 3月 4日	富士宮市芝川町消防組合消防本部・富士宮市消防団は、消防庁長官から竿頭綬を授与された。
昭和52年 3月31日	救急車トヨタ1,990cc2B型購入、本署に配置。
昭和52年 3月31日	赤バイ・スズキ125cc3台 後藤誠氏寄贈、本署および2出張所に配置。
昭和52年 4月 1日	通信指令室が通信統制室に改称。
昭和52年12月21日	予防連絡車、三菱ジープJ36型購入。
昭和53年 3月13日	水槽付消防ポンプ自動車（FK115F型）日本損害保険協会寄贈、本署に配置。
昭和53年 4月 1日	条例定数を107名とした。
昭和53年 6月 1日	同報無線遠隔制御機を通信統制室に設置。
昭和53年 8月 3日	広報車三菱ギャラン 東京海上火災寄贈、消防本部に設置。
昭和53年10月27日	富士宮市芝川町消防組合消防署北出張所開設。
昭和54年 3月28日	救急車トヨタ1,960cc2B型 富士宮市芝川町消防組合消防署北出張所建設委員会寄贈、北出張所に配置。
昭和55年 1月 9日	通信統制室に地図自動検索装置設置。
昭和55年 2月28日	消防本部車庫（公用車用）新築、建築面積57.5㎡
昭和55年 3月14日	消防ポンプ自動車いすゞCD-I型購入、本署に配置。
昭和55年 4月 1日	指令車ニッサンワゴン購入。
昭和55年 4月 1日	条例定数を115名とした。
昭和55年 4月 1日	消防団22個分団、定数650名。

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

昭和55年	8月27日	連絡車トヨタコロナ 富士宮市芝川町危険物安全協会寄贈、消防本部に配置。
昭和55年	9月 1日	消防本部の住所が町名整備によって、富士宮市田中町540番地に変更。
昭和55年	12月 6日	化学消防ポンプ自動車1型日野FD171購入、本署に配置。
昭和56年	3月26日	連絡車ダイハツハイゼットバン 携帯局1基 滝川公夫氏寄贈、消防本部に配置。
昭和56年	4月 1日	通信統制室を廃室し、警防課を設置。
昭和56年	4月 1日	条例定数を130名とした。
昭和57年	2月 9日	消防本部事務室増築、34.402㎡
昭和57年	4月22日	救急車ニッサンキャラバン1, 980cc2B型購入、西出張所に配置。
昭和58年	12月13日	救助工作車日野FD172購入、本署に配置。
昭和59年	1月12日	救急車ニッサンキャラバン2B型 芝川町から贈与、芝川出張所に配置。
昭和59年	3月15日	消防署、望楼解体。
昭和59年	3月29日	救急車トヨタハイエース2B型購入、本署に配置。
昭和59年	11月20日	消防用気象観測装置を設置。
昭和59年	12月12日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞ購入、西出張所に配置。
昭和60年	3月22日	消防ポンプ自動車いすゞCD-I型 芝川町から贈与、芝川出張所に配置。
昭和60年	6月29日	トラック三菱キャンター購入、消防本部に配置。
昭和60年	11月26日	防火広報車ニッサンキャラバン、日本防火協会寄贈、消防本部に配置。
昭和61年	2月 7日	救急車ニッサンキャラバン2B型、日本自動車工業会寄贈。北出張所に配置。
昭和61年	2月27日	連絡車三菱軽四3台購入、各出張所に配置。
昭和61年	3月 8日	複信用無線機（救急波）設置、基地局1基、移動局4基。
昭和62年	2月26日	梯子車の分解整備を実施。
昭和62年	3月30日	赤バイ・スズキ400cc 2台購入、西出張所、芝川出張所に配置。
昭和62年	3月31日	広報車三菱パジェロ購入、消防本部に配置。
昭和62年	4月 1日	静岡県消防相互応援協定を締結。条例定数を138名とした。
昭和62年	8月18日	指令車トヨタクラウン購入、消防本部に配置。
昭和62年	9月 7日	火災発生時の電話照会に対するため、テレホンサービス（5回線）を導入。
		昭和63年9月1日、日本損害保険協会から、水槽付消防ポンプ自動車（P-FK417F）が寄贈され、本署に配置。
平成 元年	2月23日	連絡車トヨタカローラ購入、消防本部に配置。
平成 元年	12月18日	救急車トヨタ2B型購入、西出張所に配置。
平成 2年	3月 8日	富士宮市芝川町消防組合消防本部・富士宮市消防団は、消防庁長官から表彰旗を授与された。
平成 2年	8月24日	連絡車スバルを購入、本署に配置。
平成 3年	2月20日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞFRR32購入、北出張所に配置。
平成 3年	3月28日	芝川出張所（延462.85㎡）が芝川町長貫756-1に移転。
平成 3年	4月 1日	広報車トヨタスターレット 遠藤好子氏寄贈、消防本部に配置。
平成 3年	11月 1日	消防本部、市役所新庁舎に移転、業務開始。
平成 4年	3月25日	警防課指令係 消防緊急通信指令施設完成、業務開始。
平成 5年	2月16日	救急3号車、ニッサン2B型購入、芝川出張所に配置。
平成 5年	2月20日	大型水槽車、10,000ℓいすゞ93購入、消防署に配置。
平成 5年	4月 1日	定数条例を160名とした。
		当直司令を廃止し副署長に、当直主任を廃止し係長とする。
		主査制度を開始。完全週休二日制を開始。
		高度救急処置用資器材（9項目）一式を購入。（消防署救急車に積載）
		大型救助用器具一式を購入。
平成 5年	10月24日	消防組合発足20周年記念フェスティバルを開催。
平成 7年	3月16日	消防署西出張所を光町16番5号から宮原1番地の22へ移転、消防業務開始。（鉄筋コンクリート2階建て 延面積577.2㎡）
平成 7年	3月10日	高度救急処置用資器材（9項目）一式を購入。（西出張所及び芝川出張所救急

				車に積載)
平成	7年	4月	1日	主幹制度を開始。
平成	8年	1月	23日	消防ポンプ自動車いすゞ(CD-II)購入。(更新)
				西出張所に配置。「大型救助用器具積載車」
平成	8年	1月	31日	高規格救急車(トヨタ)を購入。消防署に配置。
平成	8年	12月	20日	地震対策救助資器材(大型救助用器具)一式購入。
平成	9年	3月	6日	化学消防ポンプ自動車I型購入。(更新)
平成	9年	4月	1日	組織機構改革により二署制を導入し、従来の消防署本署を中央消防署とし、西出張所を西消防署とした。また、出張所の名称を分署に改めた。
平成	9年	4月	1日	富士宮市芝川町消防組合中央消防署東分署開設。
				分署長以下13名。水槽付消防ポンプ自動車・救急車ニッサン2B型(財団法人日本消防協会から寄贈)・連絡車を配置。
平成	9年	12月	10日	救急車(2B型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成	9年	12月	11日	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成	10年	2月	27日	消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)、中央消防署芝川分署に配置。
平成	11年	10月	20日	地震対策用50ccバイク7台を各署々に配置。
平成	11年	12月	22日	高規格救急車(ニッサン)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成	12年	4月	1日	組織機構改革により警防課指令係を警防課情報指令室と改めた。
平成	12年	6月	20日	中央消防署を田中町540番地から源道寺町5番地の1へ移転。 (鉄筋コンクリート3階建て延面積1,606.78㎡)
平成	12年	7月	10日	山岳救助隊を発足(隊員7名)。
平成	13年	3月	19日	救助工作車(II型)を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成	14年	7月	12日	指揮車(ニッサン・ADバン)を購入、西消防署に配置。
平成	15年	1月	30日	高規格救急車(ニッサン)を購入(更新)、中央消防署芝川分署に配置。
平成	15年	4月	1日	条例定数を161名とした。
平成	16年	3月	8日	連絡車スバルS4WD購入、北分署に配置。
平成	16年	3月	31日	日本消防協会から指揮車が寄贈され消防本部に配置。
平成	16年	3月	31日	西消防署上野分署落成式。
平成	16年	4月	1日	条例定数を163名とした。
平成	16年	4月	1日	富士宮市芝川町消防組合西消防署上野分署開設。
				分署長以下13名。水槽付消防ポンプ自動車・救急車トヨタ2B型・連絡車を配置。
平成	17年	1月	7日	梯子車(30m級)を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成	17年	1月	14日	救急車(2B型)を購入(更新)、中央消防署東分署に配置。
平成	17年	12月	22日	高規格救急車を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成	18年	12月	25日	指揮車を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成	19年	4月	1日	条例定数を167名とした。
平成	20年	2月	18日	北分署水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を更新。
平成	20年	8月	22日	査察車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成	21年	11月	18日	高規格救急車を購入(更新)、西消防署に配置。
平成	22年	2月	5日	J A 共済静岡県本部から高規格救急車2台が寄贈され西消防署及び北分署に配置。
平成	22年	3月	22日	富士宮市芝川町消防組合を解散。
平成	22年	3月	23日	富士宮市と芝川町の合併により富士宮市消防本部とした。
平成	22年	3月	23日	条例定数を163名とした。
平成	22年	3月	23日	富士宮市と芝川町の合併により富士宮市消防団は28個分団、定員810名。
平成	23年	3月	11日	東日本大震災に緊急消防援助隊静岡県隊として救急部隊・後方支援部隊、計24名を派遣。
平成	23年	3月	16日	大型水槽車(II型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成	23年	12月	1日	資機材搬送車を購入、中央消防署に配置。
平成	24年	2月	2日	指令車を購入(更新)、消防本部に配置。

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

平成24年	3月 8日	広報車を購入（更新）、消防本部に配置。
平成24年	4月 1日	消防本部管理課を消防本部消防総務課と課名変更した。
平成24年	4月 6日	富士宮市防火安全協会から寄贈。消防本部に査察車を配置。
平成24年	7月13日	富士市及び富士宮市消防救急広域化協議会設立。
平成25年	3月26日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－Ⅱ型）を購入（更新）、中央消防署に配置。
平成25年	4月 1日	条例定数を168名とした。
平成26年	1月28日	高規格救急車を購入（更新）中央消防署に配置。
平成26年	3月14日	西消防署仮眠室及び女性対応施設増築。
平成26年	4月 1日	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議会設立。
平成27年	2月18日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－Ⅱ型）を購入（更新）、西消防署に配置。
平成27年	2月20日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅲ－Ⅳ型）を購入（更新）、中央消防署芝川分署に配置。
平成27年	4月 1日	条例定数を175名とした。
平成27年	9月 8日	情報指令室を弓沢町150から富士市・富士宮市消防指令センター（富士市永田町1丁目100 富士市消防防災庁舎5階）へ移転、回線切り替え及び無線のデジタル化移行。（平成27年9月10日運用開始）
平成28年	1月20日	高規格救急車を購入（更新）、中央消防署芝川分署に配置。
平成28年	2月17日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－Ⅱ型）を購入（更新）、中央消防署東分署に配置。
平成28年	3月24日	西消防署北分署を上井出890番地の1から上井出2256番地へ移転、訓練塔及び臨時ヘリポート設置。 （鉄筋コンクリート2階建て 延面積650.47㎡）
平成29年	2月27日	救助工作車Ⅲ型を購入（増強）、中央消防署に配置。
平成29年	3月21日	指揮車を購入（更新）、中央消防署に配置。
平成30年	2月 8日	団指揮広報車を購入（更新）、消防本部に配置。
平成30年	3月16日	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅲ－Ⅳ型）を購入（更新）、西消防署上野分署に配置。
平成30年	3月26日	高規格救急車を購入（更新）、西消防署に配置。
平成31年	2月19日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入（更新）、西消防署に配置。
平成31年	2月25日	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急車が寄贈され、西消防署上野分署に配置。
平成31年	3月22日	高規格救急車を購入（更新）、中央消防署東分署に配置。
令和 3年	3月 1日	指揮車を購入（更新）、消防本部に配置。
令和 3年	7月 3日	熱海市伊豆山で発生した土石流災害に静岡県消防相互応援協定に基づき、延べ208人（消火小隊145人・後方支援隊63人）の隊員を派遣する。
令和 4年	2月24日	高規格救急車を購入（更新）、西消防署北分署に配置。
令和 5年	3月17日	高規格救急車を購入（更新）、中央消防署に配置。
令和 5年	4月 1日	条例定数を178名とした。
令和 5年	8月28日	消防ポンプ付救助工作車を購入（更新）、西消防署北分署に配置。
令和 6年	1月 1日	令和6年能登半島地震に、緊急消防援助隊静岡県隊として、消火隊・後方支援部隊、計48名を派遣。
令和 6年	2月 9日	連絡車スズキエブリイを購入、中央消防署芝川分署に配置。
令和 6年	3月18日	高規格救急車を購入（更新）、中央消防署芝川分署に配置。
令和 6年	5月11日	白糸自然公園内に「宮っこ！消防わんぱく」が開設。
令和 6年	11月 6日	支援車Ⅲ型を購入（新規）、西消防署北分署に配置。
令和 7年	8月 5日	梯子車（30m級）を購入（更新）、中央消防署に配置。
令和 8年	3月19日	高規格救急車を購入（更新）、西消防署に配置。

主 な 災 害 歴

明治 8 年 8 月	初音町（元城町）から出火し、神田町（大宮町）・仲宿（中央町）・連尺（東町）・青柳（東町）・伝馬町（東町）の 3 3 0 戸を焼失。
明治 8 年 9 月 1 1 日	新立町（西町）から出火し、2 5 0 戸を焼失。
明治 9 年 1 1 月	山道（元城町）から出火し、1 2 戸を焼失。
明治 1 3 年 1 月	神田町（大宮町）から出火し、1 2 戸を焼失。
明治 1 4 年 1 1 月	西新町（宮町）から出火し、西町地区の大半を焼失。
大正 9 年 1 月 2 3 日	初音町（元城町）から出火し、1 9 6 戸を焼失。
昭和 5 年 2 月 1 0 日	野中（現第 9 分団詰所付近）から出火し、5 0 戸を焼失。なお、強風により星山部落に飛火して 1 戸を焼失。
昭和 7 年 4 月 2 1 日	「大宮町の大火」 栄町（大宮町）から出火し、神田川以東の 1, 1 0 2 戸全焼、罹災者 4, 9 1 4 名、死傷者 4 名、負傷者 9 8 名。
昭和 9 年 1 0 月 2 7 日	貴船町から出火し、3 8 戸延べ 3, 7 1 2 m ² を焼失。
昭和 2 6 年 4 月 2 5 日	淀師中村から出火し、1 2 戸を焼失。
昭和 3 0 年 2 月 2 3 日	阿幸地地先から出火し、8 戸延べ 1, 3 0 7 m ² を焼失。
昭和 3 1 年 2 月 2 2 日	錦町の市立富士宮病院から出火し、延べ 1, 5 1 8 m ² を焼失。
昭和 4 0 年 1 月 1 5 日	松山町（西町）から出火し、8 戸延べ 1, 1 1 4 m ² を焼失。
昭和 4 1 年 9 月 2 5 日	台風 2 6 号によって瞬間最大風速 5 0 m を記録し重軽傷者 4 1 名、住家全壊 6 6 戸、半壊 2 0 0 0 戸の被害を受けた。
昭和 4 7 年 7 月 1 2 日	梅雨前線の影響から集中豪雨が襲い、堤防決壊 1 7 ヶ所、橋梁流出 1 1 ヶ所、床下浸水 3 6 3 戸等の被害を受け、上井出地先の老人ホームに老人 3 3 名が取り残された。
昭和 5 1 年 9 月 8 日	台風 1 7 号によって河川等決壊 2 1 箇所、井之頭中学校、民家等の床上浸水 3 0 戸の被害を受けた。
昭和 5 3 年 1 月 5 日	貴船町から出火し、8 戸延べ 7 4 5 m ² を焼失。
昭和 5 3 年 7 月 1 6 日	富士宮市立富士宮第一中学校校舎等 5 棟 2, 4 9 0 m ² を焼失。
昭和 5 5 年 1 2 月 4 日	大中里地先から出火し、8 戸延べ 7 0 6 m ² を焼失。
平成 3 年 6 月 1 5 日	国道 1 3 9 号線バイパスで大型トレーラーが暴走。車両 7 台が焼失、死者 8 名。
平成 8 年 3 月 6 日	元城町地先から出火し、1 1 戸延べ 5 0 4 m ² を焼失。
平成 1 5 年 3 月 9 日	大中里地先から出火し、9 戸延べ 2 7 9 m ² を焼失。
平成 1 5 年 6 月 2 3 日	大中里地先で不法に保管されていた産業廃棄物入りのドラム缶、約 6 0 0 本から硫酸ピッチ 2, 0 0 0 l が漏洩、高濃度の亜硫酸ガスが発生した。
平成 1 6 年 7 月 3 0 日	淀師、淀平町、大宮町地内で連続して不審火火災が 5 件発生。（淀平町、大宮町の火災は放火犯が逮捕された。）
平成 2 1 年 8 月 1 1 日	駿河湾を震源とする M 6. 5 の地震が発生し、市内で震度 5 強を観測した。
平成 2 3 年 3 月 1 5 日	静岡県東部を震源とする M 6. 4 の地震が発生し、市内で震度 6 強を観測し、軽症 1 7 名、一部損壊 5 4 9 棟。
平成 2 7 年 4 月 1 7 日	国道 5 2 号線で危険物 1 万 8 千リットルを積載したタンクローリーが転覆。車両に積載していた灯油が漏れだし、境川に流出した。

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

消
防団

防
火協
力団
体

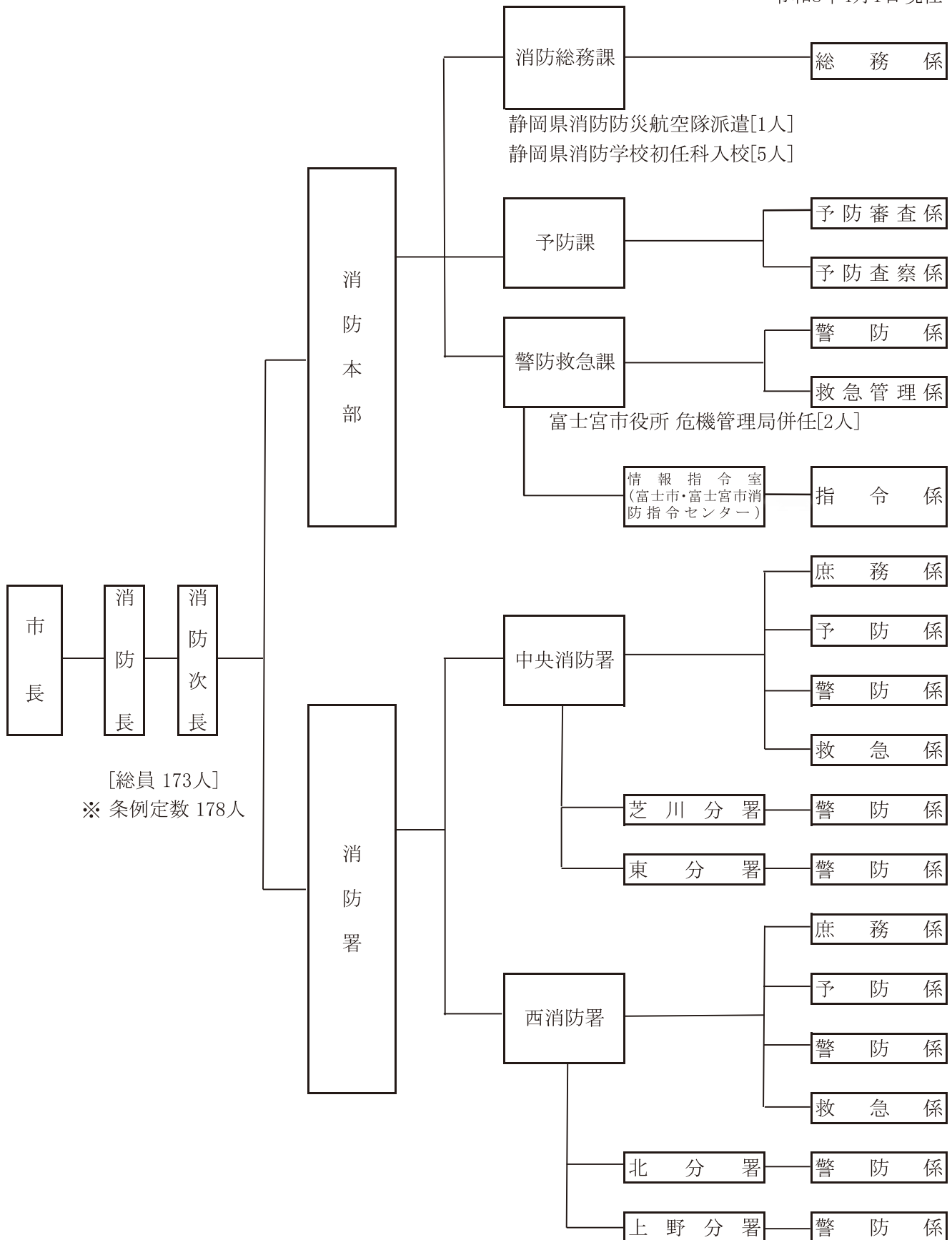
総務



はしご車（令和7年8月配備）

富士宮市消防本部組織機構図

令和8年4月1日現在



概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

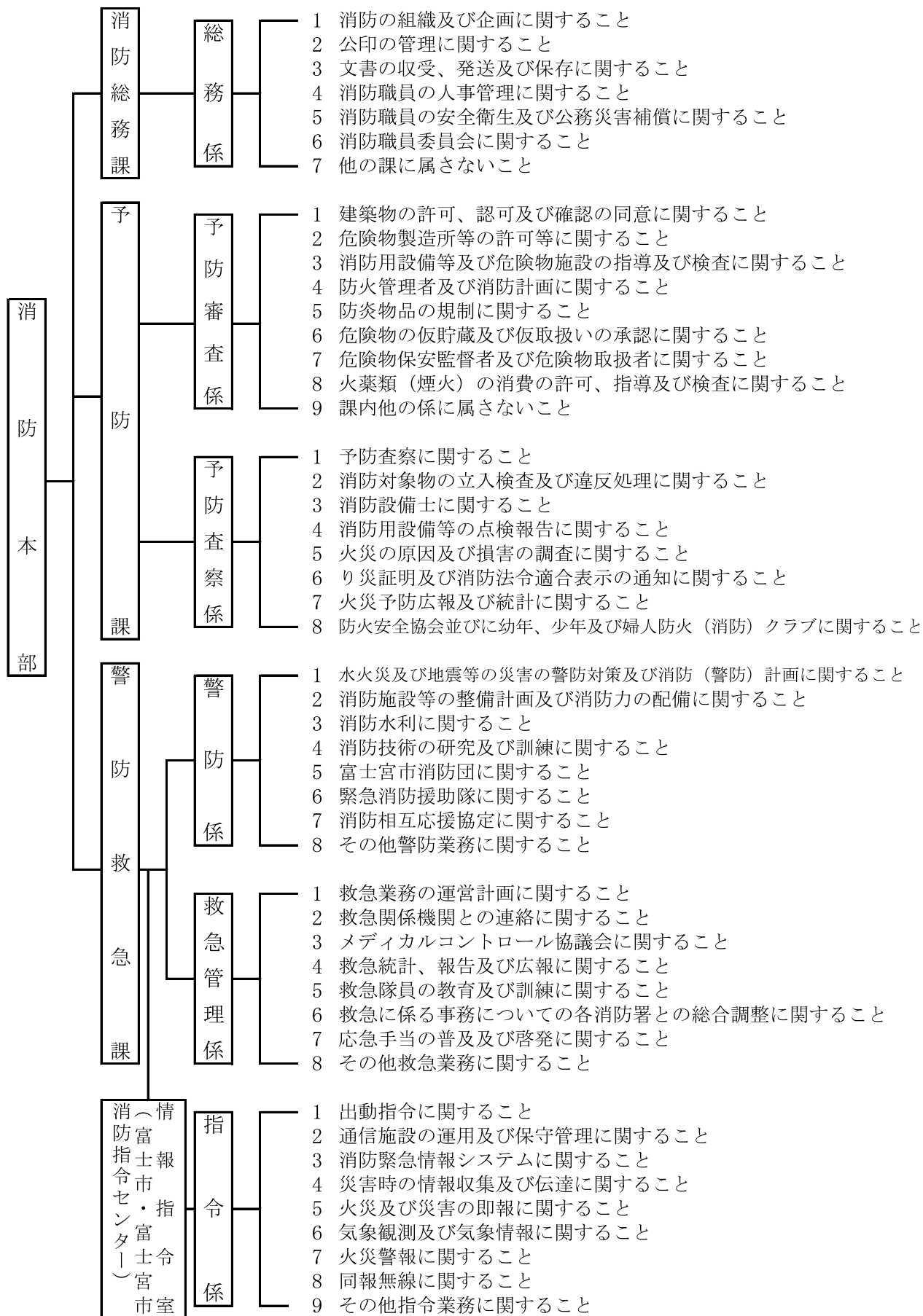
救
急

応
援
協
定

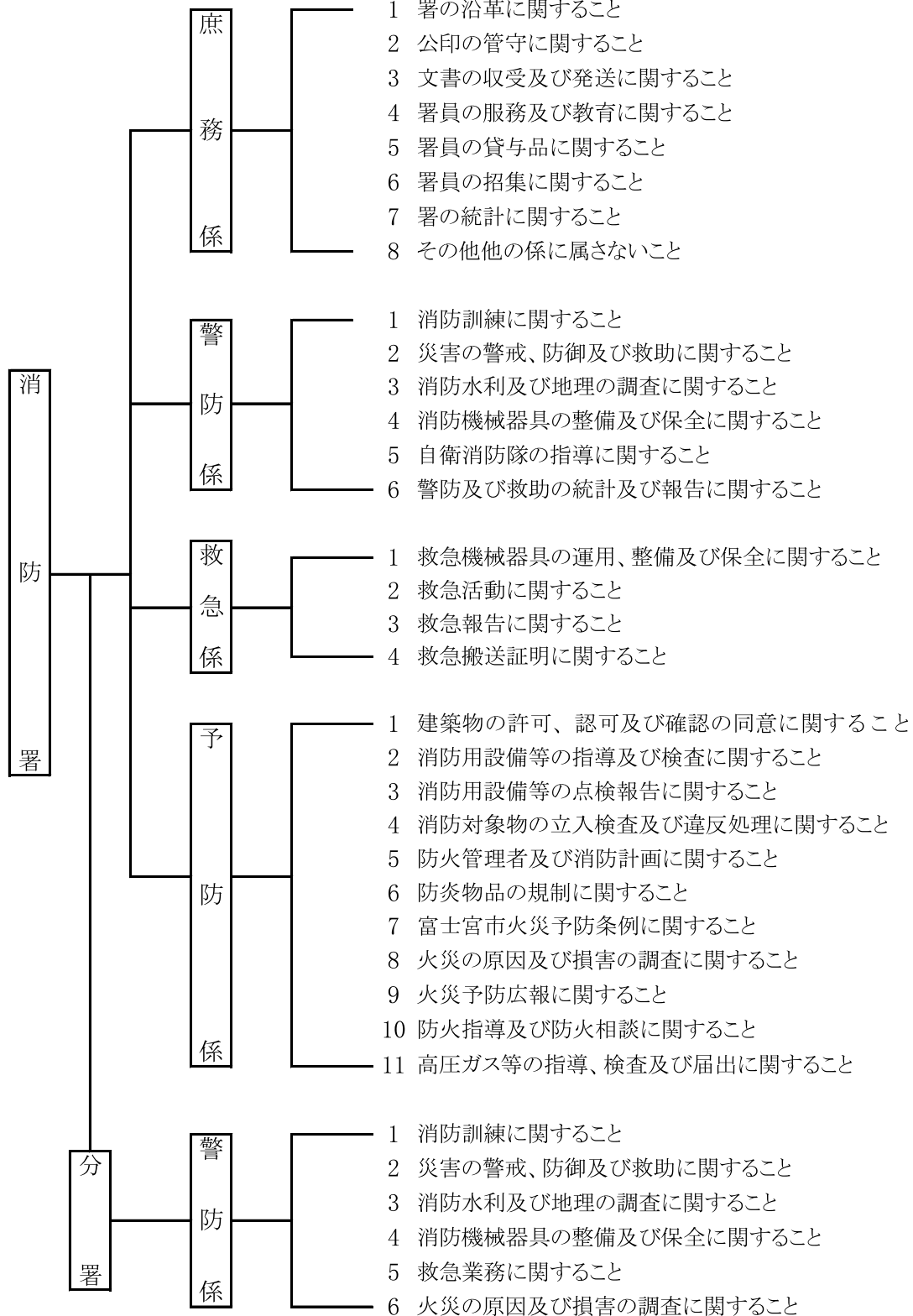
消
防
団

防
火
協
力
団
体

消防本部事務分掌



消防署事務分掌



概要
総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

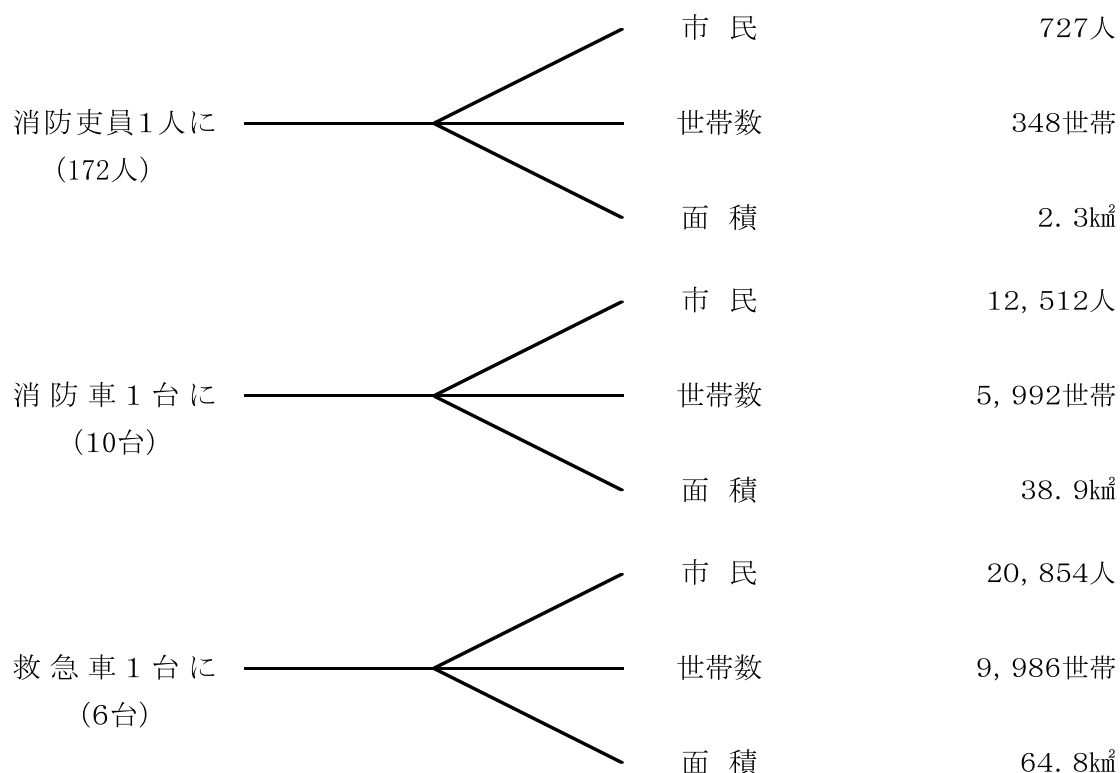
応援協定

消防団

防火協力団体

住民と常備消防力

令和8年4月1日現在



歴代消防長

代	氏 名	在任期間	備 考	代	氏 名	在任期間	備 考
初代 ～ 2代	小室 鶴松	自 S25.11. 1 至 S30. 3. 31	市長兼務	17代	四條 洋成	自 H 8. 4. 1 至 H16. 3.31	
3代	上杉増太郎	自 S30. 5. 1 至 S33.11.14	市長兼務	18代	齋藤 吉董	自 H16. 4. 1 至 H19. 3.31	
4代	渡辺 定信	自 S33.12.21 至 S35. 2. 6	市長兼務	19代	渡邊 喜哉	自 H19. 4. 1 至 H20. 3.31	
5代	道岡 三郎	自 S35. 2. 7 至 S35.11. 1	助役兼務	20代	佐野 裕克	自 H20. 4. 1 至 H22. 3.31	
6代 ～ 8代	山川 斌	自 S35.11. 2 至 S47. 3.19	市長兼務	21代	渡辺 栄	自 H22. 4. 1 至 H23. 3.31	
9代	植松 義忠	自 S47. 3.20 至 S48. 3.31	市長兼務	22代	小倉 辰彦	自 H23. 4. 1 至 H25.3. 31	
10代	深沢 文男	自 S48. 4. 1 至 S48. 6.30	助役兼務	23代	佐野 則男	自 H25. 4. 1 至 H27.3. 31	
11代	山本 晃	自 S48. 7. 1 至 S50. 3.31		24代	望月 正三	自 H27. 4. 1 至 H30.3. 31	
12代	佐野 三郎	自 S50. 4. 1 至 S53. 3.31		25代	蛭川 公雄	自 H30. 4. 1 至 R 3. 3. 31	
13代	石川 嘉浩	自 S53. 4. 1 至 S59. 3.31		26代	吉田 昌弘	自 R 3. 4. 1 至 R 4. 3. 31	
14代	佐野 久	自 S59. 4. 1 至 S61. 3.31		27代	鈴木 英之	自 R 4. 4. 1 至 R 6. 3. 31	
15代	佐野 和彦	自 S61. 4. 1 至 H 3. 3.31		28代	菅原 一朗	自 R 6. 4. 1 至 R 8. 3. 31	
16代	八橋 俊顕	自 H 3. 4. 1 至 H 8. 3.31		29代	天野 進次	自 R 8. 4. 1 至 現 在	

消防職員の階級別構成

令和8年4月1日現在

階 級 所 属			合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	
職 員 合 計			173	1	6(2)	37【2】	34	40[3]	38	16	1	
消 防 長			1	1								
消 防 次 長			1		1							
消 防 本 部	消 防 総 務 課	課 長	1		1							
		課 長 補 佐	1			1【1】						
		総 務 係	4			1	1	2				
		課 付・研 修	6				1			5		
	予 防 課	課 長			(1)							
		予防審査係	4			1	1	1				1
		予防査察係	5			1	1	2[1]	1			
	警 防 救 急 課	課 長	1		1							
		参 事	1		1							
		警 防 係	7			1	1	4[1]	1			
		救急管理係	3			1	1	1				
	セ ン タ ー	副センター長			(1)							
		指 令 係	7			2	2	2	1			
計			42	1	4(2)	8	8	12[2]	3	5	1	
中 央 消 防 署	中 央 消 防 署		43		1	9【1】	6	12[1]	12	3		
	芝 川 分 署		13			2	4	3	4	0		
	東 分 署		13			3	2	2	5	1		
	計		69		1	14	12	17[1]	21	4		
西 消 防 署	西 消 防 署		29		1	10	6	3	6	3		
	北 分 署		20			3	4	5	6	2		
	上 野 分 署		13			2	4	3	2	2		
	計		62		1	15	14	11	14	7		

()は兼務 []は再任用 【 】は定年延長

階級別年齢

令和8年4月1日現在

平均年齢 年齢	人数	消防監	司令長	司 令	司令補	消防士長	副士長	消防士	その他
	38.5	57.0	56	50.2	44.0	36.8	27.9	21.5	39.0
18	1							1	
19	2							2	
20	3							3	
21	1							1	
22	4							4	
23	4							4	
24	2						2		
25	2						2		
26	3						3		
27	11						10	1	
28	5						5		
29	9						9		
30	3						3		
31	4					1	3		
32	8					7	1		
33	2					2			
34	4					4			
35	11					11			
36	8					8			
37	3				1	2			
38	3				3				
39	5				3	1			1
40	5				5				
41	6				5	1			
42	3			1	2				
43	3			1	2				
44	3			3					
45	6			3	3				
46	2			1	1				
47	0								
48	3			3					
49	2				2				
50	8			6	2				
51	5			5					
52	7		1	6					
53	3			2	1				
54	2			1	1				
55	4		1	1	2				
56	2		2						
57	3	1		2					
58	1		1						
59	2		1		1				
60	2			2 【2】					
61									
62									
63	3					3 【3】			
合計	173	1	6	37 【2】	34	40 【3】	38	16	1

【 】は再任用 【 】は定年延長

階級別勤続年数

令和8年4月1日現在

平均年数 勤続年数	人数 17.8	消防監 37.0	司令長 35.8	司令 29.4	司令補 22.2	消防士長 16.2	副士長 7.6	消防士 1.7	その他 17.0
1年未満	5							5	
1	4							4	
2	4						2	2	
3	5						3	2	
4	3						2	1	
5	4						2	2	
6	5						5		
7	4						4		
8	4						4		
9	3						3		
10	6					2	4		
11	9					4	5		
12	9					6	3		
13	4					3	1		
14	5					5			
15	9				3	6			
16	7				3	4			
17	8				3	4			1
18	5				2	3			
19	4				4				
20	5			2	3				
21	4			1	3				
22	3			2	1				
23	6			3	3				
24	1			1					
25	3			3					
26	0								
27	4			3	1				
28	0								
29	1				1				
30	5		1	2	2				
31	0								
32	14		1	11	2				
33	3			2	1				
34	2			2					
35	2			1	1				
36	2		1	1					
37	3	1		1	1				
38	2		1	1【1】					
39	1		1						
40	1		1						
41	1					1【1】			
42	1			1【1】					
43	1					1【1】			
44	1					1【1】			
合計	173	1	6	37【2】	34	40【3】	38	16	1

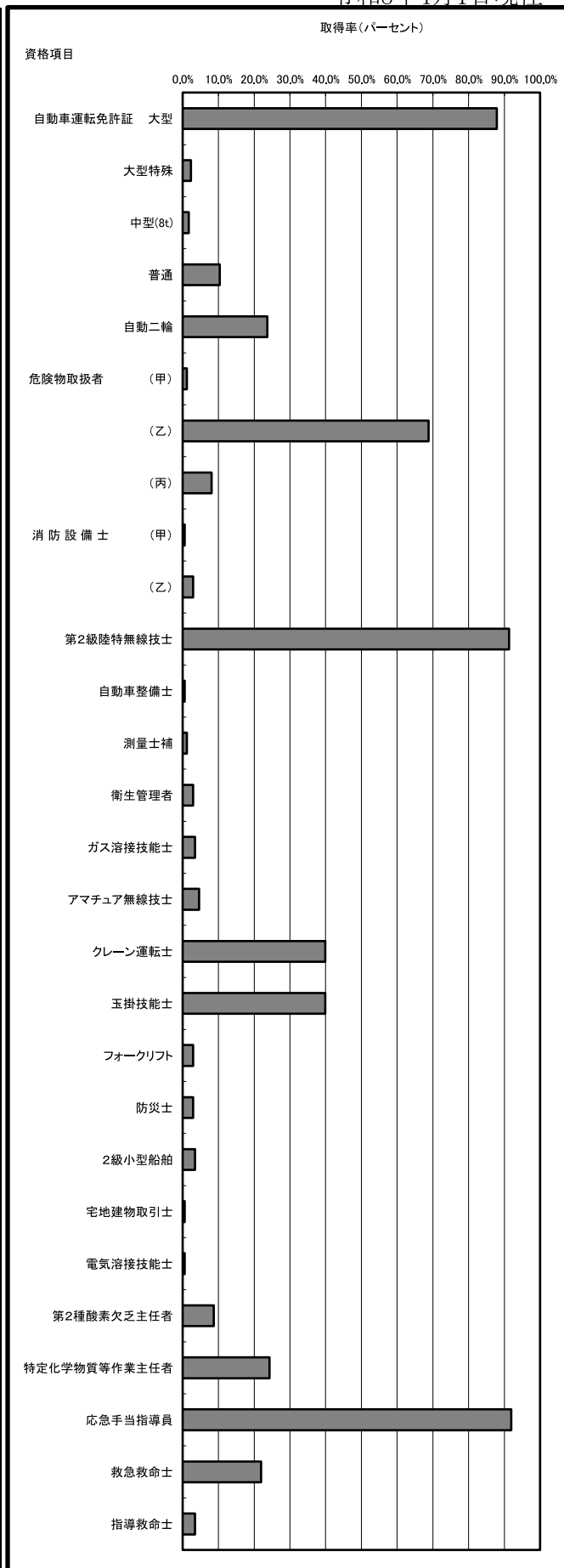
【 】は再任用 【 】は定年延長

消防職員各種免許取得状況

消防職員数 173 名

令和8年4月1日現在

資格	取得数・率	取得数	取得率
自動車運転免許証 大型		152	87.9%
	大型特殊	4	2.3%
	中型(8t)	3	1.7%
	普通	18	10.4%
	自動二輪	41	23.7%
危険物取扱者 (甲)		2	1.2%
(乙)		119	68.8%
(丙)		14	8.1%
消防設備士 (甲)		1	0.6%
(乙)		5	2.9%
第2級陸特無線技士		158	91.3%
自動車整備士		1	0.6%
測量士補		2	1.2%
衛生管理者		5	2.9%
ガス溶接技能士		6	3.5%
アマチュア無線技士		8	4.6%
クレーン運転士		69	39.9%
玉掛技能士		69	39.9%
フォークリフト		5	2.9%
防災士		5	2.9%
2級小型船舶		6	3.5%
宅地建物取引士		1	0.6%
電気溶接技能士		1	0.6%
第2種酸素欠乏主任者		15	8.7%
特定化学物質等作業主任者		42	24.3%
応急手当指導員		159	91.9%
救急救命士		38	22.0%
指導救命士		6	3.5%



職 員 研 修 状 況

静岡県消防学校

令和8年3月31日現在

年度別 科目別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
初 任 科	6	3	5	4	5	5	3	3	4	6	44
水 難 救 助 科				2							2
救 助 科	2	2	2	1	2	2	2	1	2	2	18
警 防 科	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	17
火 災 調 査 科	3	3	2	2	2	2	2	1	2	2	21
予防査察・危険物科	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	19
救 急 科	7	7	4	4	3	4	3	2	4	4	42
上 級 幹 部 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
中 級 幹 部 科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
初 級 幹 部 科			1	1	1	1	1	1	1	1	8
ヒ・テ・オ喉頭鏡講習	4	4	2								10
処置拡大追加講習	3	3	3	2							11

消防大学校及び救急救命研修所

令和8年3月31日現在

年度別 科目別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
上 級 幹 部 科									1		1
幹 部 科	1	1	1								3
警 防 科											0
救 助 科						1					1
予 防 科	1						1				2
火 災 調 査 科		1		1						1	3
女性活躍推進コース			1								1
救急救命士養成課程	1	2	2	2	1			3	2	2	15
指 導 救 命 士		2		2					1	1	6
感染防止対策強化研修									1	1	2

受託研修等

令和8年3月31日現在

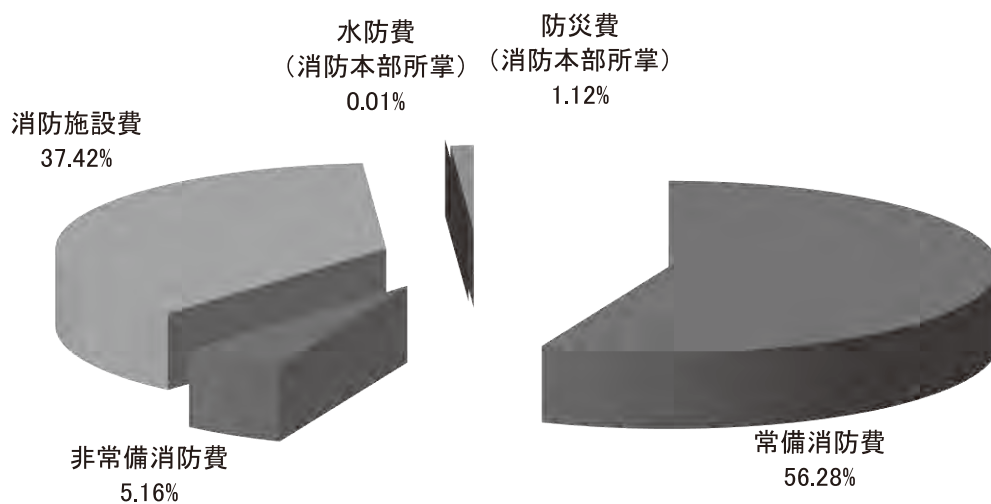
年度別 科目別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計
埼玉県南西部消防局		1	1	1				1	1	1	6
東 京 消 防 庁	1										1
山岳遭難救助研修				1			1	1			3
積雪期登山基礎講習会								1	1		2
緊急自動車安全運転研修	2	1	1	1							5

年度別消防予算（当初）

単位 千円

	令和 8 年度	令和 7 年度	比 較
市一般会計予算	62,100,000	58,470,000	3,630,000
消防予算	2,765,994	2,128,772	637,222
割合（％）	4.45%	3.64%	
目	令和 8 年度	令和 7 年度	比 較
常備消防費	1,556,601	1,456,669	99,932
非常備消防費	142,766	146,635	△ 3,869
消防施設費	1,035,156	490,834	544,322
水防費 （消防本部所掌）	390	390	0
防災費 （消防本部所掌）	31,081	34,244	△ 3,163

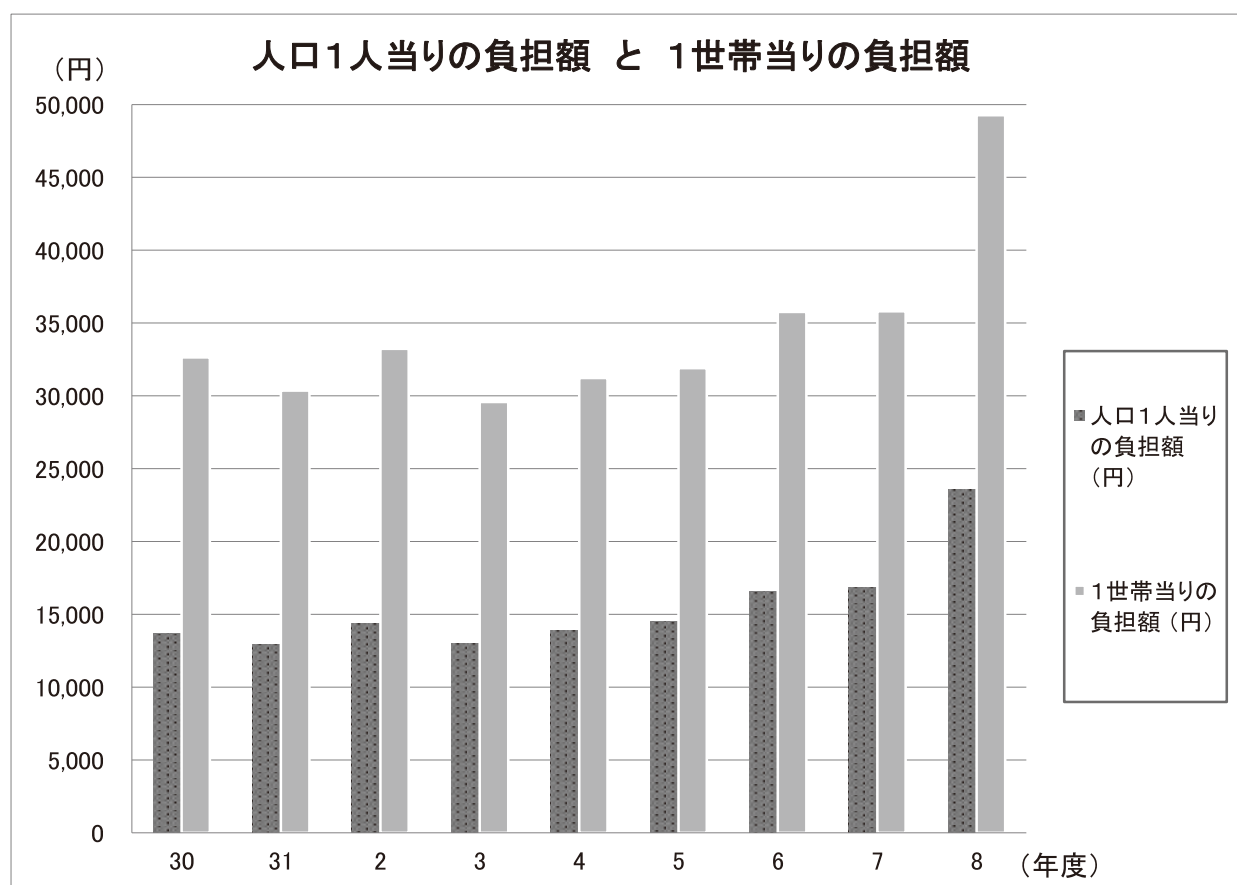
令和8年度 消防予算構成比



人口と当初予算の推移

各年度4月1日時点の人口及び世帯数

年度	人 口 (人)	世帯数 (世帯数)	消防予算(当初) (千円)	人口1人当りの負担額	1世帯当りの負担額
				(円)	(円)
30	133,290	55,877	1,823,609	13,682	32,636
31	132,651	56,506	1,716,158	12,937	30,371
2	131,853	57,083	1,897,188	14,389	33,236
3	130,811	57,466	1,700,400	12,999	29,590
4	129,654	57,676	1,801,760	13,897	31,239
5	128,706	58,410	1,863,903	14,482	31,911
6	127,558	58,973	2,109,662	16,539	35,773
7	126,349	59,460	2,128,955	16,850	35,805
8	125,124	59,917	2,952,005	23,593	49,268



概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

火 災



令和7年度
富士宮市防火安全協会主催
防火ポスターコンクール
中学生の部 金賞
富士宮市立大富士中学校
2年 遠藤 樹璃 さん



令和7年度
富士宮市幼少年婦人防火委員会主催
防火ポスターコンクール
少年の部 金賞
富士宮市立黒田小学校
6年 渡井 めい さん

火 災 の 概 況

令和7年中（1月～12月）の火災概況は、火災件数78件、建物焼損床面積1204㎡、損害額75,771千円となり、死者0人、負傷者4人でした。

1 火災発生状況

令和7年中の火災件数は78件で、昨年と比較し32件増加しています。これは5日に1件の割合で火災が発生したことになります。

2 建物火災は全火災の32%

火災種別ごとの発生件数は、「その他の火災」が48件（62%）で高い比率を占めています。その他は、「建物火災」25件（32%）、「車両火災」5件（6%）となっています。

3 建物火災のうち住宅が11件（44%）

建物火災の出火件数を用途別にみると、住宅が11件（44%）を占めています。

建物火災25件中の出火箇所の構成比は、住宅が11件（44%）、倉庫4件（16%）、物置・納屋3件（12%）、工場2件（8%）、車庫2件（8%）、事務所1件（4%）、東屋1件（4%）、ホテル1件（4%）となっています。

4 月別火災発生件数

月別火災発生件数は、3月が12件で最多となっており、以下各月ごと月別火災概要のとおりとなっています。

5 建物火災の通報は、「携帯電話」からの通報が多く、初期消火は「初期消火なし」が多い状況

火災の覚知状況をみると、建物火災では、携帯電話からの通報が14件（56%）、事後聞知が8件（32%）、固定電話からの通報が2件（8%）、その他が1件（4%）でした。

また、建物火災時における初期消火状況は、「水道等の水をかけた」10件（40%）、「初期消火なし」9件（36%）、「粉末消火器」4件（16%）、「寝具・衣類等をかけた」2件（8%）となっています。

6 出火原因

主な出火原因は、「電灯・電話等の配線」が9件、「放火」が9件、「火入れ」が8件、「たき火」が5件です。

7 建物焼損面積

建物焼損床面積は1,204㎡、焼損表面積は94㎡で、計38棟を焼損しました。

8 損害額

火災による損害額は、75,771千円で、前年の90,834千円より約16.6%減少しました。建物火災の損害額は69,984千円で、全体の損害額の92.3%を占めています。

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・
指
令

救
助

救
急

応
援
協
定

消
防
団

防
火
協
力
団
体

火災の概要

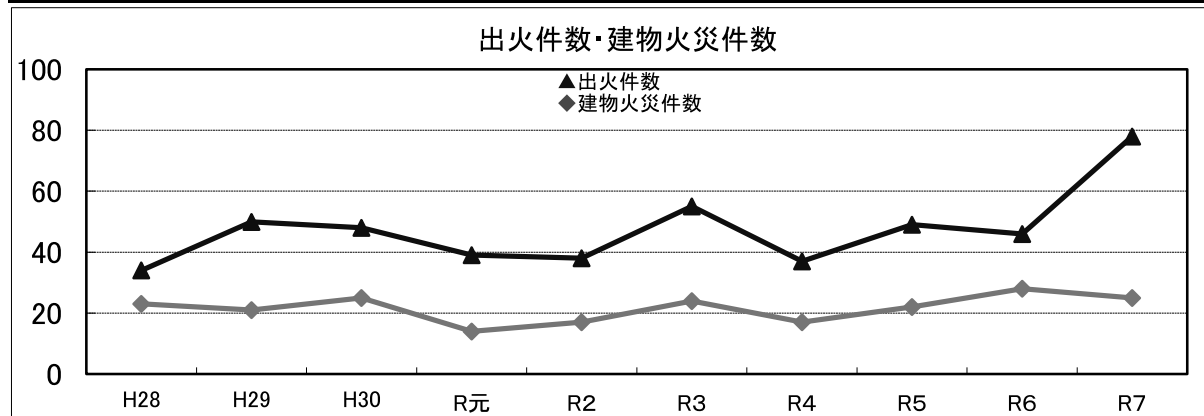
区 分		単位	(A) 令和7年 (1月～12月)	(B) 令和6年 (1月～12月)	(C) 比較 (A)－(B)	増減率 $C/B \times 100$ (%)
出 火 件 数		件	78	46	32	69.6
種 別	建 物 火 災	〃	25	28	-3	-10.7
	林 野 火 災	〃	0	0	0	-
	車 両 火 災	〃	5	3	2	66.7
	船 舶 火 災	〃	0	0	0	-
	航空機火災	〃	0	0	0	-
	その他の火災	〃	48	15	33	220.0
焼 損 棟 数		棟	38	50	-12	-24.0
焼損程度	全 焼	〃	12	14	-2	-14.3
	半 焼	〃	3	2	1	50.0
	部 分 焼	〃	8	12	-4	-33.3
	ぼ や	〃	15	22	-7	-31.8
建物焼損面積	床 面 積	m ²	1,204	1,105	99	9.0
	表 面 積	m ²	94	108	-14	-13.0
林 野 焼 損 面 積		a	0	0	0	-
死 者		人	0	2	-2	-100.0
負 傷 者		〃	4	3	1	33.3
り 災 世 帯 数		世帯	20	22	-2	-9.1
種 別	全 損	〃	3	6	-3	-50.0
	半 損	〃	2	0	2	-
	小 損	〃	15	16	-1	-6.3
り 災 人 員		人	51	53	-2	-3.8
損 害 額		千円	75,771	90,834	-15,063	-16.6
種 別	建 物 火 災	〃	69,984	87,777	-17,793	-20.3
	林 野 火 災	〃	0	0	0	-
	車 両 火 災	〃	3,907	1,411	2,496	176.9
	船 舶 火 災	〃	0	0	0	-
	航空機火災	〃	0	0	0	-
	その他の火災	〃	1,880	1,646	234	14.2

過去10年間の火災発生状況

火災発生件数

(単位 件)

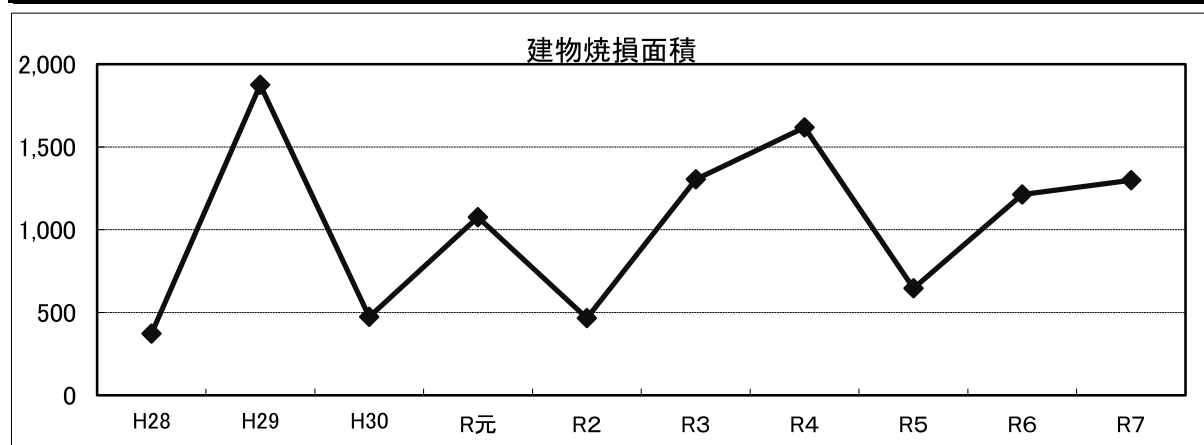
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
出火件数	34	50	48	39	38	55	37	49	46	78
建物火災	23	21	25	14	17	24	17	22	28	25



建物焼損面積

(単位 m²)

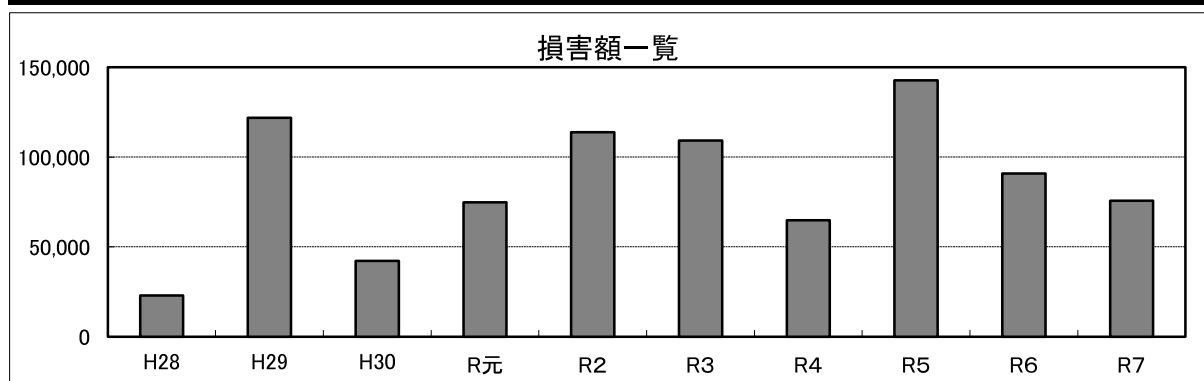
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
焼損面積	373	1,875	474	1,076	467	1,304	1,618	647	1,213	1,298



損害額

(単位 千円)

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
損害額	22,947	121,808	42,208	74,778	113,816	109,134	64,852	142,786	90,834	75,771

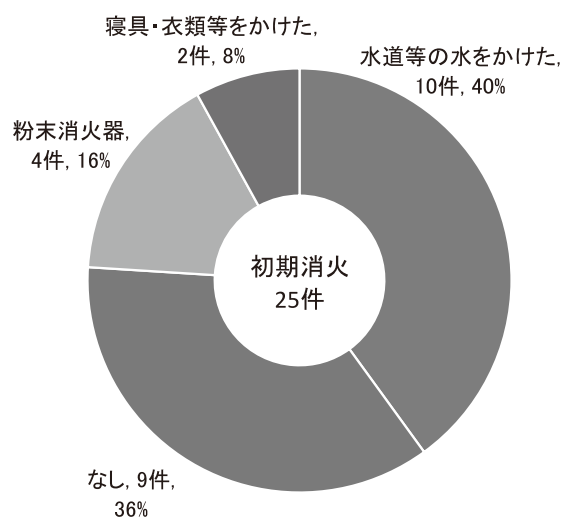
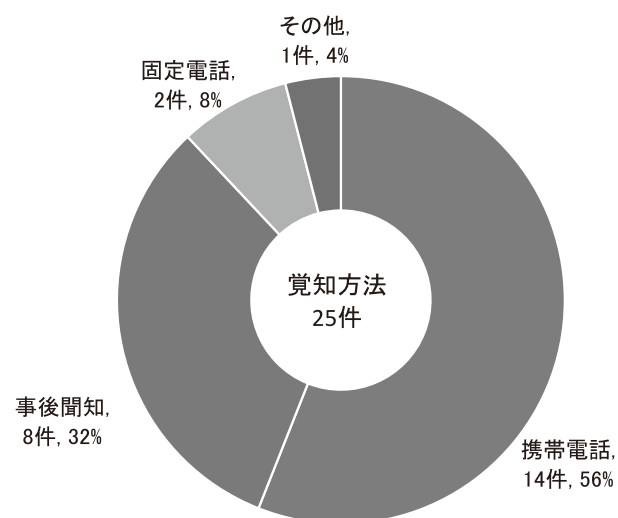
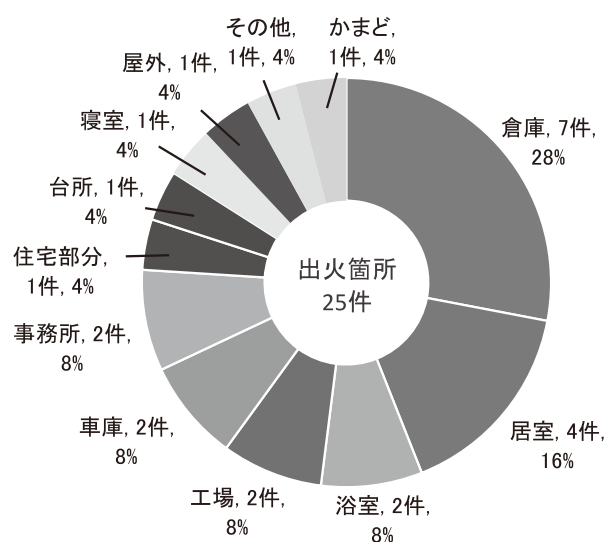
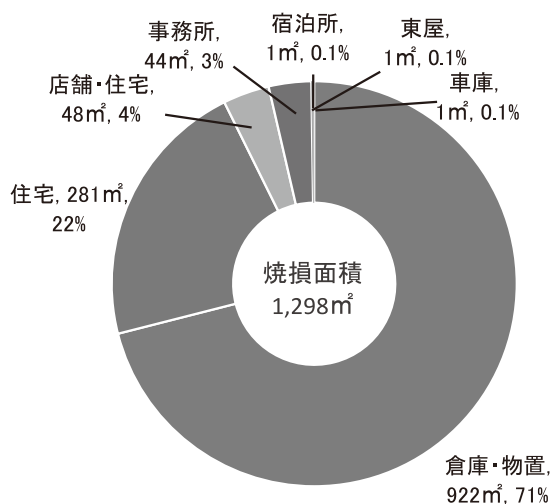
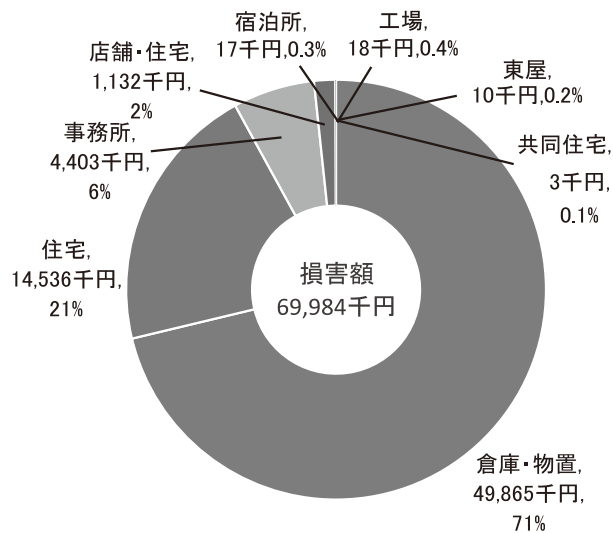
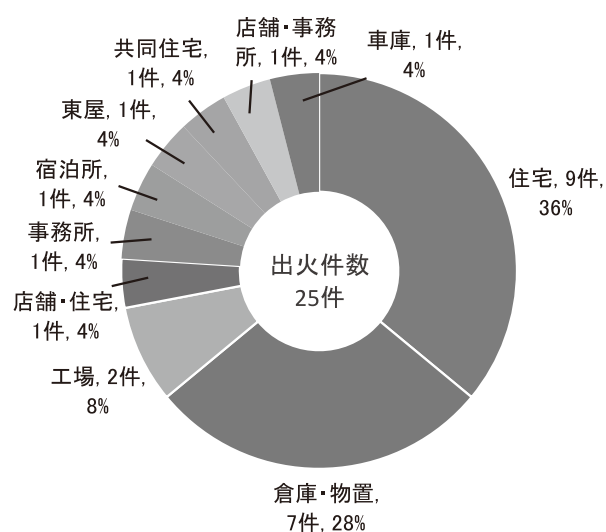


月別火災の概要

令和7年中

区分				単位	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数				件	78	7	10	12	10	4	4	5	5	5	4	6	6
別種	建火	物災	〃	25	3	1	4	3			1	2	4	1	1	1	4
	林火	野災	〃														
	車火	両災	〃	5						1	1	1			1		1
	船火	舶災	〃														
	航火	空機災	〃														
	その他	火災	〃	48	4	9	8	7	3	2	2	2	1	4	2	5	1
焼損棟数				棟	38	3	1	16	3		1	3	4	1	1	1	4
焼損程度	全焼	〃	12				8	1				2			1		
	半焼	〃	3		1				1			1					
	部分焼	〃	8		1		5				1			1			
	ぼや	〃	15		1	1	3	1					4			1	4
建表焼損面積				㎡	1,204	13		663	341			136		48	3		
建床焼損面積				㎡	94	5		80			5		1				3
林野焼損面積				a													
死者				人													
負傷者				〃	4	1							2			1	
り災世帯数				世帯	20	3		10					4	2			1
別種	全損	〃	3				3										
	半損	〃	2		1									1			
	小損	〃	15		2		7						4	1			1
り災人員				人	51	10		25					12	3			1
損害額				千円	75,771	1,676	1,692	49,050	9,508	22	211	8,293	2	1,160	379	48	3,730
別種	建火	物災	〃	69,984	1,629	17	49,044	9,491			1	8,288	2	1,132	349	1	30
	林火	野災	〃														
	車火	両災	〃	3,907						22	150	5			30		3,700
	船火	舶災	〃														
	航火	空機災	〃														
	その他	火災	〃	1,880	47	1,675	6	17			60			28		47	

建物火災の状況(令和7年中)



出火原因別火災件数

令和7年中

原因別		月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
出火原因	たばこ		1		2									1	4
	こんろ			1						1			1		3
	炉														
	ストーブ		1	1											2
	風呂かまど				1										1
	取灰			1											1
	排気管			1				1	1			1			4
	火あそび				2										2
	電灯・電話等の配線			1	2	1	1		1	1	2				9
	配線器具									1					1
	電気機器								1					1	2
	電気装置													1	1
	内燃機関														
	マッチ・ライター											1			1
	たき火				3			1				1			5
	火入れ		1	2	1	3							1		8
	かまど		1			1									2
	放火						2	2	1		1	1	1	1	9
	放火の疑い					2					1			1	4
	その他		3	1	1	2	1		1	2	1		2		14
	不明			2		1							1	1	5
合計			7	10	12	10	4	4	5	5	5	4	6	6	78

出火原因別の推移

年 順位	令和7年		令和6年		令和5年		令和4年		令和3年	
	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数
1	放火	9	たき火	8	たき火	7	たき火	7	たき火	11
	電灯・電話等の配線	9	配線器具	5	こんろ	6	電灯・電話等の配線	6	たばこ	5
2	火入れ	8	電灯・電話等の配線	3	電灯・電話等の配線	4	排気管	3	こんろ	5
3	たき火	5	電気機器	3	配線器具	3	配線器具	2	放火の疑い	4
4	たばこ	4	たばこ	2	排気管	3	焼却炉	1	電気装置	3
	排気管	4	内燃機関	2	電気機器	3	ストーブ	1	排気管	2
	放火の疑い	4	こんろ	2	ストーブ	2	煙突・煙道	1	ストーブ	1
5	こんろ	3	炉	1	電気装置	2	取灰	1	配線器具	1
6	かまど	2	電気装置	1	溶接機・溶断機	2	たばこ	1	火あそび	1
	ストーブ	2	火あそび	1	放火の疑い	2	電気機器	1	放火	1
	火あそび	2	排気管	1	たばこ	1	溶接機・溶断機	1		
	電気機器	2	火入れ	1	内燃機関	1	放火	1		
7	配線器具	1	放火	1	火入れ	1	放火の疑い	1		
	取灰	1	放火の疑い	1	放火	1				
	上記以外	17	上記以外	11	上記以外	9	上記以外	5	上記以外	14
	不明	5	不明	3	不明	2	不明	5	不明	7
	合計	78	合計	46	合計	49	合計	37	合計	55

防 予



令和7年度
富士宮市防火安全協会主催
防火ポスターコンクール
小学生の部 金賞
富士宮市立富士根南小学校
6年 小尾 海翔 さん



令和7年度
富士宮市幼少年婦人防火委員会主催
防火ポスターコンクール
幼年の部 金賞
富丘こども園幼年消防クラブ
年長 青木 叶汰 さん

予 防 行 政 の 概 要

1 防火対象物等の現況

富士宮市は広大な面積を有する中で、市街地とその周辺の宅地化が進み、建築物の高層化や大型工場の進出が増えつつあります。

これらに対応するため、建築物の予防指導は特に重要なものであります。市民が安全で安心して暮らせる消防対策・予防対策に積極的に取り組んでいます。

なお、管内の防火対象物(150㎡以上)は5,079件、危険物許可施設は382件あります。
(令和8年3月31日現在)

2 予防指導目標

- (1) 査察体制の強化と防火指導の推進
- (2) 防火対象物及び危険物施設の出火防止体制の強化
- (3) 住宅用防災機器の設置推進指導
- (4) 防火意識の高揚と防火協力団体の育成

建築確認消防同意等件数

令和7年度

区分 月	総 数	新 築	増 築	用途変更	計画変更	改 築	総数の内	
							計画通知	許 可 同 意
4	5	4			1		1	
5	6	5	1				1	
6	10	9	1					
7	3	3						
8	2	1		1				
9	6	6					1	
10	12	6	1	1	4		2	1
11	9	7	1		1		1	1
12	6	6					1	
1	6	6					1	
2	10	7	1		2		1	
3	10	8	1			1	3	1
合 計	85	68	6	2	8	1	12	3

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

消
防団

防
火協
力団
体

防火対象物に関する調べ（延面積150㎡以上）

令和8年3月31日現在

項	用 途 別		数	中 ・ 高 層 建 築 物 状 況							
			150㎡以上	3階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階以上	内31m超	計
1	イ	劇場・映画館	4	1							1
	ロ	公会堂・集会場	98	3			1			2	4
2	イ	キャバレー・ナイトクラブの類									
	ロ	遊技場・ダンスホール	7			1	1				2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス(個室)・インターネットカフェ・マンガ喫茶(個室)	2								
3	イ	待合・料理店の類									
	ロ	飲食店	122	9							9
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗又は展示場	268	11	2						13
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	142	13	5	2	1		3	1	24
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	1,189	240	57	34	4	1	7	1	343
6	イ	病院・診療所・助産所	92	13	2	1					16
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム (主に入所施設)	64	11	5						16
	ハ	老人デイサービス・軽費老人ホーム・老人福祉センター・知的障害者 通園施設・保育所・助産施設・障害支援施設等 (主に通所施設)	86	3							3
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12								
7		小・中・高等・各種各学校	153	44	12						56
8		図書館・博物館・美術館	8	2		1					3
9	イ	サウナ等									
	ロ	イ以外の公衆浴場	4								
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場	3								
11		神社・寺院・教会の類	93	2	1						3
12	イ	工場・作業場	905	75	22	17	9	2	1	1	126
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1	1							1
13	イ	自動車車庫・駐車場	16	1	1	1					3
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫									
14		倉庫	385	6	2	4	1				13
15		前各号に該当しない事業場	622	48	9	2	1		1	1	61
16	イ	複合用途防火対象物のうち特定防火対象物を有するもの	527	142	16	3	4		1	1	166
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	267	77	5	1					83
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	6			1				1	1
18		延長50m以上のアーケード	3								
19		市町村長の指定する山林									
20		総務省令で定める舟車									
合 計			5,079	702	139	68	22	3	13	8	947

防火対象物査察及び防火管理者選任届出状況

令和8年3月31日現在

項	用 途 別	消防法第8条 対象物数	令和7年度 査察実施数	令和7年度 査察指示書	重大違反 対象物	防火管理者 選任届出件数
1	イ 劇場・映画館、演舞場、又は観覧場	3	1			3
	ロ 公会堂又は集会場	213	2			142
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					
	ロ 遊技場又はダンスホール	6	2	1		6
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	二 カラオケボックス(個室)・インターネットカフェ・マンガ喫茶(個室)	2	1			2
3	イ 待合、料理店の類					
	ロ 飲食店	133	36	20		98
4	百貨店、マーケットその他の物品販売を営む店舗又は展示場	210	35	11		162
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	76	69	12		69
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	73	4	1		33
6	イ 病院、診療所又は助産所	26	25	5		24
	ロ 老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム (主に入所施設)	50	14	7		47
	ハ 老人デイサービス・軽費老人ホーム・老人福祉センター・知的障害者通園施設・保育所・助産施設・障害支援施設等 (主に通所施設)	54	12	1		52
	二 幼稚園・特別支援学校	10				10
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	52				48
8	図書館、博物館、美術館	7				7
9	イ サウナ等					
	ロ イ以外の公衆浴場	4				4
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場					
11	神社、寺院、教会の類	41	5			21
12	イ 工場、作業場	96	34	7	4	87
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫、駐車場	1	1	1		1
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫					
14	倉庫	5	27	8	3	4
15	前各号に該当しない事業所	73	44	12		52
16	イ 複合用途防火対象物のうち特定防火対象物を有するもの	195	21	11	1	139
	ロ イ以外の複合防火対象物	10				8
16の2	地下街					
16の3	準地下街					
17	文化財等	1	4			1
18	延長50m以上のアーケード					
19	市町村長の指定する山林					
20	総務省令で定める舟車					
合 計		1,341	337	97	8	1,020

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

消防用設備着工・設置届出及び完成検査数

令和7年度

設備種別	処理種別	消 防 用 設 備 検 査 等		
		着 工 届	設 置 届	完 成 検 査
消 火 器			215	35
屋 内 消 火 栓		2	7	6
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		3	2	2
屋 外 消 火 栓		3	6	6
水 噴 霧 消 火 設 備 等			1	
漏 電 火 災 警 報 器				
非 常 警 報 設 備		2	16	6
自 動 火 災 報 知 設 備		73	333	126
避 難 器 具			4	2
誘 導 灯		3	161	30
連 結 送 水 管		1		
消防機関へ通報する火災報知設備		5	5	4
そ の 他			1	1
合 計		92	751	218

防火・防災管理届出・消防計画届出・各点検結果報告数

令和7年度

月別 届出・報告	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
防火管理者 選解任届	63	13	13	18	7	15	11	11	13	5	10	17	196
防災管理者 選解任届					1								1
自衛消防組織 設置届	2	1	1						1				5
防火対象物点検 結果報告	8	3	3	6	2	9	4	6	6	4	4	5	60
防災管理点検 結果報告								1				5	6
消防計画作成 (変更)届	50	49	13	19	6	15	13	13	14	6	10	21	229
消防用設備等 点検結果報告	110	83	76	93	41	72	85	61	80	71	45	84	901

煙火消費許可件数

令和7年度

月別 許可数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
煙火消費許可			1	4	2	3		2			1		13

各種届出件数

令和7年度

種 別 \ 月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
防火対象物使用開始届	7	12	10	8	13	17	13	7	6	17	21	19	150
少量危険物貯蔵取扱届	4	1	2	2	1	2	3	5	5	1	2	1	29
ボ イ ラ ー 設 置 届				2				1	2	1	1		7
変 電 設 備 届	2	3	4	1		2	7	1	6	2	3	2	33
発 電 設 備 設 置 届				1			1		2	1		1	6
蓄 電 設 備 設 置 届			2		1		1	2	1		1	2	10
炉 設 置 届				2									2
乾 燥 設 備 設 置 届	1			1				1					3
給 湯 湯 沸 設 備	2	1					1				1	1	6
指 定 可 燃 物						1					4		5
少 量 危 険 物 廃 止 届	1	1	1	2	2			3	5		3	1	19
催 物 開 催 届	2					3			3				8
煙 火 打 上 届													0
断 水 等 届	3		4	7	3	4	5	5	2	1	4	3	41
道 路 工 事 届	37	49	55	44	39	45	67	51	52	54	47	42	582
た き 火 届	13	8	13	10	11	18	27	36	28	16	27	18	225
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等	4		2	3	5	1			2	3	4	1	25
液化石油ガス設備工事届				1						1		1	3
露 店 等 の 開 設 届	14	11	11	13	8	21	20	17	7	6	13	8	149
合 計	90	86	104	97	83	114	145	129	121	103	131	100	1,303

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通 信 ・ 指 令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

防火管理新規講習実施状況

年 度	資 格 種 別	資 格 取 得 者 数
令 和 3 年 度	甲 種	68 人
令 和 4 年 度	甲 種	81 人
令 和 5 年 度	甲 種	138 人
令 和 6 年 度	甲 種	129 人
令 和 7 年 度	甲 種	116 人

防火管理再講習

年 度	資 格 種 別	資 格 取 得 者 数
令 和 6 年 度	甲 種	15 人
令 和 7 年 度	甲 種	14 人

火災予防広報

令和7年度

項 目	総 数	春の火災 予防運動	秋の火災 予防運動
新 聞 報 道	2 回	1 回	1 回
協 力 ・ 通 知 文	1,050 件	525 件	525 件
ポスター配布・掲示	1,050 件	525 件	525 件
広 報 誌 掲 載	1 回	1 回	回
庁内放送（市役所）	10 回	5 回	5 回

住民指導実施状況

令和7年度

対象物 指導区分		総 数		自主防災組織 (区会・自治会含む)		その他の団体 (各種学校等)		事 業 所	
		回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員
訓 練	消火訓練	64	2,421	1	20	8	573	44	2,044
	避難通報 訓 練	20	2,739	5	355	5	553	17	1,831
教育	防火防災 教 育 (花火教室含む)	33	2,186			33	2,186		
そ の 他	防火相談 (空家・枯草)								
	署内見学	19	1,082			19	1,082		
合 計		136	8,428	6	375	65	4,394	61	3,875

2026年度 全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣

製造所等の許可、完成検査及び廃止届等の数

令和7年度

製造所等 区 分		合	製	小	屋	屋	屋	地	簡	移	屋	小	給	第	第	移	一
		計	造	計	内	外	内	下	易	動	外	計	油	一	二	送	般
許 可	設 置	1		1							1	0					
	変 更	43	2	6	2	3		1				35	7				28
	常置場所 の 変 更	0		0								0					
		1		1						1		0					
完 成	設 置	1		1							1	0					
	変 更	39	2	6	2	3		1				31	7				24
	当 市 に 転 入	1		1						1		0					
廃止等	廃 止	1		1			1					0					
	設置許可取消	0		0								0					
前年度比 増減数	設 置	1	0	1	0	0	-1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	設置完成検査	1	0	1	0	0	-1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

危険物施設立入検査等件数

令和7年度

製造所等 月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
製 造 所													3	3
屋 内 貯 蔵 所		1	4	5	1	1	1				1	6	9	29
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所				2	1						1	8	14	26
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				2	1						6	1	1	11
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		2	5	4	3				2	1	2	2	2	23
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所												1		1
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		1	3	5	1	3		2	2		3		1	21
屋 外 貯 蔵 所												1		1
給 油 取 扱 所		5	3	8	2	2	3	2		1	3	3	2	34
一 般 取 扱 所		3	1	3	1	1			1		1	11	7	29
販 売 取 扱 所						1								1
危 険 物 運 搬 車 両														0
合 計		12	16	29	10	8	4	4	5	2	17	33	39	179

数量別危険物施設数

令和8年3月31日現在

製造所等 数量別		合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	一般取扱所
設置許可施設	合計	382	4	251	65	69	15	68	2	25	7	127	62	2	0	63
	5倍以下	120		98	16	15	13	27	2	21	4	22	5	2		15
	5倍を超え10倍以下	88		53	18	13	1	18		1	2	35	6			29
	10倍を超え50倍以下	117	3	81	26	31	1	20		2	1	33	17			16
	50倍を超え100倍以下	20		13	3	7		2		1		7	6			1
	100倍を超え150倍以下	15		4	2	1		1				11	11			
	150倍を超え200倍以下	7		0								7	7			
	200倍を超え1,000倍以下	15	1	2		2						12	10			2
	1,000倍を超え5,000倍以下	0		0								0				
	5,000倍を超え10,000倍以下	0		0								0				
	10,000倍を超えるもの	0		0								0				
完成検査済証交付施設	合計	382	4	251	65	69	15	68	2	25	7	127	62	2	0	63
	5倍以下	120		98	16	15	13	27	2	21	4	22	5	2		15
	5倍を超え10倍以下	88		53	18	13	1	18		1	2	35	6			29
	10倍を超え50倍以下	117	3	81	26	31	1	20		2	1	33	17			16
	50倍を超え100倍以下	20		13	3	7		2		1		7	6			1
	100倍を超え150倍以下	15		4	2	1		1				11	11			
	150倍を超え200倍以下	7		0								7	7			
	200倍を超え1,000倍以下	15	1	2		2						12	10			2
	1,000倍を超え5,000倍以下	0		0								0				
	5,000倍を超え10,000倍以下	0		0								0				
	10,000倍を超えるもの	0										0				

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

類別危険物施設数

令和8年3月31日現在

製 造 所 等 類 別		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
設置許可施設	合 計	382	4	251	65	69	15	68	2	25	7	127	62	2	0	63
	単 独	第 1 類	0		0							0				
		第 2 類	0		0							0				
		第 3 類	0		0							0				
		第 4 類	373	4	244	58	69	15	68	2	25	7	125	62	2	61
		第 5 類	1		1	1						0				
		第 6 類	0		0							0				
	混 在		8		6	6						2				2
完成検査済証交付施設	合 計	382	4	251	65	69	15	68	2	25	7	127	62	2	0	63
	単 独	第 1 類	0		0							0				
		第 2 類	0		0							0				
		第 3 類	0		0							0				
		第 4 類	373	4	244	58	69	15	68	2	25	7	125	62	2	61
		第 5 類	1		1	1						0				
		第 6 類	0		0							0				
	混 在		8		6	6						2				2

2026年度 危険物安全週間推進標語

つかみ取れ！ めざす無事故の頂を

防 警



令和7年度 文化財防火デーに伴う消防訓練(大石寺 三門)

近年、社会経済情勢の変化の中で、火災等の災害形態も複雑、多様化してきており、その対応はますます困難を極めています。

こうした状況の中で、地域住民の生命、身体、財産を守り、生活の安全を図るため、消防機械器具の近代化、消防水利の整備を積極的に推進し、限られた現有消防設備を有効かつ最大限に活用し、いかなる災害にも即応することが消防に課せられた使命であります。

これらの任務を遂行する職員の知識、技術の向上を図るべく日夜教育、訓練に励み地域の安全確保に努めています。

各種出動状況

令和7年中

種 別		出動件数(回)			出動車両(台)			出動人員(人)		
		合計	中央消防署 管内	西消防署 管内	合計	中央消防署 管内	西消防署 管内	合計	中央消防署 管内	西消防署 管内
火災出動	建 物 火 災	33	17	16	72	32	40	210	89	121
	林 野 火 災									
	車 両 火 災	11	5	6	21	9	12	61	25	36
	航空機火災									
	船 舶 火 災									
	その他の火災	71	33	38	134	60	74	392	177	215
	火災出動小計	115	55	60	227	101	126	663	291	372
警戒出動	怪 煙	25	13	12	25	13	12	91	50	41
	自 火 報 等	34	19	15	34	19	15	129	76	53
	自 然 災 害	1		1	1		1	3		3
	ガ ス 事 故	1	1		3	3		9	9	
	救 急 応 援	488	218	270	491	218	273	1,913	882	1,031
	一 般 事 故	2		2	2		2	7		7
	警戒出動小計	551	251	300	556	253	303	2,152	1,017	1,135
応 援 出 動		1	1		1	1		4	4	
集団救急出動										
危険排除出動		39	12	27	39	12	27	153	47	106
合 計		706	319	387	823	367	456	2,972	1,359	1,613

教育・訓練状況

令和7年中

種 別	中央消防署管内	西消防署管内	合 計
警防訓練	471	429	900
救急訓練	157	106	263
救助訓練	505	425	930
操縦訓練(警防, 救急, 救助)	396	391	787
山岳訓練	13		13
警防学科教養	359	107	466
一般学科教養	775	324	1,099
救急学科教養	194	116	310
救助学科教養	53	18	71
予防学科教養	519	106	625
計 (回)	3,442	2,022	5,464

消防車両配置状況

令和8年4月1日現在

配置区分	車 両 別	登録番号	会 社 名	年式	ポンプ等 製造所名	購入年月日	免許 区分	備 考
消 防 本 部	指令車	富士山803 さ 1053	ト ヨ タ	2011		H 24. 2. 2	普通	エステイマ
	指揮車	富士山840 せ 52	ト ヨ タ	2021		R 3. 3. 1	普通	プリウスα
	団指揮広報車	富士山803 さ 2456	三 菱	2018		H 30. 2. 8	普通	デリカ
	広報車	富士山803 さ 1081	ト ヨ タ	2011		H 24. 3. 8	普通	ハイエース
	査察車	富士山803 さ 41	ト ヨ タ	2008		H 20. 8. 22	普通	サクシード
	連絡車	富士山481 い 4758	ダイハツ	2012		H 24. 4. 6	普通	ハイゼット
中 央 消 防 署	中央山岳救助車	富士山803 さ 278	ト ヨ タ	2006		H 18. 12. 25	普通	ランドクルーザー
	中央資機材車	富士山803 さ 974	い す ゞ	2011		H 23. 12. 1	準中	エルフ
	中央梯子車	富士山840 せ 845	日 野	2025	モ リ タ	R 7. 8. 5	大型	30メートル級 元補助11号1甲種小型 4号
	中央工作車	富士山840 さ 41	日 野	2016	モ リ タ	H 29. 2. 27	大型	Ⅲ型
	中央タンク車	富士山840 む 3776	い す ゞ	2012	日本機械	H 25. 3. 26	中型	水槽付ポンプ
	中央救急車	富士山840 さ 1191	ト ヨ タ	2023		R 5. 3. 17	普通	
	中央指揮車	富士山840 せ 51	ト ヨ タ	2016		H 29. 3. 21	普通	
中 央 消 防 署	芝川タンク車	富士山840 さ 1219	い す ゞ	2014	日本機械	H 27. 2. 20	準中	水槽付ポンプCD-I
	芝川救急車	富士山840 す 1193	ト ヨ タ	2024		R 6. 3. 18	普通	
	連絡車	富士山881 あ 48	ス ズ キ	2023		R 6. 2. 9	普通	エブリイ
中 央 消 防 署	東タンク車	富士山840 さ 8880	い す ゞ	2016	日本機械	H 28. 2. 17	中型	水槽付ポンプ
	東救急車	富士山840 す 8880	ト ヨ タ	2019		H 31. 3. 22	普通	
	連絡車	富士山481 あ 2703	ス ズ キ	1997		H 9. 3. 10	普通	軽トラック
西 消 防 署	西水槽車	富士山840 て 119	日 野	2011	日本機械	H 23. 3. 14	大型	水槽Ⅱ型
	西化学車	富士山840 つ 24	日 野	2019	モ リ タ	H 31. 2. 19	大型	化学車Ⅱ型
	西救急車	富士山840 せ 1192	ト ヨ タ	2026		R 8. 3. 19	普通	
	西指揮車	富士山803 さ 269	日 産	2002		H 14. 7. 12	普通	ADバン
西 消 防 署	北タンク工作車	富士山840 さ 1194	日 野	2023	モ リ タ	R 5. 8. 28	大型	水槽付ポンプ
	北救急車	富士山840 さ 2256	ト ヨ タ	2021		R 4. 2. 24	普通	
	支援車Ⅲ型	富士山840 ま 223	い す ゞ	2024		R 6. 11. 5	中型	
	連絡車	富士山481 あ 2704	ス バ ル	2004		H 16. 3. 3	普通	軽トラック
西 消 防 署	上野タンク車	富士山840 さ 1119	い す ゞ	2018	畠山ポンプ	H 30. 3. 16	準中	水槽付ポンプ
	上野救急車	富士山840 さ 1403	日 産	2019		H 31. 2. 25	普通	
	連絡車	富士山481 あ 2705	ス バ ル	2004		H 16. 3. 3	普通	軽トラック
予 備	非常用タンク車	富士山840 に 119	い す ゞ	2014	日本機械	H 27. 2. 18	中型	水槽付ポンプ
	非常用救急車	富士山840 す 1219	ト ヨ タ	2016		H 28. 1. 20	普通	

消火薬剤備蓄状況

令和8年4月1日現在

署 別		設 置 場 所 等		数 量	品 名
中央消防署	中央	中央タンク車	ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20 ^{リットル} ×8	160 ^{リットル}	合成界面活性剤
	芝川	芝川タンク車	ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20 ^{リットル} ×3	60 ^{リットル}	合成界面活性剤
	東	東タンク車	ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20 ^{リットル} ×5	100 ^{リットル}	合成界面活性剤
	計			440 ^{リットル}	
西消防署	西	西化学車	薬剤タンク	500 ^{リットル}	水成膜泡
			ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤 (CAFS)
			ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤
		非常用タンク車	ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20 ^{リットル} ×3	60 ^{リットル}	合成界面活性剤 (CAFS)
			ポリ容器20 ^{リットル} ×7	140 ^{リットル}	合成界面活性剤
	北	北タンク工作車	ポリ容器20 ^{リットル} ×2	40 ^{リットル}	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20 ^{リットル} ×3	60 ^{リットル}	合成界面活性剤
	上野	上野タンク車	ポリ容器20 ^{リットル} ×3	60 ^{リットル}	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20 ^{リットル} ×3	60 ^{リットル}	合成界面活性剤
	計			1,040 ^{リットル}	
	合 計			1,480 ^{リットル}	

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

消防水利の現況

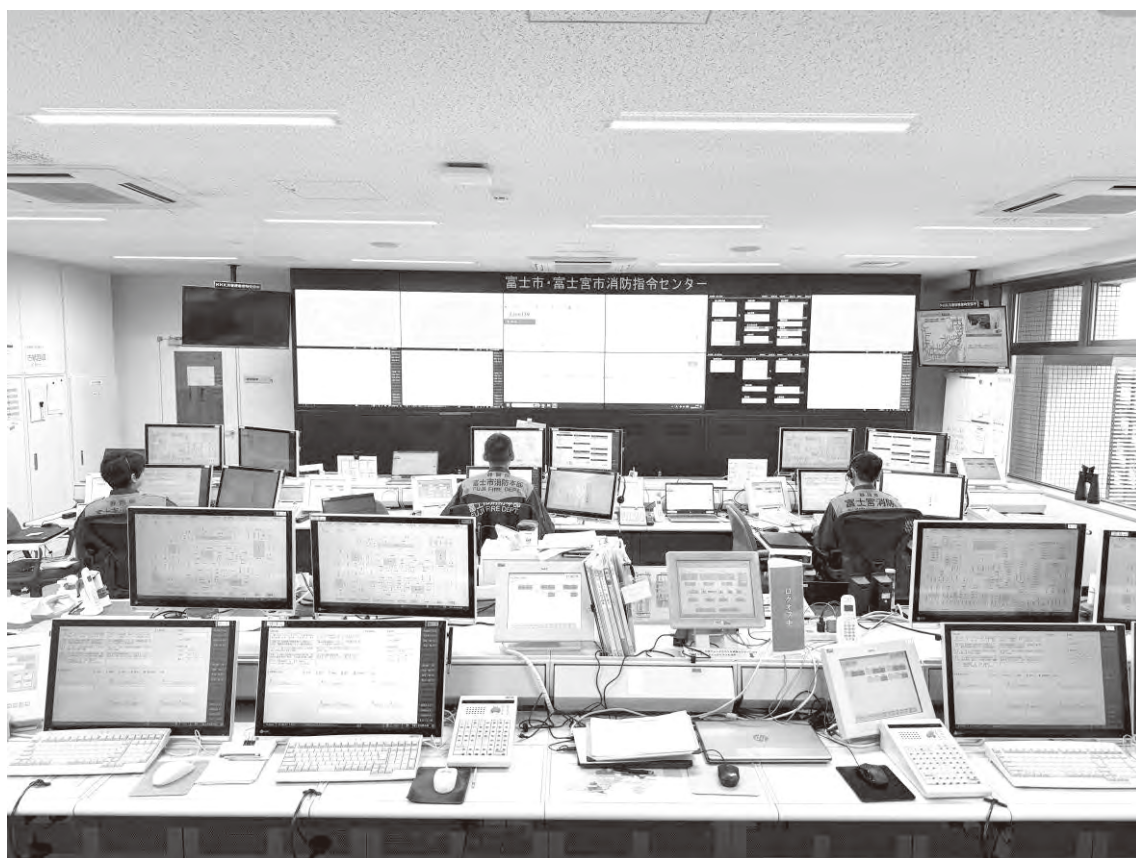
令和8年4月1日現在

区分 分団	防 火 水 槽							消 火 栓			その他	合計
	100m³以上		40～100m³未満		40m³未満		小 計 (耐震性)	公設	私設	小計		
	公設	私設	公設	私設	公設	私設						
1	2		12	2			16 (11)	42	1	43		59
2	1		11	7	1		20 (17)	47		47	2	69
3	2		20	7	1		30 (23)	46	1	47	3	80
4	1		3				4 (4)	23		23	1	28
5	1		27	3			31 (22)	53		53	4	88
6	3		68	13	2		86 (68)	178		178	12	276
7	1		10	1		1	13 (11)	34	3	37	1	51
8		1	38	9	3		51 (33)	60		60	9	120
9	1		14	2	1	2	20 (16)	27		27	1	48
10			17	3	4	1	25 (17)	8		8	1	34
11	1		30	7			38 (28)	38		38		76
12	3		42	9	1		55 (37)	69	1	70		125
13	1		26	4	15	1	47 (20)	28		28		75
14	2		47	5	6		60 (44)	98		98	3	161
15	1		63	4	15	8	91 (54)	30	5	35	4	130
16			30	21	9	1	61 (42)	48	5	53	3	117
17		1	34	38	3	9	85 (64)	51	2	53	4	142
18			7	8			15 (14)	12	8	20	1	36
19			10	3			13 (10)	20		20	2	35
20		2	23	20	1	3	49 (29)	31	33	64	11	124
21	1	1	11	28	3	3	47 (28)	18	14	32	8	87
22			23	6		1	30 (25)	17	8	25	1	56
23			26	3	1		30 (28)	60	7	67	1	98
24			14		4		18 (14)	13		13	1	32
25			9		11		20 (10)	26		26	2	48
26			9	6	3		18 (14)	26		26	1	45
27			32	8	24		64 (37)	66	2	68	4	136
28			15	7	4	1	27 (23)	38	2	40	6	73
合計	21	5	671	224	112	31	1,064 (743)	1,207	92	1,299	86	2,449

令和7年度新設基数

区分 分団	防 火 水 槽						消 火 栓			その他	合計	
	100㎡以上		40～100㎡未満		40㎡未満		小 計 (耐震性)	公設	私設			小計
	公設	私設	公設	私設	公設	私設						
富士宮			3				3 (3)	6		6		9

通信・指令



富士市・富士宮市消防指令センター
(警防救急課 情報指令室)

119番の受信状況

令和7年中

内容 月	火 災	救 急	救 助	その他 災害	病院 照会	まち がい	いた ずら	問 合 せ	訓練・ 試験	そ の 他	N E T 119	合 計	
1	4	737	2	4		14		51	34	55	1	902	(480)
2	15	572	3	4	1	30	2	36	44	50	2	759	(386)
3	30	563	3	5		18	2	27	41	61		750	(442)
4	9	517	1	5		19	2	27	36	58	1	675	(330)
5		470		3		15	1	23	60	55		627	(325)
6	3	510	5			17	1	28	55	61		680	(366)
7	22	486	4	1		17		25	20	92		667	(390)
8	6	634	8	7	1	19	1	15	34	96	2	823	(480)
9	8	540	7	9		22	2	22	56	93		759	(374)
10	3	521	2	4		22		14	70	64		700	(363)
11	3	559	2	4		25	1	23	59	59		735	(426)
12	8	647	4	5		23		16	47	80		830	(466)
合計	111	6,756	41	51	2	241	12	307	556	824	6	8,907	(4,828)

※（ ）内の数字は携帯電話からの受信件数を表す

富士市・富士宮市消防指令センター 応援指令状況

令和7年中

種 別	富士市 へ応援	富士市 から受援	富士市以外 へ応援	富士市以外 から受援	合計
火 災	1	2			2
救 急	2	17			19
救 助					0
その他		1			1
合 計	3	20	0	0	22

映像通報システム（Live119）使用件数

令和7年中

内容 月	出 動 別 件 数							実施区分内訳		
	火災	救急	救助	警戒	危険排除	その他	合計	映像 通話	位置 情報	ファイル 送信
1	4	4					8	5		3
2	4	2		2			8	6	1	1
3	5	4	2	1			12	8	3	1
4	1	2	1				4	4		
5		5					5	4	1	
6	1	6	4				11	5	6	
7	2	3	1				6	5	1	
8	2	2	1	2			7	7		
9	3	2	6				11	9	2	
10	2	1		1			4	4		
11	2	4					6	6		
12	1		1				2	1	1	
合計	27	35	16	6	0	0	84	64	15	5

通信施設の状況

・消防指令センター(富士市消防防災庁舎内)

指 令 装 置	指 令 台	通常時は5回線受信体制をとっていますが、大災害時等、119番通報が殺到する場合(大輻輳時)には最大15回線の同時受信が可能です。
	統合型位置情報通知システム	携帯電話・IP電話及び固定電話からの119番通報に対し、通報場所を特定することが可能です。
	出動車両運用管理装置	GPS(測位衛星)を活用し、災害発生場所により近い車両を選別、更には、その災害に応じた車両種別及び台数を自動的に編成します。
	メール指令設備	消防団員が所持している携帯電話やスマートフォンに、火災発生時の出動指令をEメールで配信します。
	NET119 及び FAX119 受信設備	聴覚や言語に障がいがあり、通話による119番通報が困難な方のために、携帯電話やスマートフォンのアプリケーション及びファックスを使用し119番通報することができます。
	119番映像通報システム(Live119)	119番通報受信時、通報者が場所や災害状況の説明に苦慮する場合、Live119を使用する事により動画で把握でき、出動隊が現場到着前に情報共有する事が可能です。また、口頭指導内容を動画で送信し、通報者に分かりやすく伝える事ができます。※令和6年4月から運用開始
	外国語三者通話	119番通報、災害現場などで、日本語での会話が困難な外国人をサポートするため、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語他32か国語について、電話による通訳者を交えた24時間対応の電話通訳体制で運用しています。
車両運用端末装置(AVM)		車両から活動状況を指令センターに送るとともに、指令情報や地図情報、水利情報等の支援情報を出動中の車両内で閲覧することができます。
現場映像伝送装置		指揮隊に配備されており、ビデオハンディカメラで撮影した現場映像を消防本部及び指令センターで閲覧することができ、迅速な災害対策指揮に役立ってます。
消防用高所監視装置		富士宮市役所及び富士市金丸山に設置されている監視カメラにより、災害現場の状況を瞬時に把握することができます。
気象観測システム		富士宮市役所に設置されており、天気、風向、風速、雨量、気温等を常時観測し、消防活動に役立ってます。

・消防指令センター サポート室(富士宮市役所消防本部内)



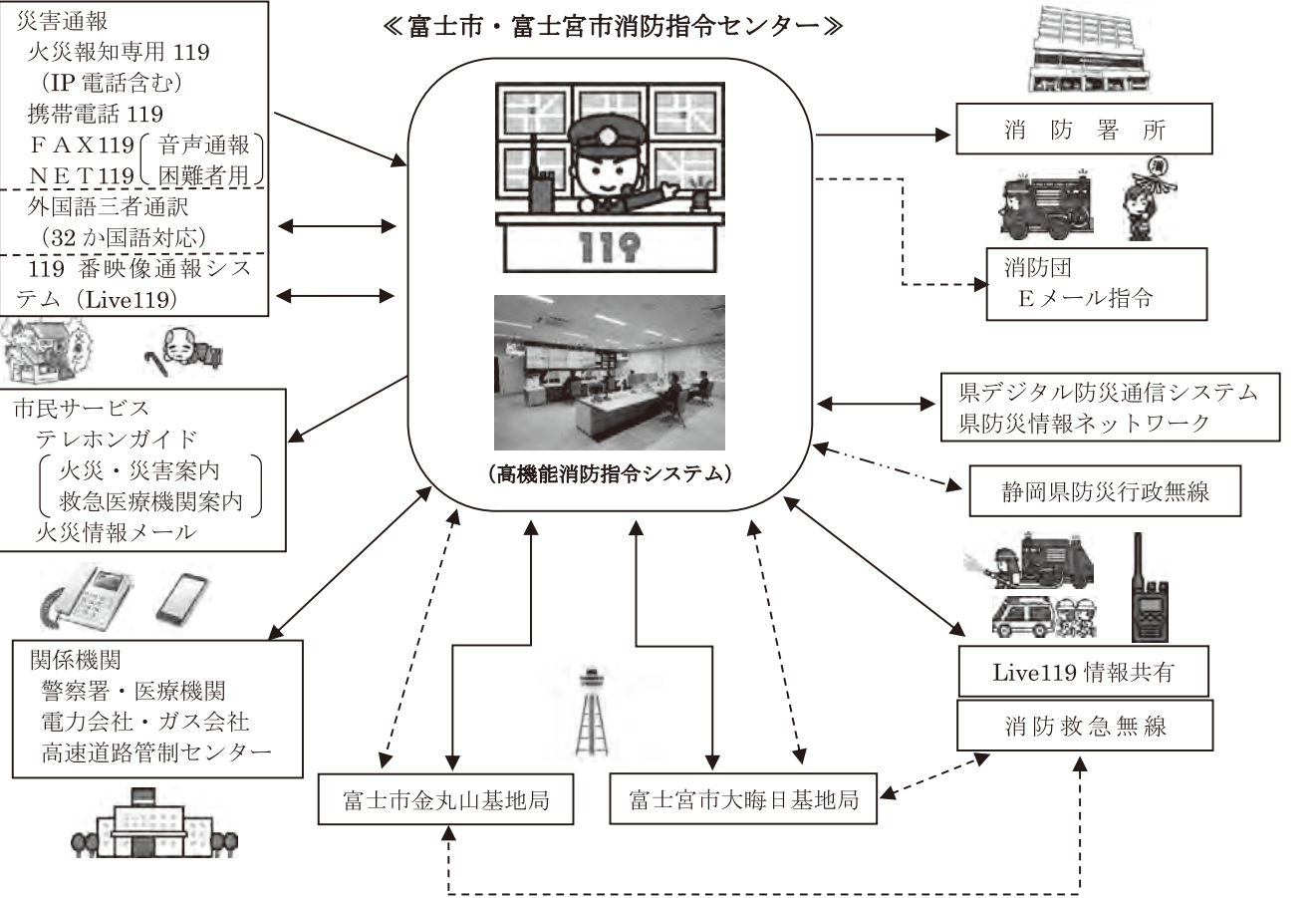
大規模災害発生時には、富士宮市消防本部の消防指揮本部として運用するとともに、消防指令センターが機能しなくなった場合には、両市の119番回線を本施設に迂回させ、通信指令業務を富士宮市で継続することができます。

富士市・富士宮市消防指令センター系統図

近年、市民生活を脅かす災害は、複雑多様化・大規模化しており、あらゆる状況に的確・迅速に対応することが、市民の安全・安心を守る行政の重要な役割である。

このような状況を踏まえ、平成 27 年 9 月 10 日から最先端の技術を駆使した高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備を導入した「富士市・富士宮市消防指令センター」の運用を開始している。

(1) 消防指令システム系統図



18GHz 帯多重無線

消防指令センターと金丸山・大晦日基地局は、指令回線のバックアップとして 18GHz 帯の県防災マイクロ波多重無線回線と接続されており、大容量の音声やデータが送受信可能である。

《無線一覧》

無線 基地 局	ふじしれい 金丸山（５Ｗ） 大晦日（２Ｗ）	活動波	1	富士消防波	無線 移動 局	車載型	消防車両等	21		
			2	富士救急波			救 急 車	7		
			3	共 用 波		携帯型	37			
			4	宮 消 防 波			7			
			5	宮 救 急 波		卓上型	7			
		共通波	主 運 用 波 1				凡 例	有 線	—————	
			統 制 波 1					無 線	-----	
			統 制 波 2					防災無線	— · — · — · — · — · — · — · — · —	
			統 制 波 3							

凡 例	有 線	—————
	無 線	-----
	防災無線	— · — · — · — · — · — · — · — · —

無線配置状況

令和8年4月1日現在

所属	呼 出 名 称	区 分	出力 (W)	免許番号	
消防指令 センター	かなまるやまきちきよく	基 地 局	5	海基第	2272250
	おおづもりきちきよく	基 地 局	2	海基第	2272251
	みやきょうどう 1	車 載 予 備 機	5	海移第	20260178
中央消防署	みやちゅうおう 11	タ ン ク 車	5	海移第	20260225
	みやちゅうおう 31	梯 子 車	5	海移第	20260227
	みやちゅうおう 41	救 助 工 作 車	5	海移第	20260228
	みやちゅうおう 42	山 岳 救 助 車	5	海移第	20260229
	みやちゅうおう 43	資 機 材 搬 送 車	5	海移第	20260230
	みやちゅうおう 51	指 揮 車	5	海移第	20260231
	みやきゅうきゅうちゅうおう 1	救 急 車	5	海移第	20260240
	みやきゅうきゅうちゅうおう 2	非 常 用 救 急 車	5	海移第	20260241
	みやちゅうおう 101	携 帯	2	海移第	20260388
	みやちゅうおう 102	携 帯	2	海移第	20260389
	みやちゅうおう 103	携 帯	2	海移第	20260390
	みやちゅうおう 104	携 帯	2	海移第	20260391
	みやちゅうおう 105	携 帯	2	海移第	20260392
	みやちゅうおう 106	携 帯	2	海移第	20260393
	みやちゅうおう 107	携 帯	2	海移第	20260394
	みやちゅうおう 108	携 帯	2	海移第	20260395
	みやちゅうおう 109	携 帯	2	海移第	20260396
	みや 106	携 帯	2	海移第	20260425
	みやちゅうおうこてい 1	卓 上	5	海移第	20259655
芝川分署	みやしばかわ 11	タ ン ク 車	5	海移第	20260236
	みやきゅうきゅうしばかわ 1	救 急 車	5	海移第	20260243
	みやしばかわ 101	携 帯	2	海移第	20260397
	みやしばかわ 102	携 帯	2	海移第	20260398
	みやしばかわ 103	携 帯	2	海移第	20260399
	みやしばかわ 104	携 帯	2	海移第	20260400
	みやしばかわこてい 1	卓 上	5	海移第	20259656
東分署	みやひがし 11	タ ン ク 車	5	海移第	20260237
	みやきゅうきゅうひがし 1	救 急 車	5	海移第	20260244
	みやひがし 101	携 帯	2	海移第	20260401
	みやひがし 102	携 帯	2	海移第	20260402
	みやひがし 103	携 帯	2	海移第	20260403
	みやひがし 104	携 帯	2	海移第	20260404
	みやひがしこてい 1	卓 上	5	海移第	20259657

所属	呼 出 名 称	区 分	出力 (W)	免許番号	
西消防署	みやにし 21	化 学 車	5	海移第	20260226
	みやにし 51	指 揮 車	5	海移第	20260234
	みやにし 71	水 槽 車	5	海移第	20260235
	みやきゅうきゅうにし 1	救 急 車	5	海移第	20260242
	みや 1	非 常 用 タ ン ク 車	5	海移第	20287043
	みやにし 101	携 帯	2	海移第	20260405
	みやにし 103	携 帯	2	海移第	20260407
	みやにし 104	携 帯	2	海移第	20260408
	みやにし 105	携 帯	2	海移第	20260409
	みやにし 106	携 帯	2	海移第	20260410
	みや 105	携 帯	2	海移第	20260424
	みやにしこてい 1	卓 上	5	海移第	20259658
北分署	みやきた 11	人 員 搬 送 車	5	海移第	20260238
	みやきた 41	救 助 工 作 車	5	海移第	20260233
	みやきゅうきゅうきた 1	救 急 車	5	海移第	20260245
	みやきた 101	携 帯	2	海移第	20260411
	みやきた 102	携 帯	2	海移第	20260412
	みやきた 103	携 帯	2	海移第	20260413
	みやきた 104	携 帯	2	海移第	20260414
	みやきた 105	携 帯	2	海移第	20260415
	みやきたこてい 1	卓 上	5	海移第	20259659
上野分署	みやうえの 11	タ ン ク 車	5	海移第	20260239
	みやきゅうきゅううえの 1	救 急 車	5	海移第	20260246
	みやうえの 101	携 帯	2	海移第	20260416
	みやうえの 102	携 帯	2	海移第	20260417
	みやうえの 103	携 帯	2	海移第	20260418
	みやうえの 104	携 帯	2	海移第	20260419
	みやうえのこてい 1	卓 上	5	海移第	20259660
消防本部	みや 51	指 令 車	5	海移第	20260220
	みや 52	指 揮 車	5	海移第	20260221
	みや 61	団 指 揮 広 報 車	5	海移第	20260222
	みや 62	広 報 車	5	海移第	20260223
	みや 71	査 察 車	5	海移第	20260224
	みや 101	携 帯	2	海移第	20260420
	みや 102	携 帯	2	海移第	20260421
	みや 103	携 帯	2	海移第	20260422
	みや 104	携 帯	2	海移第	20260423
	みやけいぼうこてい 1	卓 上	5	海移第	20259661

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

富士宮市気象観測結果

令和7年中

種別 月	月平均風速(m/s)		月最大瞬間風速(m/s)		気 温(℃)			湿度(%)	月降雨量 (mm)
	風 速	風 向	風 速	風 向	月平均	月最高	月最低	月平均	
1	1.9	北西	21.1	北西	5.6	14.8	-2.7	57.5	34.5
2	2.5	北西	23.9	北	5.6	17.7	-3.5	47.5	11.0
3	2.0	北西	21.4	北西	10.3	26.7	1.1	66.3	179.0
4	2.0	南南東	22.7	西	14.6	25.9	4.6	70.6	126.0
5	1.8	南南東	25.3	北北西	18.3	27.3	9.5	74.8	273.0
6	1.9	南南東	14.1	南東	23.5	32.1	15.6	81.1	173.0
7	1.8	南南東	16.1	南南東	26.9	34.4	20.6	80.3	246.5
8	1.8	南南東	14.3	東	27.8	37.7	22.7	80.5	97.0
9	1.6	南南東	18.8	西	25.4	32.7	16.5	80.1	374.0
10	1.4	北西	21.5	北西	18.7	31.9	8.9	79.9	138.5
11	1.6	北西	21.1	北北西	12.2	21.8	4.2	68.5	25.0
12	1.5	北西	20.0	北北西	8.1	20.0	-1.1	67.0	78.5
	年平均 1.8	年平均 南南東	年最大 25.3	年最大 北北西	年平均 16.4	年最高 37.7	年最低 -3.5	年平均 71.2	年間雨量 1756.0

警報・注意報等

令和7年中

種別 月	警 報					注 意 報 等													
	大雨	洪水	暴風	大雪	浸水	大雨	洪水	強風	風雪	大雪	雷	濃霧	乾燥	なだれ	低温	霜	着氷 (雪)	浸水	火災気象通報
1											2				2				
2										1	1		2		8		1		2
3										3	5	3		2		9	2		
4											6	3		7		7			
5						1	1				8	5							
6											7	7							
7	1					3	1				16	1							
8											17								
9	1	1				4	5				10								
10											4	2							
11											3	1							
12											5	1							
合 計	2	1	0	0	0	8	7	0	0	4	84	23	2	9	10	16	3	0	2

救 助



交通救助訓練
中央消防署救助隊

救助業務

消防機関の行う人命救助は、自然災害、人為的災害を問わず広く一般の災害事象により、要救助者の生命又は身体に現実の危険が及んでいる場合で、要救助者の生存が確認又は予想される状況下において人力、機械力等を用いて、その危険を排除し安全な場所に救出することをいい、隊員は救助知識、高度の技術習得、練磨に励み、人命救助に全力を注いでいる。

発生場所別事故件数

令和7年中

種 別 発生場所		火災		交 通	水 難	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	山 岳 事 故	その他 の 事 故	計
		建物	建物 以外	事 故	事 故	災 害	事 故	事 故	事 故	事 故	事 故	事 故	
屋内	住 居	7						15				2	24
	その他の屋内	8					1						9
屋 道 路	高速自動車道												0
	その他の道路		5	12								1	18
水面	内 水 面			1	4							1	6
	外 水 面												0
外 山 岳	山 岳										25		25
	その他の屋外			2					1			5	8
地 下													0
そ の 他												1	1
計		15	5	15	4	0	1	15	1	0	25	10	91

月別・事故別出動件数

令和7年中

種 別 月 別		火災		交 通	水 難	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	山 岳 事 故	その他 の 事 故	計
		建物	建物 以外	事 故	事 故	災 害	事 故	事 故	事 故	事 故	事 故	事 故	
1		2		1				5					8
2			1	2							2		5
3		3		1	1						1	1	7
4		2			1						1		4
5			1						1		1		3
6		1	1	2	1		1				1	1	8
7		1	1	2				2			3	1	10
8		2		1				2			10	1	16
9		1		3	1						5	2	12
10		1		1				3				2	7
11				1				2					3
12		2	1	1				1			1	2	8
計		15	5	15	4	0	1	15	1	0	25	10	91

事故別出動車両、出動・活動・救出人員

令和7年中

種 別 区 分		火災		交 通	水 難	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	山 岳 事 故	その他 の 事 故	計
		建物	建物 以外	事 故	事 故								
出 動 件 数		15	5	15	4		1	15	1		25	10	91
活 動 件 数		2		9	4		1	13	1		19	9	58
出 動 車 両	救助工作車	14	5	14	4		1	14	1		5	10	68
	消防タンク車	3		11	4		1	10	1			7	37
	梯 子 車												0
	化 学 車	1		4				5	1			3	14
	指揮車・指令車	1		14	4		1	14	1			9	44
	救急自動車	1		21	4		1	15	1		1	10	54
	そ の 他								1		26	1	28
	計	20	5	64	16	0	4	58	6	0	32	40	245
出 動 人 員	専任救助隊員	45	17	37	10			46			94	32	281
	兼任救助隊員	3		9	3		4	3	3		15	3	43
	消 防 隊 員	12		86	23		5	88	12			57	283
	救 急 隊 員	3		63	12		3	45	3		3	30	162
	計	63	17	195	48		12	182	18	0	112	122	769
活 動 人 員	専任救助隊員	7		19	10			31			67	22	156
	兼任救助隊員			3	3		4		3		6	3	22
	消 防 隊 員	12		29	15			60	6			47	169
	救 急 隊 員			18	3		3	33	3			12	72
	計	19	0	69	31	0	7	124	12	0	73	84	419
救出人員		1		11	4		1	13	1		18	10	59
屋 内	住 居	6						15				2	23
	その他の屋内	9					1						10
屋 外	道 路	高速自動車道											0
		その他の道路		5	12							1	18
	水 面	内 水 面			1	4						1	6
		外 水 面											0
	山 岳										25		25
	その他の屋外				2				1			5	8
地 下													0
そ の 他												1	1

品 名		配 置 先			中央消防署			西消防署			非常用 タンク車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野					
一般救助用器具	かぎ付はしご	4	1	1	1	2	1	1				11
	三連はしご	4		1	2	2	1	1				11
	金属製折りたたみはしご	1			1							2
	ワイヤはしご		1		2	1						4
	空気式救助マット	1	1		1							3
	救命索発射装置	1			1	1						3
	サバイバースリング	1			1	1						3
	救助用縛帯	3	3		2	5				1		14
	平担架	1				1						2
排除・切断・破壊用器具	大型油圧ジャッキ	1	1	1	1	1						5
	アルミニウムジャッキ	1	1		1	1	1					5
	大型油圧スプレッダー	1	1	1		1						4
	マット型空気ジャッキ	1	1	1		1						4
	レスキューエアークッション	1				1						2
	可搬式ウインチ	3	2	1	2	1						9
	簡易起重機											0
	マンホール救助器具	1	1		1	1						4
	大型油圧切断機	1	1	1		1						4
	油圧切断機	1	1	1		1	1					5
	レスキューバカッター	1	1	1			1					4
	空気鋸	1	1			1						3
	空気式切断機	1				3						4
	鉄線カッター	7	2	1	4	2	2					18
	エンジンカッター	1	1	2	2	2	1	1				10
	チェーンソー	4	2	2	2	1	3	1				15
	ガス溶断器	2	1	1	1	1	1					7
	酸素溶断器				1							1
	ハンマードリル	2	1	1	1	2						7
	削岩機	1	1									2
	万能斧	9	1	1	1	1	1	1		1		15
	ハンマー	2	2	1	1	1	1	1		1		9
	携帯用コンクリート破壊器具	1	1	1	1	1				1		6
	チェーンブロック	3			1	1						5
	救助用支柱器具セット	1			1							2
測定器具	複合型ガス測定器	5	1	1	1	1	1	1		1		11
	有毒ガス測定器	1										1
	放射線測定器	1										1
呼吸保護器具	空気呼吸器	22	4	5	13	8	4	5				61
	酸素呼吸器	5				3						8
	防塵マスク	42	13	13	29	21	13					131
	エアーラインマスク											0
	簡易呼吸器	5				3						8
	圧縮空気充填機	1										1
	送排風機	1		1		1						3
	加圧排煙機	2										2

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

令和8年4月1日現在

品 名		配 置 先			中央消防署			西消防署			非常用 タンク車	合計
					中央	芝川	東	西	北	上野		
隊員保護用器具	安 全 帯				42	13	13	29	21	13	6	137
	防 塵 メ ガ ネ				42	13	13	29	21	13	4	135
	レ ス キ ュ ー コ ー ル				10	3	3	7	5	3	4	35
	活 線 接 近 警 報 器				7			1	2			10
	耐 電 手 袋				9	2	2	2	2	4	2	23
	耐 電 衣				9	2	2	2	2	4	2	23
	耐 電 ブ ボ ン				9	2	2	2	2	4	2	23
	耐 電 長 靴				9	2	2	2	2	4	2	23
	防 毒 マ ス ク				15				5			20
	陽 圧 式 化 学 防 護 服				4				4			8
	化 学 防 護 服				26	4	4	10	9	4	4	61
	耐 熱 服				2	2	2	2	4	2		14
	放 射 線 保 護 服				4							4
	除 染 剤 散 布 器				2							2
	除 染 シ ャ ワ ー				2							2
水難救助器具	救 命 ボ ー ト				1	1		1	1	1		5
	救 命 胴 衣				13	21	5	10	10	9	5	73
	救 命 浮 環				8	5		2	4	1		20
	水 中 投 光 器				5							5
	ウ エ ッ ト ス ー ツ				5	3			4	3		15
	ブ ー ツ				20	3			4	3		30
	足 ひ れ (C フ ィ ン)											0
	マ ス ク				5							5
	シ ュ ノ ー ケ ル				5							5
山器 岳具	潜 水 用 ヘ ル メ ッ ト				5	3			5	3		16
	登 山 器 具				31							31
その他の救助用器具	バ ス ケ ッ ト 担 架				4	1	1	2	1	1	1	11
	投 光 器				6	1	2	5	2	1	1	18
	携 帯 投 光 器				31	7	7	8	5	8	4	70
	携 帯 拡 声 器				6	1	1	2	2	1	1	14
	応 急 処 置 用 セ ッ ト				2	1	1	1	1		1	7
	車 両 移 動 器 具				1			1				2
	緩 降 機				1							1
	ロ ー プ 登 降 機				8			1	5			14
	ロ ー プ 降 下 機				10				6			16
	滑 車				38	5	2	6	32	2		85
	発 電 機				5	1	2	4	2	1	1	16
	と び 口				13	2	2	4	8	3	2	34
	斧				2	1	1	3	2	1	1	11
	な た				4	5	3	3	2	2	4	23
	金 て こ (バ ー ル)				28	5	5	10	16	2	2	68
	鎌				5	7	5	7	5	11	4	44
	鋸				4	7	3	7	5	8	4	38
	つ る は し				3	2	1	1		1		8
	掛 け 矢				2	6	1	6		3	1	19
	シ ャ ベ ル				6	20	1	22	10	12	2	73
	鍬					2	3	7	3			15
	鉄 筋 探 知 機				1							1

品 名		配 置 先			中央消防署			西消防署			非常用 タンク車	合計
					中央	芝川	東	西	北	上野		
検 索 用 器 具	赤 外 線 ス コ ー プ					1						1
	暗 視 ス コ ー プ											0
	フ ァ イ バ ー ス コ ー プ					1						1
	画 像 検 索 機											0
	音 響 探 知 機											0
支 援 資 器 材	エ ア ー テ ン ト				1			1	1			3
	隊 員 用 テ ン ト				2				2			4
	シ ュ ラ フ				16				8			24
	携 帯 電 話 機				4	1	1	2	2	1		11
	携 帯 受 信 機											0
	折 り 畳 み 式 リ ヤ カ ー				1	2	1	1	1			6
高 度 救 助 器 具	画 像 検 索 機 I 型				1							1
	画 像 検 索 機 II 型				1							1
	地 震 警 報 器				1							1
	夜 間 用 暗 視 装 置				2							2
	地 中 音 響 探 知 機				1							1
	熱 画 像 直 視 装 置				2	1	1	1	3	1		9

※ 地震対策用資機材を含む

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

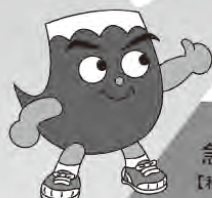
消
防団

防
火協
力団
体

救 急

7 1 1 9

「#」を押してから
「7119」だよ！



© 静岡県

救急安心 電話相談窓口

県内どこからでも利用できます！



© 富士宮市さくやちゃん

急なけがや病気で迷ったときに看護師の相談員がアドバイスしてくれます

【利用上の注意】この電話相談は、相談者の判断の参考としていただくものです

主なアドバイス内容

- 📞 けがや病気の緊急度、対応方法
- 📞 救急車の利用の案内
- 📞 受診できる医療機関の案内
- 📞 その他の相談窓口の紹介

富士宮市消防本部・静岡県

(当事業に関するお問い合わせ)
富士宮市 消防本部 消防総務課
TEL: 0544-22-1198

あなたの命を守る
マイナ救急

マイナ保険証を携行しましょう

月別事故活動状況

令和7年中

月 別	種 別		事 故 内 容												そ の 他			
			火	自	水	交	労	運	一	加	自	急						
	区 分	計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転 院	医 師	資 材	そ の 他		
1	出動件数	720	2			19	3	2	98	1	6	459	127			3		
	搬送件数	670	1			16	3	2	93	1	6	421	127					
	搬送人員	670	1			16	3	2	93	1	6	421	127					
2	出動件数	560	1			23	3		86		8	328	107			4		
	搬送件数	501				19	3		77		7	288	107					
	搬送人員	502				19	3		78		7	288	107					
3	出動件数	560	3			25	2	5	85	1	5	346	82			6		
	搬送件数	506				22	2	5	77		5	314	81					
	搬送人員	508				24	2	5	77		5	314	81					
4	出動件数	516	2			25	5	1	81	2	2	315	83					
	搬送件数	479				21	5	1	75	2	2	290	83					
	搬送人員	484				25	5	1	76	2	2	290	83					
5	出動件数	469				16	5	3	58	1	8	284	93			1		
	搬送件数	453				15	5	3	57	1	8	272	92					
	搬送人員	453				15	5	3	57	1	8	272	92					
6	出動件数	515	1		1	30	6	5	78	1	12	301	77			3		
	搬送件数	475				28	6	5	75		8	276	77					
	搬送人員	476				29	6	5	75		8	276	77					
7	出動件数	514	2			37	15	7	79		7	300	62			5		
	搬送件数	472				31	14	7	75		6	277	62					
	搬送人員	482				40	15	7	75		6	277	62					
8	出動件数	627	4			34	11	6	88	4	7	395	71			7		
	搬送件数	571	2			33	10	5	83	4	6	357	71					
	搬送人員	572	2			34	10	5	83	4	6	357	71					
9	出動件数	545	1			23	14	4	76		6	329	90			2		
	搬送件数	511				21	14	4	70		4	308	90					
	搬送人員	514				21	14	4	70		4	311	90					
10	出動件数	522	1			24	6	1	95		10	306	76			3		
	搬送件数	478				18	6	1	83		8	286	76					
	搬送人員	481				21	6	1	83		8	286	76					
11	出動件数	544	1			34	2	3	80		4	358	60			2		
	搬送件数	499	1			31	2	3	75		3	324	60					
	搬送人員	501	1			33	2	3	75		3	324	60					
12	出動件数	649	3			29	1	3	98		3	413	98			1		
	搬送件数	592				29	1	3	87		1	373	98					
	搬送人員	593				30	1	3	87		1	373	98					
計	出動件数	6,741	21	0	1	319	73	40	1,002	10	78	4,134	1,026	0	0	37		
	搬送件数	6,207	4	0	0	284	71	39	927	8	64	3,786	1,024	0	0	0		
	搬送人員	6,236	4	0	0	307	72	39	929	8	64	3,789	1,024	0	0	0		
昨年 同期	出動件数	6,804	26	1	3	336	86	28	1,009	13	54	4,141	1,055	1	0	51		
	搬送件数	6,265	3	0	1	304	85	28	925	12	36	3,817	1,054	0	0	0		
	搬送人員	6,292	3	0	1	325	85	28	925	12	36	3,823	1,054	0	0	0		
昨年 比較	出動件数	△ 63	△ 5	△ 1	△ 2	△ 17	△ 13	12	△ 7	△ 3	24	△ 7	△ 29	△ 1	0	△ 14		
	搬送件数	△ 58	1	0	△ 1	△ 20	△ 14	11	2	△ 4	28	△ 31	△ 30	0	0	0		
	搬送人員	△ 56	1	0	△ 1	△ 18	△ 13	11	4	△ 4	28	△ 34	△ 30	0	0	0		

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

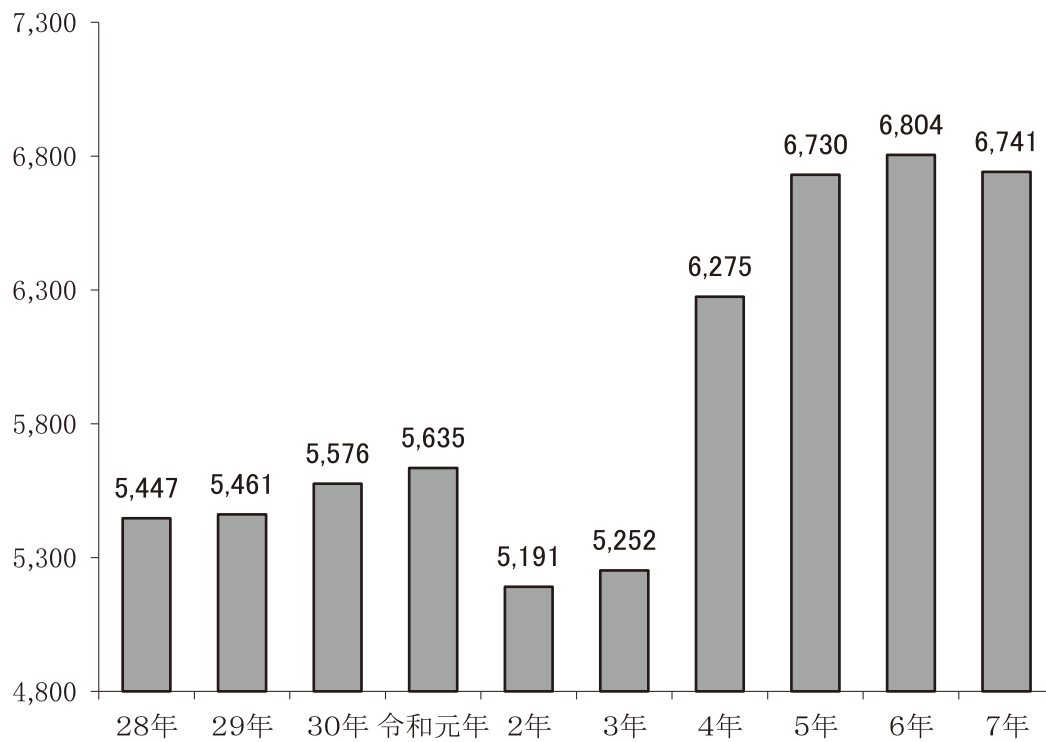
救
急

応
援協
定

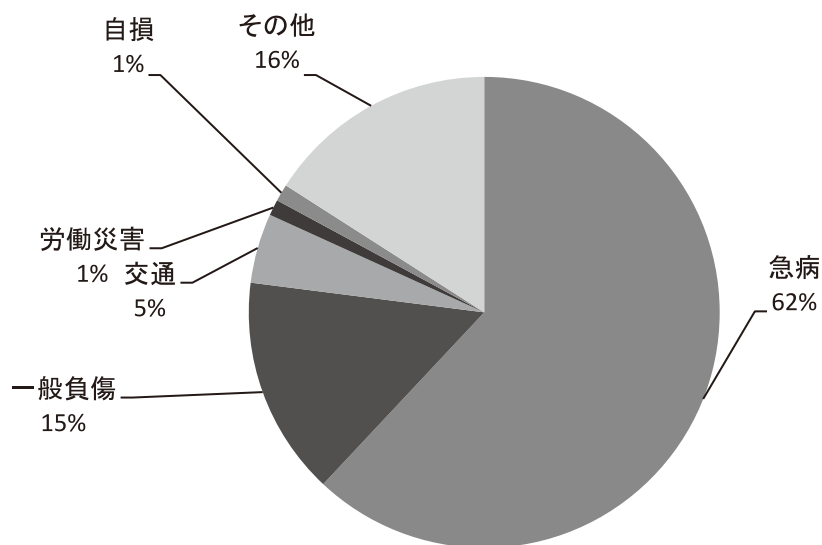
消
防団

防
火協
力団
体

出動件数の推移



事故種別による出動割合

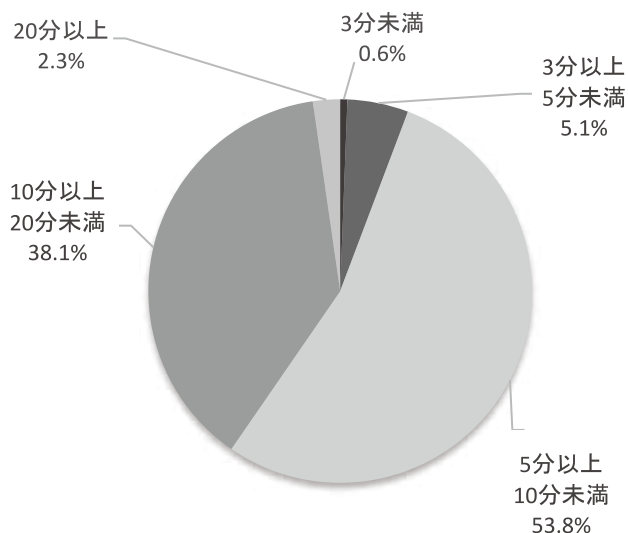


※その他(16%)のうち、転院搬送15%(医療機関から医療機関までの搬送)

出動から現場到着までの所要時間と出動件数

令和7年中

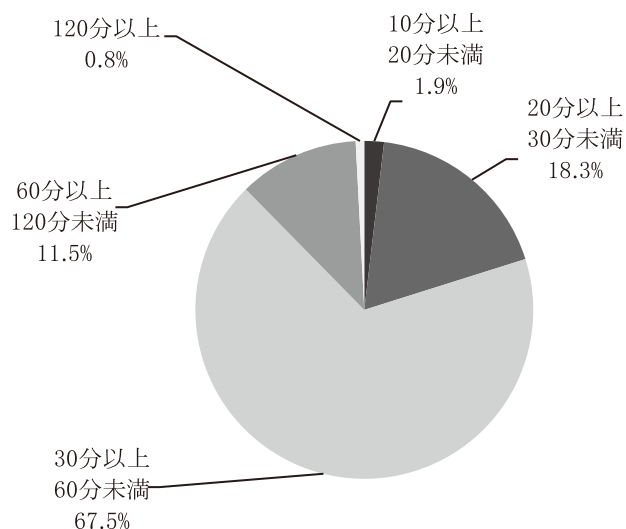
3分未満	41 件
3分以上5分未満	347 件
5分以上10分未満	3,630 件
10分以上20分未満	2,569 件
20分以上	154 件
合計	6,741 件
最短到着時間	0 分
最長到着時間	96 分



出動から医療機関収容までの所要時間と搬送人数

令和7年中

10分未満	0 人
10分以上20分未満	117 人
20分以上30分未満	1,139 人
30分以上60分未満	4,209 人
60分以上120分未満	720 人
120分以上	51 人
合計	6,236 人
最短収容時間	13 分
最長収容時間	212 分



救急講習件数・受講人員

令和7年中

受講団体等 講習名	一般市民 (自主防災会含む)		各種団体 (各種学校等)		事業所		総数	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
一般救急講習	15	734	64	1,498	27	578	106	2,810
普通救命講習	18	85	14	226	19	228	51	539

応急処置別 事故種別実施数

令和7年中

処置別 \ 種別		急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	左 記 以 外	合 計
止 血		21	24	127	31	203
固 定		16	118	96	43	273
人 工 呼 吸		18	1	4	6	29
心臓マッサージ		1				1
心 肺 蘇 生		136	5	19	13	173
酸 素 吸 入		811	25	64	289	1,189
気 道 確 保	※総数	198	6	25	22	251
	※1	1				1
	※2	2		2		4
	※3	43	1	4	2	50
	※4	3		7	2	12
保 温		590	44	131	158	923
被 覆		13	58	189	52	312
在 宅 療 法 継 続	総数	79	1	6	9	95
	※A	2			1	3
	※B	2			1	3
	※C	75	1	6	7	89
ショックパンプ						0
除細動		10		2	1	13
静 脈 路 確 保	CPA前	17	2	3	5	27
	CPA後	73	2	15	3	93
薬 剤 投 与		73	2	13	3	91
その他の処置		3,773	303	917	1,201	6,194
血 圧 測 定		3,604	301	891	1,191	5,987
心音・呼吸音等の聴診		243	42	47	41	373
血中酸素飽和度の測定		3,719	303	913	1,203	6,138
心 電 図		3,261	146	519	893	4,819
血 糖 測 定		99			1	100
エピペン 投与		2				2
ブドウ糖 投与		12				12
計		16,769	1,383	3,981	5,165	27,298

※総数・・・下記※1～※4を含め、用手、吸引等による気道確保数を計上。

※1 経鼻エアウェイ、経口エアウェイ

※2 喉頭鏡・鉗子使用

※3 LM等

※4 気管挿管

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

※B 気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載

※C ※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載

覚知時間別 事故種別出動回数

令和7年中

時刻 種別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
00 時台				2			20		2	86	19			4	133
01 時台							10	1	2	96	13			2	124
02 時台				1			14		1	86	9			3	114
03 時台							10		1	81	7			1	100
04 時台	1						2		2	85	7			1	98
05 時台				1			12			107	6			1	127
06 時台	1			5			39		3	145	6			2	201
07 時台				33	1		42		2	210	9			1	298
08 時台				25	2	3	59		3	259	21			1	373
09 時台				22	14	4	91		6	303	64				504
10 時台	2			17	13	8	68	1	5	262	99			2	477
11 時台	1			21	8	7	83		5	206	117				448
12 時台	7			21	6	7	56		6	247	124			2	476
13 時台	3			21	4	2	70	1	5	240	74			1	421
14 時台	2			36	6	3	58	2	5	184	47			3	346
15 時台	2		1	20	5	1	45		6	183	70			2	335
16 時台				18	5	1	55		5	187	78			2	351
17 時台				19	6	2	60		2	216	63			1	369
18 時台				16	1	1	52		2	196	45			2	315
19 時台				13	2		42	2	2	202	32			1	296
20 時台	2			5		1	39	1	3	194	33			1	279
21 時台				7			18		5	142	39			1	212
22 時台				10			31		2	123	27			1	194
23 時台				6			26	2	3	94	17			2	150
合 計	21	0	1	319	73	40	1,002	10	78	4,134	1,026	0	0	37	6,741

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

曜日別救急出動件数

令和7年中

種別 曜日別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
月	3			57	17	3	149	1	6	663	177			2	1,078
火	4			49	10	6	136		18	549	172			6	950
水	2			38	16	1	130	2	15	617	157			5	983
木	1		1	49	15	6	157	2	10	576	149			4	970
金	2			56	8	2	135	1	6	591	134			8	943
土	6			39	5	10	148	3	12	568	133			4	928
日	3			31	2	12	147	1	11	570	104			8	889
合 計	21	0	1	319	73	40	1,002	10	78	4,134	1,026	0	0	37	6,741

月別救急出動件数

令和7年中

種別 月別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
1	2			19	3	2	98	1	6	459	127			3	720
2	1			23	3		86		8	328	107			4	560
3	3			25	2	5	85	1	5	346	82			6	560
4	2			25	5	1	81	2	2	315	83				516
5				16	5	3	58	1	8	284	93			1	469
6	1		1	30	6	5	78	1	12	301	77			3	515
7	2			37	15	7	79		7	300	62			5	514
8	4			34	11	6	88	4	7	395	71			7	627
9	1			23	14	4	76		6	329	90			2	545
10	1			24	6	1	95		10	306	76			3	522
11	1			34	2	3	80		4	358	60			2	544
12	3			29	1	3	98		3	413	98			1	649
合 計	21	0	1	319	73	40	1,002	10	78	4,134	1,026	0	0	37	6,741

救急関係資器材の配置状況

令和8年4月1日現在

資器材名		中央消防署			西消防署			予備車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野		
救急救命用器材	半自動除細動器	1	1	1	1	1	1	1	7
	全自動除細動器	3	1	1	2	2	1		10
	ビデオ喉頭鏡	1	1	1	2	1	2	1	9
	特定行為用資器材バッグ	1	1	1	1	1	1	1	7
救命処置資器材	患者監視モニター	1	1	1	1	1	1	1	7
	自動心マッサージ器	1	1	1	1	1	1	1	7
	自動人工呼吸器	1	1	1	1	1	1	1	7
	血糖値測定器	1	1	1	1	1	1	1	7
	聴診器	1	2	2	1	1	2	1	10
	血圧計	2	1	2	2	1	1	1	10
	吸引器	2	1	2	1	1	1	1	9
搬送器具	メインストレッチャー(電動含む)	1	1	1	1	1	1	1	7
	スクープストレッチャー	5	2	2	4	2	2	1	18
	感染症患者搬送装置	2	1	1	1	1	1		7
一般救急用器材	酸素吸入蘇生装置	1	1	1	1	1	1	1	7
	手動式人工呼吸器	1	1	2	1	1	1	1	8
	心肺蘇生用背板	1		1	1	1	1	1	6
	骨折等固定用具	1	1	1	1	1	1	1	7
	リングカッター	4	3	1	2	1	1	1	13
	分娩セツト	1	1	1	3	1	1	1	9
	バックボード	6	3	4	4	4	3	1	25
	脊椎固定器具		1	1	1	1			4
破壊具	万能斧	1	1	1	1	1	1	1	7
	金てこ(バール)	1	1	1	1	1	1	1	7
消毒・滅菌用器材	車内消毒装置(設置型)	1	1		1			1	4
	滅菌器	1	1	1	1	1	1		6
	滅菌包装器	1	1	2	1	1	1		7
	オゾン消毒器	1	1	1	1	1	1		6
	UVロツカー	2	1	1	2	1	1		8
教育用器材	心肺蘇生訓練用人形(成人)	5	3	3	5	3	2		21
	心肺蘇生訓練用人形(ジュニア)	1			1				2
	心肺蘇生訓練用人形(ベビー)	1	1	1	1	1	1		6
	気道管理トレーナー			1		1	1		3
	アンプ挿管トレーナー	1			1				2
	静脈採血モデル	1			1	1	1		4
	分娩介助モデル	1			1				2
	高度救命訓練用人形		1	1		1	1		4
	高度救命処置シミュレーター	1			1				2
	救急関係DVD	2	1	1	1	1	1		7
	訓練用AED	5	3	4	5	3	3		23
通信器材	車載用携帯電話	1	1	1	1	1	1	1	7
その他	テロ対策用防毒マスク	3	3	3	3				12
	トリアージシート	3	3	3	3	1	2		15

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

応援協定関係



大規模災害対応訓練

1. 消防相互応援協定

各市町村個々の消防力の限界を超える大規模災害及び救急重大事故等に対処するため、消防組織法に基づき次のとおり消防相互応援協定を締結している。

協 定 名	締結年月日	協定種別	協定締結消防機関等
静岡県消防相互応援協定	平成29年3月10日 再 締 結	全ての災害	県 下 全 市 町
富士市・富士宮市 消 防 相 互 応 援 協 定	平成27年8月17日 再 締 結	全ての災害	富 士 市 消 防 本 部
富士宮市と静岡市における消 防相互応援に関する協定	平成29年3月22日	全ての災害	静 岡 市 消 防 局
富士宮市・峡南広域行政組合の消防管 轄区域における相互応援に関する協定	令和元年10月1日	全ての災害	峡南広域行政組合消防本部
富士宮市・富士五湖広域行政 事務組合消防相互応援協定	平成28年8月26日	全ての災害	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部
新東名高速道路における 消防相互応援に関する協定	平成24年4月14日	全ての災害	富 士 市 消 防 本 部 静 岡 市 消 防 局

2. 消防相互応援協定覚書

締 結 名	締結年月日	締結消防機関等
静岡県消防相互応援協定に基づく覚書	平成29年3月10日	県 下 全 市 町
富士市・富士宮市消防相互応援協定に基づく覚書	平成27年8月17日	富 士 市 消 防 本 部
富士宮市と静岡市における消防相互応援の細目 に関する覚書	平成29年3月22日	静 岡 市 消 防 局
富士宮市・峡南広域行政組合の消防管轄区域にお ける相互応援の細目に関する覚書	令和元年10月1日	峡南広域行政組合消防本部
富士宮市・富士五湖広域行政事務組合消防相互応 援協定に伴う覚書	平成28年8月26日	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部
新東名高速道路における消防相互応援に関する 覚書	平成24年4月14日	富 士 市 消 防 本 部 静 岡 市 消 防 局



林野火災時における防災ヘリへの送水訓練を実施

3. その他の協定

協 定 名	締結年月日	協定種別	協定締結機関等
静岡県防災ヘリコプター 応 援 協 定	平成２９年３月２３日	全ての災害	静 岡 県
ガス爆発事故等防止対策 に 関 す る 協 定 書	平成２８年９月１４日 再 締 結	ガス漏れ事故 ガス爆発事故等	富 士 宮 警 察 署 静岡ガス(株)東部導管ネットワークセンター 静岡県 LP ガス協会富士宮地区会 東京電力パワーグリッド(株)富士支社 中 部 電 力 (株) 清 水 営 業 所
静岡県立総合病院の所有する ドクターカーの運用に関する協定	平成２８年２月９日	救急事案	静 岡 県 立 総 合 病 院
緊急消防援助隊受援計画に基づ く施設利用に関する協定書	平成２９年１月１８日	災害時施設利用	宗 教 法 人 大 石 寺
遭 難 Z E R O 協 定	令和５年６月１９日	山岳救助遭難事案	株 式 会 社 ヤ マ ッ プ
災害時における支援に関する 協 定 書	令和６年１１月７日	消防用水の供給 建設機械の提供 等	静岡県富士生コンクリート 協 同 組 合

令和8年4月1日現在

静岡県内の消防の現況



消 防 団



富士宮市消防出初式写真コンテスト受賞作品
消防団長賞「堂々の行進」

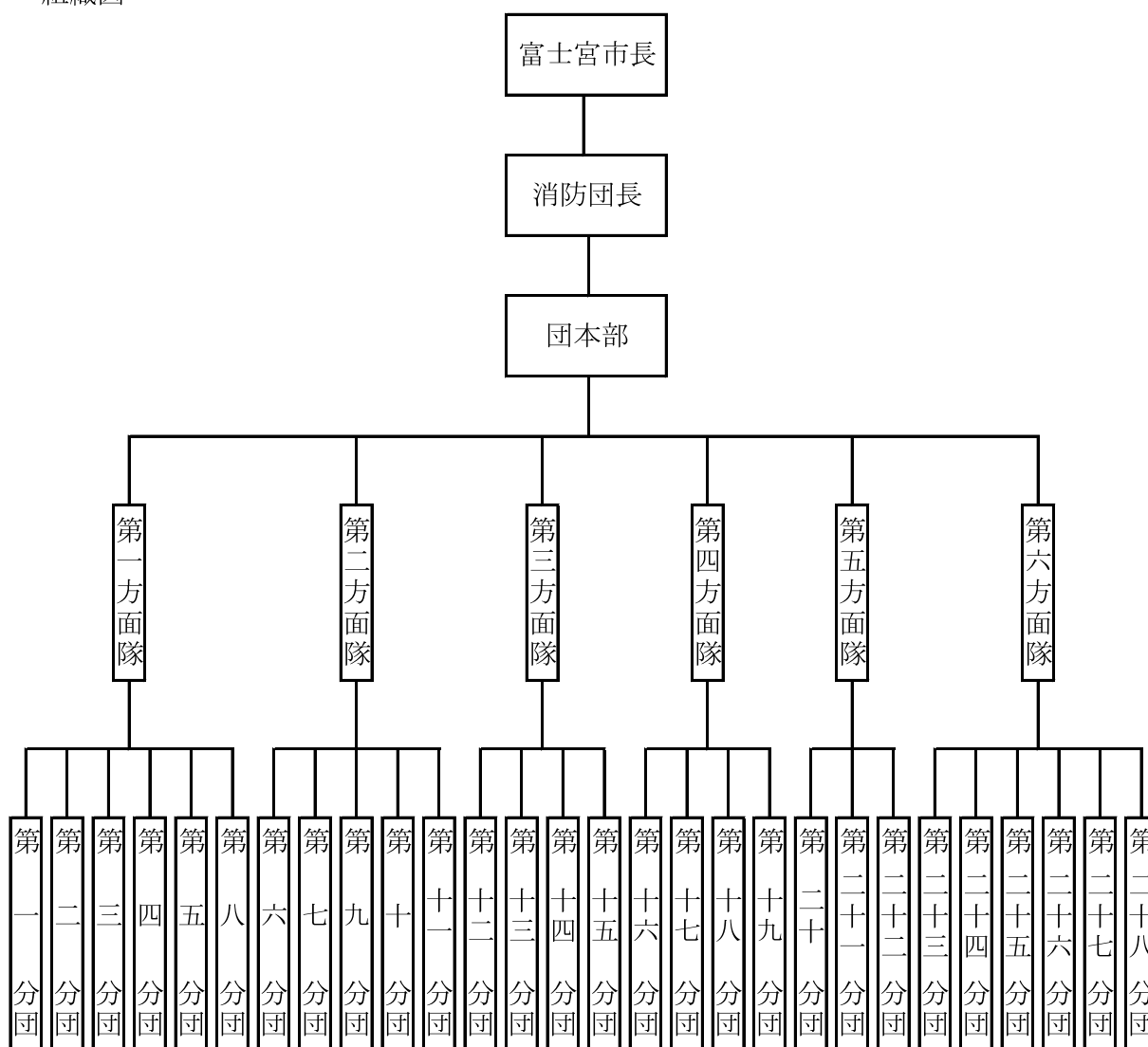


富士宮市消防出初式写真コンテスト受賞作品
消防長賞「ラッパ隊に虹」

消防団は、地域の安心安全の中核的な担い手として、住民の生命、身体、財産を災害から守るという強い使命に燃え、勇敢かつ献身的に日々活動を行っています。また、今日発生する災害も社会構造や地球環境の変化、生活様式の多様化等により複雑化・特異化する傾向にあります。このような中で発生する災害に即応できるように組織を編成し効率化を図っています。

富士宮市消防団

組織図



消防団の定員及び実員

令和8年4月1日現在

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (うち機能別団員)	合計
定員及び基準数	1	4	45	49	78	159	404 (60)	740
実 員	1	4	51	48	73	137	352 (66)	666

歴代消防団長

富士宮市消防団

芝川町消防団

代	氏 名	在任期間	代	氏 名	在任期間
初代	市ノ瀬 康一	自 S22. 11. 1 至 S24. 3. 31	初代	後藤 勇	自 S32. 4. 1 至 S33. 12. 14
2代	角谷 憲	自 S24. 4. 1 至 S30. 3. 31	2代	風岡 一雄	自 S33. 12. 15 至 S36. 3. 31
3代	後藤 忠雄	自 S30. 4. 1 至 S46. 11. 30	3代	金子 兼治	自 S36. 4. 1 至 S38. 12. 31
4代	佐野 誠一	自 S46. 12. 1 至 S48. 12. 19	4代	風岡 栄	自 S39. 1. 1 至 S41. 12. 14
5代	寺田 銀蔵	自 S48. 12. 20 至 S57. 3. 31	5代	小泉 重利	自 S41. 12. 15 至 S44. 12. 14
6代	小笠原 登	自 S57. 4. 1 至 S61. 3. 10	6代	佐野 卓次郎	自 S44. 12. 15 至 S47. 2. 9
7代	保坂 亨	自 S61. 4. 1 至 H 4. 3. 31	7代	大内 幸雄	自 S47. 2. 10 至 S58. 12. 14
8代	塩川 金次郎	自 H 4. 4. 1 至 H 7. 3. 31	8代	宇佐美 章	自 S58. 12. 15 至 S61. 12. 14
9代	清 功	自 H 7. 4. 1 至 H15. 3. 31	9代	佐野 覚	自 S61. 12. 15 至 H 6. 3. 31
10代	佐野 公康	自 H15. 4. 1 至 H16. 3. 31	10代	望月 克己	自 H 6. 4. 1 至 H10. 3. 31
11代	佐野 貞男	自 H16. 4. 1 至 H20. 3. 31	11代	森 威多留	自 H10. 4. 1 至 H14. 3. 31
12代	佐野 禎彦	自 H20. 4. 1 至 H24. 3. 31	12代	渡邊 三千代	自 H14. 4. 1 至 H17. 3. 31
			13代	萩原 直樹	自 H17. 4. 1 至 H20. 3. 31
			14代	佐野 忠義	自 H20. 4. 1 至 H22. 3. 23

※平成22年3月23日 芝川町は、富士宮市に編入合併

富士宮市消防団

代	氏 名	在任期間
12代	佐野 禎彦	自 H20. 4. 1 至 H24. 3. 31
13代	石川 英典	自 H24. 4. 1 至 H25. 3. 31
14代	清 厚博	自 H25. 4. 1 至 H28. 3. 31
15代	植松 昌裕	自 H28. 4. 1 至 H30. 3. 31
16代	佐野 泰信	自 H30. 4. 1 至 R 2. 3. 31
17代	風間 友明	自 R 2. 4. 1 至 現在

消防団員配置状況(実員数)

令和8年4月1日現在

		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別団員	計
団 本 部		1	4	23			1	12		41
第 1 方面隊	第 1 分団			1	1	2	1	3	1	9
	第 2 分団			1	1	2	3	7	4	18
	第 3 分団			1	1	2	4	6	5	19
	第 4 分団			1	1	2	4	7	2	17
	第 5 分団			1	1	2	4	6	2	16
	第 8 分団			1	1	2	3	6	3	16
第 2 方面隊	第 6 分団			1	3	5	10	13	3	35
	第 7 分団			1	1	2	2	5		11
	第 9 分団			1	1	2	3	7		14
	第 10分団			1	2	2	3	4	4	16
	第 11分団			1	2	2	5	3	1	14
第 3 方面隊	第 12分団			1	2	3	4	7	3	20
	第 13分団			1	1	2	4	1	1	10
	第 14分団			1	2	4	8	1	5	21
	第 15分団			1	3	4	8	18	4	38
第 4 方面隊	第 16分団			1	2	2	4	19	1	29
	第 17分団			1	3	3	7	21	4	39
	第 18分団			1	2	2	5	10	3	23
	第 19分団			1	3	3	6	11	3	27
第 5 方面隊	第 20分団			1	3	3	8	16	3	34
	第 21分団			1	3	5	10	19	3	41
	第 22分団			1	3	5	6	14	2	31
第 6 方面隊	第 23分団			1	1	2	4	17	2	27
	第 24分団			1	1	2	4	2	2	12
	第 25分団			1	1	2	4	15		23
	第 26分団			1	1	2	4	11	2	21
	第 27分団			1	1	2	4	13	1	22
	第 28分団			1	1	2	4	12	2	22
合 計		1	4	51	48	73	137	286	66	666

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

年度別消防団員入団及び退団の推移

令和8年4月1日現在

年度	定員	実員	入団	退団		退 団 者 内 訳						
				年度末	途中	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
H18	650	714	66	39	5			8	6	4	9	17
H19	650	726	53	43	1	1		11	3	3	5	21
H20	650	740	56	46	2			6	7	1	6	28
※H21	810	755	73	56	20	1	2	18	7	8	12	28
H22	810	735	52	48	3			6	6	8	9	22
H23	810	738	54	68	2	1	1	16	3	9	12	28
H24	810	724	49	38	8	1		6	3	7	9	20
H25	810	716	35	39	3			9	4	3	7	19
H26	810	720	54	37	4			4	4	4	9	19
H27	810	723	53	56	4	1	1	8	6	3	10	31
H28	810	721	53	60	4		1	3	2	5	9	44
H29	810	699	37	50	4	1		12	4	5	5	27
H30	810	685	42	38	1			2	1	5	9	22
R1	810	690	43	54	4	1	1	13	2	3	5	33
R2	810	668	26	30	3			4	2	3	3	21
R3	810	657	26	44	3			4	5	6	6	26
R4	740	643	68 (32)	35	5			3	2	4	6	25
R5	740	668 (39)	34 (8)	38	6		1	7	1	1	6	28
R6	740	668 (47)	57 (15)	45 (1)	3			6	2	4	10	26 (1)
R7	740	667 (61)	33 (8)	39 (5)	5		1	5	3	2	5	28 (5)

【平成22年3月23日 芝川町消防団と統合】

()うち機能別

消防団員階級別年齢

令和8年4月1日現在

年齢 階級	18 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 以上	計
団 長										1	1
副 団 長									2	2	4
分 団 長					1	5	14	16	9	6	51
副 分 団 長					1	11	15	9	8	4	48
部 長				4	6	20	29	9	5		73
班 長		2	5	13	25	35	30	20	5	2	137
団 員	2	10	22	38	47	29	79 (9)	61 (15)	33 (17)	31 (25)	352 (66)
合 計	2	12	27	55	80	100	167	115	62	46	666

()うち機能別

消防団員階級別在職年数

令和8年4月1日現在

年数 階級	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以 上	計
団 長							1	1
副 団 長							4	4
分 団 長			3	8	21	13	6	51
副 分 団 長			8	21	14	2	3	48
部 長	1	3	25	33	9	2		73
班 長	7	32	59	27	8	3	3	139
団 員	125	71 (3)	30 (3)	36 (11)	46 (21)	29 (17)	13 (11)	350 (66)
合 計	133	106	125	125	98	49	30	666

()うち機能別

消防団消防車両配置状況

令和8年4月1日現在

① マイクロバス	1 台	② 水槽付消防ポンプ自動車	8 台
③ 普通消防ポンプ自動車	26 台	④ 小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)	2 台
⑤ 小型動力ポンプ付積載車	4 台	⑥ 資機材搬送車(軽4WDトラックタイプ)	5 台
⑦ 小型動力ポンプ	47 台		

(B-2級 2台・B-3級 11台・C-1級 34台)

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ 性 能	購入年月	製作会社	備 考
団 本 部	弓 沢 町	富士山240さ223	日 産		H18.1		マ イ ク ロ バ ス
				B 3 級	H21.8	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ (訓 練 用)
				B 2 級	H28.3	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ (訓 練 用)
第 1 分団	中 央 町	富 士 山 804 ひ 1	いすゞ	A 2 級	R5.3	ジ-エムいちはら	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H16.10	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第 2 分団	元 城 町	富 士 山 840 に 2	いすゞ	A 2 級	R3.3	畠山ポンプ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H12.7	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第 3 分団	宮 町	富 士 山 840 め 3	いすゞ	A 2 級	R6.2	小川ポンプ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H11.3	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第 4 分団	西 町	富 士 山 840 そ 4	いすゞ	A 2 級	H29.12	ジ-エムいちはら	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H13.8	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第 5 分団	弓 沢 町	富 士 山 840 す 5	いすゞ	A 2 級	H18.2	ジ-エムいちはら	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H19.10	マキタ沼津	小 型 動 力 ポ ン プ
第 6 分団	淀 師	富 士 山 840 す 6	いすゞ	A 2 級	H21.2	ジ-エムいちはら	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H6.12	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	青 木	富 士 山 840 て 6	いすゞ	A 2 級	H24.1	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H10.2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	外 神	富 士 山 840 ね 6	いすゞ	A 2 級	H28.3	畠山ポンプ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H26.10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第 7 分団	大 中 里	富士山803な7	いすゞ	A 2 級	R2.3	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H24.11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第 8 分団	万 野 原	富 士 山 803 た 8	いすゞ	A 2 級	H17.2	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
	新 田			C 1 級	H31.1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ 性 能	購入年月	製作会社	備 考
第 9 分団	野 中	富 士 山 840 セ 9	いすゞ	A 2 級	H23. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H17. 10	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第10分団	安 居 山	富 士 山 840 な 10	いすゞ	A 2 級	R7. 9	小川ポンプ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H28. 3	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	沼 久 保	富 士 山 840 ち 10	いすゞ	B 3 級	H26. 2	旭産業	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (ト ー ハ ツ)
第11分団	黒 田	富 士 山 840 ね 11	いすゞ	A 2 級	H29. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H29. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	星 山	富 士 山 840 す 11	いすゞ	A 2 級	H21. 2	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H9. 2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	貫 戸	富 士 山 881 あ 21	スバル	B 3 級	H21. 2	マキタ沼津	小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)
第12分団	小 泉	富 士 山 840 て 12	いすゞ	A 2 級	R5. 2	小川ポンプ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H26. 10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	山 本	富 士 山 840 つ 12	いすゞ	A 2 級	R4. 1	日本ドライ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H29. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第13分団	杉 田	富 士 山 840 た 13	いすゞ	A 2 級	R8. 3	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H2. 1	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第14分団	小 泉	富 士 山 840 そ 14	いすゞ	A 2 級	H26. 11	モリタ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H23. 1	マキタ沼津	小 型 動 力 ポ ン プ
	大 岩	富 士 山 840 セ 14	いすゞ	A 2 級	H23. 1	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	R1. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第15分団	神 成	富 士 山 840 ん 15	いすゞ	A 2 級	H29. 12	ジ-エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H14. 9	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	二 又	富 士 山 840 セ 15	いすゞ	A 2 級	H20. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H2. 1	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	村 山	富 士 山 840 に 15	いすゞ	B 3 級	H28. 3	畠山ポンプ	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (ト ー ハ ツ)
第16分団	山 宮	富 士 山 803 さ 366	いすゞ	A 2 級	H20. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H25. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ 性 能	購入年月	製作会社	備 考
第17分団	上 組	富士山840せ17	いすゞ	A 2 級	H24. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
		富士山488ほ 17	スズキ		R5. 3	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽4WDトラックタイプ)
				C 1 級	S62. 12	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第18分団	上 条	富士山840せ18	いすゞ	A 2 級	H25. 1	ジ-ェムいちはら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H31. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
		富士山488ね18	スズキ		R2. 1	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽4WDトラックタイプ)
第19分団	下 条	富士山840た19	いすゞ	A 2 級	H31. 2	日本ドライ	水槽付消防ポンプ自動車
		富士山481か568	スズキ		H31. 2	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽4WDトラックタイプ)
				C 1 級	H31. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	妙蓮寺	富士山840せ19	いすゞ	B 3 級	H26. 2	旭産業	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (ト ー ハ ツ)
第20分団	上井出	富士山840そ20	いすゞ	A 2 級	H29. 1	ジ-ェムいちはら	水槽付消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H12. 2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	東			B 3 級	H12. 7	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	芝山			B 3 級	H18. 11	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
	人 穴	富士山803さ368	いすゞ	B 3 級	H16. 2	日本ドライ	小型動力ポンプ付積載車 (富 士 ロ ビ ン)
第21分団	猪之頭	富士山840す21	いすゞ	A 2 級	H22. 2	ジ-ェムいちはら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
		富士山488た21	スズキ		R4. 3	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽4WDトラックタイプ)
				C 1 級	R1. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	富士丘			B 3 級	H26. 10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	麓	富士山888あ21	ダイハツ	B 2 級	H29. 1	トーハツ	小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)
第22分団	原	富士山840せ22	いすゞ	A 2 級	H22. 2	ジ-ェムいちはら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
		富士山481き8670	スズキ		R6. 3	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽4WDトラックタイプ)
				C 1 級	H15. 9	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	横手沢			B 3 級	H20. 9	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	半 野			B 3 級	H9. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ(台車付)
第23分団	下 柚 野	富士山840と23	いすゞ	A 2 級	R6. 2	小川ポンプ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H20. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第24分団	上 稲 子	富士山840ち24	いすゞ	A 2 級	H26. 11	モリタ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H20. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ 性 能	購入年月	製作会社	備 考
第25分団	尾 崎	富士山840ち25	いすゞ	A2級	H21.12	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C1級	H21.11	トーハツ	小型動力ポンプ
第26分団	巡 沢	富士山840ち26	いすゞ	A2級	R4.1	日本ドライ	水槽付消防ポンプ自動車
				C1級	H21.11	トーハツ	小型動力ポンプ
第27分団	川 合	富士山840て27	いすゞ	A2級	R3.3	小川ポンプ	水槽付消防ポンプ自動車
				C1級	H21.11	トーハツ	小型動力ポンプ
第28分団	西 山 下	富士山840た28	いすゞ	A2級	H25.1	ジェームいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C1級	H21.11	トーハツ	小型動力ポンプ

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

消 防 団 詰 所 一 覧 表

令和8年4月1日現在

分 団	建築物用途	構 造	階数	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	敷地面積 ㎡	建築年月日	所 在 地
1	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	164.15	H9. 3	中央町9－10
2	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.35	76.7	194.44	H5.12	元城町3－4
3	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	55.15	102.8	327.47	H15. 8	宮町1－1
4	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	32.61	68.77	51.94	S60. 3	西町10－6
5	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 鋼 板 葺	2	65	117	219.5	H17. 2	弓沢町137
6（外神）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	132.08	H7. 3	外神8－9
6（淀師）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	182.22	H21. 2	淀平町50
6（青木）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	330	H11. 3	青木1182－4
7	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	293.61	H7. 3	大中里438－14
8	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	330	H8. 3	万野原新田3287－11
9	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	56.15	102.8	217.76	H18. 2	野中町608
10（沼久保）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	32.1	64.2	321.89	H6. 3	沼久保25－5
10（安居山）	詰 所 兼 車 庫	鉄筋・鉄骨造カラーアルミ葺	2	65	117	201	H10. 3	安居山607－2
11（貫戸）	詰 所 兼 車 庫	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87	19.87	S56. 3	貫戸259－1
11（黒田）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	33.34	65.22	85	S56. 3	黒田270－6
11（星山）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 シ ン グ ル 葺	2	51.40	101.94	327.37	H27. 3	星山126－1
12（小泉）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 鋼 板 葺	2	65	117	231	H13. 2	小泉539－1
12（山本）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.7	77.4	333	H2. 3	山本540－4
13	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	56.15	102.8	294	H19. 3	杉田1230－6
14（小泉）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.35	76.7	192.78	H1. 3	小泉1864
14（大岩）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	51.4	101.94	361.66	H25. 3	大岩1477－4
15（村山）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	61.93	60.27	148.03	S57. 3	村山1242－3
15（神成）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 シ ン グ ル 葺	2	51.4	101.94	246.18	H29. 3	村山102－13
15（二又）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	337.66	H23. 3	栗倉918－6
16	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	41.3	77.63	163.15	S57. 6	山宮1591－3
17（上組）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	60	120	178.24	S60. 3	北山1529－4
18	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造カラーステンレス鋼板横葺	2	90.48	165.02	298.82	R3. 3	上条232－1
19（下条）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造カラーステンレス鋼板横葺	2	90.48	165.02	338.57	H31. 2	下条139－1
19（妙蓮寺）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	52.31	52.31	214.94	S56. 3	下条719

分 団	建築物用途	構 造	階数	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	敷地面積 ㎡	建築年月日	所 在 地
20（芝山）	機 具 置 場	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87	19.87	S56. 3	上井出880－2
20（東）	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造 ト タ ン 葺	1	25.11	25.11	25.11	S50.	上井出2233－3
20（人穴）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	52.3	52.3	190.05	S60.11	人穴383－2
20（上井出）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	89.3	162.1	863.11	S59. 3	上井出603－1
21（猪之頭）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	73.22	146.44	304	S58. 3	猪之頭217－7
21（麓）	車 庫	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87		S60.11	麓61
21（富士丘）	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	6.3	6.3		S30. 頃	根原341－1
22（内野・足形）	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	9.03	9.03		S43.	内野1030－5
22（原）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	72.75	145.5	224.4	S63.	原1114－6
22（狩宿）	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	6.12	6.12		S48.11	狩宿78－4
22（内野・横手沢）	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	9.76	9.76		S44. 4	内野22－1
22（内野・川久保）	機 具 置 場	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	1	6.3	6.3		H9. 3	内野339
23（柚野）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	76.58	76.58	387.48	H17.12	下柚野336－1
24（稲子）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	39.59	79.18	45.87	H13. 1	上稲子3850－8
25（内房3・4区）	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	77.4	77.4	245.48	S61. 1	内房3142－2
26（内房1・2区）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	39.65	79.29	23	H10.12	内房4058－4
27（長貫・羽鯉）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	38.7	77.4	102.26	H17. 3	長貫1217－2
28（西山・大久保）	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	38.7	77.4	131	H18. 2	西山1388－4

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

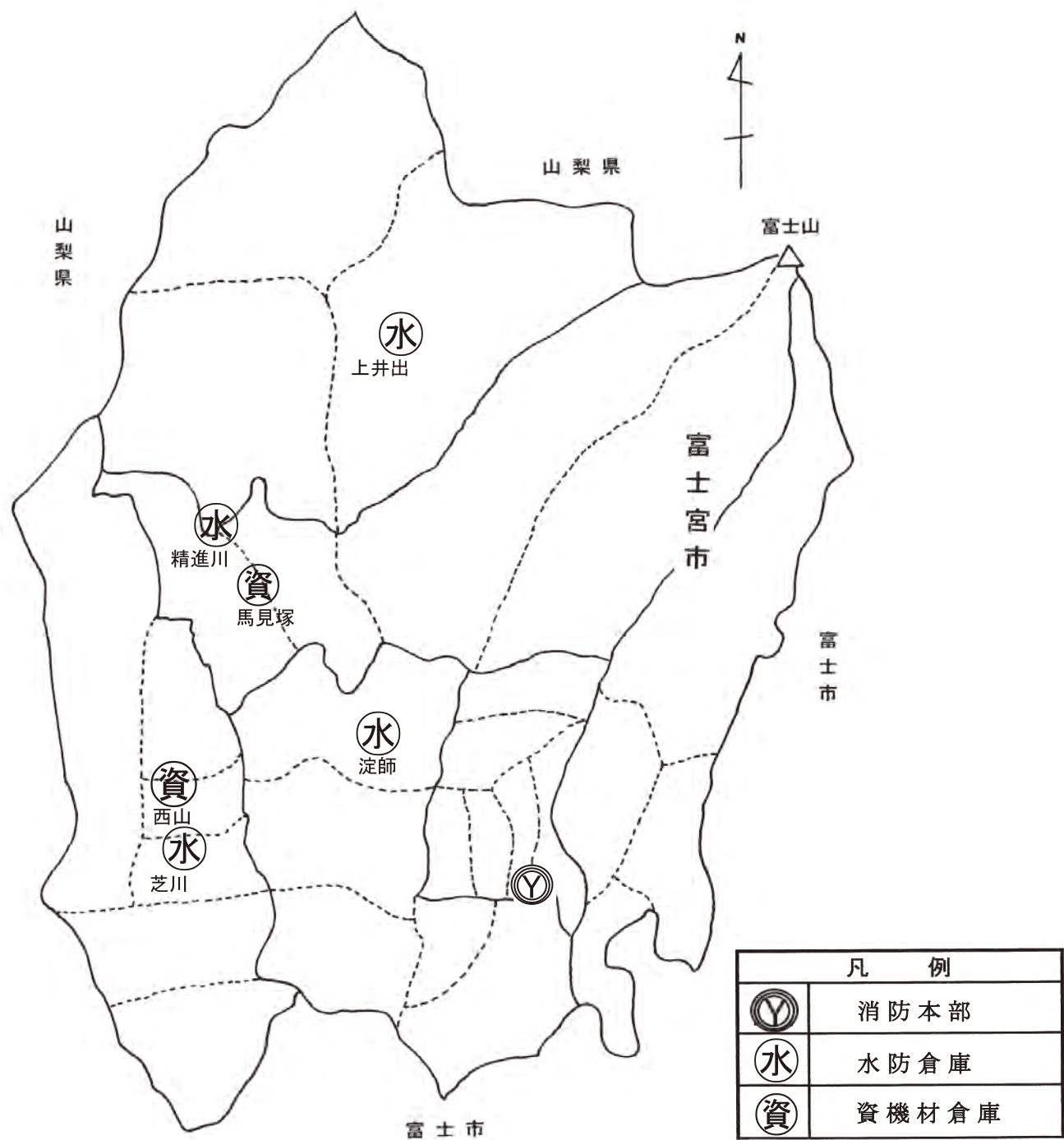
救急

応援協定

消防団

防火協力団体

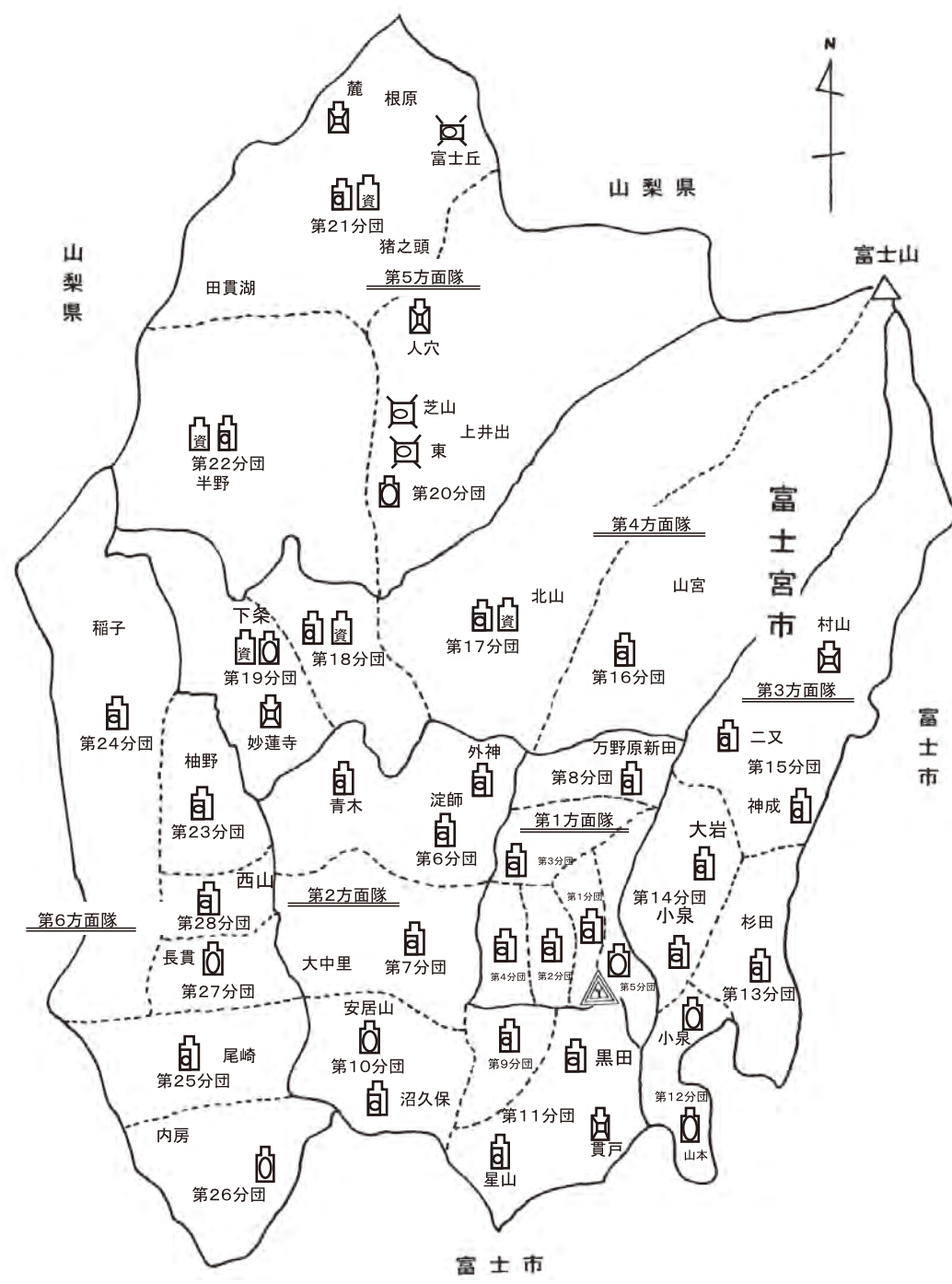
水防倉庫・資機材倉庫配置図



水防倉庫・消防資機材倉庫一覧表

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積	建築年月日	所 在 地
上井出水防倉庫	鉄骨造	1	16.52㎡	S59.3	上井出603－2
淀師水防倉庫	鉄骨造	1	95.30㎡	H2. 3	穂波町4－11
精進川水防倉庫	鉄骨造	1	52.3㎡	S62.3	精進川419－2
芝川水防倉庫	鉄骨造	1	196.05㎡	H7. 3	長貫753－1
馬見塚資機材倉庫	鉄骨造	1	52.3㎡	H4. 3	馬見塚401－2
西山資機材倉庫	軽量鉄骨	1	14.00㎡	H12.9	西山895－1地先

消防団車両配置図



凡 例	
	消防団本部
	水槽付
	消防ポンプ自動車
	消防ポンプ自動車 小型動力ポンプ搭載
	小型動力ポンプ付積載車
	資機材搬送車
	小型動力ポンプ(台車付)

概要
総務
火災
予防
警防
通信・指令
救助
救急
応援協定
消防団
防火協力団体

消防団協力事業所表示制度により、表示証の交付を受けた団体(一覧)

	交付事業所名	初回表示	有効期限
1	株式会社 アマダ 富士宮事業所	H19.12	R9.3
2	富士伊豆農業協同組合 富士宮地区本部	H19.12	R9.3
3	富士フィルム株式会社マテリアル 生産本部富士宮事業場	H19.12	R9.3
4	東亜富士巧業株式会社	H20.12	R9.3
5	カナエ工業株式会社	H20.12	R9.3
6	富士設計株式会社	H23.2	R9.3
7	株式会社アリエ	H23.2	R9.3
8	有限会社後藤倉庫	H24.10	R9.3
9	芝川塗装株式会社	H25. 2	R9.3
10	山本ザーゼル工業株式会社	H25. 2	R9.3
11	富士宮通運株式会社	H25.3	R9.3
12	かわむら呉服店	H25.3	R9.3
13	塗装工芸株式会社	H25. 9	R9.3
14	株式会社アスティー	H25. 12	R9.3
15	株式会社赤池商会	H27.4	R9.3
16	株式会社日之出商会	H27.11	R9.3
17	有限会社依田造園	H28.1	R9.3
18	風間建築	H28. 2	R9.3
19	株式会社伊東建築	H28.4	R9.3
20	宝造園	H28.5	R9.3
21	インテリアしのはら	H28.5	R9.3
22	大宮精機株式会社	H28.6	R9.3
23	税理士法人IBS	H28.8	R9.3
24	赤池造園株式会社	H28.8	R9.3
25	岡重株式会社	H28.11	R9.3
26	光陽建設株式会社	H29.1	R9.3
27	イマジン	H29.3	R9.3
28	スミヤ株式会社	H29.4	R9.3
29	安永左官工業	H29.5	R9.3
30	株式会社アミノ	H29.8	R9.3
31	株式会社寶屋	H30.5	R9.3
32	有限会社坪井組	H30.6	R9.3
33	株式会社藤弘工業	H30.7	R9.3

	交付事業所名	初回表示	有効期限
34	たいよう接骨院	H30.10	R9.3
35	株式会社渡邊自動車商会	H30.11	R9.3
36	株式会社新精工業	H31.3	R9.3
37	有限会社日東工機	H31.4	R9.3
38	株式会社秀工務店	R1.7	R9.3
39	有限会社スギヤマ制作	R1.7	R9.3
40	株式会社エージェントうさみ	R1.9	R9.3
41	株式会社ちゅら富士動物病院	R1.11	R9.3
42	保坂測量	R2.7	R9.3
43	花の店フロリダ	R2.7	R9.3
44	有限会社笹原自動車	R2.10	R9.3
45	セブンイレブン富士宮黒田店	R2.12	R9.3
46	株式会社エヌビー精密	R3.1	R9.3
47	富士コンクリートサービス株式会社	R3.4	R9.3
48	株式会社ランバリーング・カツマタ	R3.4	R9.3
49	株式会社江戸屋本店	R3.4	R9.3
50	日本製パン株式会社富士宮工場	R3.4	R9.3
51	有限会社フジタ産業	R3.6	R9.3
52	株式会社日誠電工	R3.6	R9.3
53	ユウアンドアイ	R4.2	R9.3
54	Apex株式会社	R4.3	R9.3
55	有限会社大石	R4.5	R9.3
56	富士カプセル株式会社	R4.9	R9.3
57	株式会社ニッポー	R4.9	R9.3
58	清観光株式会社	R5.4	R9.3
59	立宿望月畳店	R5.12	R9.3
60	有限会社村松設備	R6.3	R9.3
61	有限会社石川住設	R6.4	R9.3
62	株式会社まる	R6.4	R9.5
63	株式会社東海ヒット	R6.8	R9.3
64	株式会社上健	R6.9	R9.3
65	株式会社旭ファクトリー	R7.4	R9.4

消防団協力事業所が、地域への社会貢献を果たしていることを、社会的に評価することにより協力事業所の信頼性の向上につながり、消防団と事業所等との連携・協力体制が一層強化されることによって、地域における消防・防災体制の充実強化を図ることを目的とする制度です。

令和8年4月1日現在、管内の65事業所に表示証が交付されています。

防火協力団体



防火安全協会



少年消防クラブ



婦人防火クラブ



幼年消防クラブ



富士宮市防火安全協会

沿革

昭和40年 7月15日	富士宮市危険物安全協会設立
昭和48年 4月 1日	富士宮市芝川町危険物安全協会に名称変更
昭和59年10月11日	富士宮市芝川町防火協会設立
昭和60年 3月 7日	第1回消火技術競技大会の実施 (市立上井出小学校グラウンド)
平成 4年 5月26日	富士宮市芝川町防火安全協会発足
平成22年 3月23日	富士宮市防火安全協会に名称変更

防火安全協会は、会員数525事業所（令和8年4月1日現在）で組織され事業所の防火、危険物管理の向上と火災予防の徹底を図ることを目的に、富士宮市の事業所が会員となり運営しております。

協会の事業としては、他の防火協力団体と共催し、春秋の火災予防運動期間中の広報活動や防火ポスター展の実施、機関誌「そなえ」の発行を行っており、さらに、毎年開催される消火技術競技大会では、迅速かつ適切な通報、伝達、消火方法及び火災初期に対応する技術の習得を目的に実施しており、多くの事業所に参加していただいております。

その他にも、普通救命講習会などを開催し、幅広い活動を行っています。



普通救命講習会



消火技術競技大会



防火ポスター表彰



婦 人 防 火 ク ラ ブ

沿革

昭和 5 7 年 4 月 1 日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和 5 7 年 6 月 9 日	富士宮地区婦人防火クラブ結成
昭和 6 3 年 4 月 2 2 日	富士宮市芝川町婦人防火クラブに移行
平成 2 2 年 3 月 2 3 日	富士宮市婦人防火クラブに名称変更

婦人防火クラブは、会員数 3 6 人（令和 8 年 4 月 1 日現在）で組織され、家庭における火災等の災害を自ら守るという精神に基づき、火災予防の知識や地震等の対策について研究し、火災のない明るい家庭づくりと、安全な地域社会をめざし昭和 5 7 年に結成されました。

毎年、実施している視察研修では、県内外の施設に赴き、施設見学や講義を通じて防火・防災の意識高揚を図ることを目的としています。

また、静岡県消防学校体験入校では、ロープの結び方、傷病者の搬送方法及び放水体験を行っています。

その他、消防フェスティバルや消防出初式に参加する等、防火に関する幅広い活動を行っています。



視察研修 津波避難タワー「テラッセ オレンジ トイ」



少年消防クラブ

沿革

昭和57年 4月 1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和60年 4月 1日	富士宮市立大宮小学校少年消防クラブ結成
昭和63年 4月 1日	黒田学童クラブ少年消防クラブ結成
平成22年 3月23日	富士宮市幼少年婦人防火委員会に名称変更
平成24年 4月 1日	児童クラブ吉美少年消防クラブ、富丘学童少年消防クラブ結成
平成28年 4月 1日	貴船学童少年消防クラブ結成
平成30年 4月 1日	あおぞら児童少年消防クラブ結成

少年消防クラブの目的は、少年（少女）たちが火災を予防する方法や火についての問題を身近な生活の中に見出し、お互いに研究してその結果を自分自身で実行するとともに、クラブ員が防火・防災について地域のリーダーとなることを目的としています。

年間を通じて、少年消防クラブ結成式、一日消防署体験、視察研修、消火器の取扱い訓練、花火教室、防火ポスターの作成等を実施するとともに、消防フェスティバルにも積極的に参加し、防火・防災意識の高揚を図っています。



危険物安全週間広報

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体



幼年消防クラブ

沿革

昭和57年	4月	1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和59年	6月	1日	富士宮市内15幼稚園の幼年消防クラブ結成
平成3年	4月	1日	芝川町各保育園幼年消防クラブ結成
平成22年	3月23日		富士宮市幼少年婦人防火委員会に名称変更

幼年消防クラブの目的は、幼年期を迎えた子供達に正しい火の取扱い方法と、消防の仕事をよく理解してもらうことで火遊び等による火災の減少を図り、更に幼年期に社会活動・集団活動を体験することによって自主性や協調性を養い、将来生命財産を守る能力と災害予防の意識を持つ大人となり、社会に貢献できる人間になることを期待するものであります。

現在、消防本部管内の幼稚園・保育園のうち、12園が同クラブを結成しています。6月～7月にかけて花火教室を開催し花火の正しい遊び方を学び、夏休みには防火ポスターを作成します。また、火災予防運動期間中には火災予防運動広報を実施し、その他にも消防フェスティバルに参加するなど積極的な活動を行っています。



消防フェスティバル2025内での演技

あ と が き

この年報は、令和7年中の富士宮市における消防諸般の現況を収録したもので、合理的な運営と効果的な消防行政を推進するために編さんしました。

富士宮市消防本部

火事と救急は 119番

救急車を呼ぶべきか迷ったら
「#7119」

「消防年報」 令和7年版

編集・発行



富士宮市消防本部消防総務課

〒418-8601

静岡県富士宮市弓沢町150番地

電話 0544-22-1198

FAX 0544-22-1244